## 山梨県北杜市

# 御崎前遺跡I

市道若神子大蔵線工事に伴う緊急発掘調査報告書

2006

山梨県峡北地域振興局建設部 北杜市教育委員会

### 山梨県北杜市

# 御崎前遺跡I

市道若神子大蔵線工事に伴う緊急発掘調査報告書

2006

山梨県峡北地域振興局建設部 北杜市教育委員会

- 1 本書は、山梨県北杜市須玉町若神子字御崎前で施工された市道若神子大蔵線新設工事に伴う御崎前(み さきまえ)遺跡緊急発掘調査の報告書である。
- 2 本調査の現地作業は、平成 17 年 9 月 9 日に着手し、平成 17 年 10 月 21 日に完了した。調査記録と出土 品の整理作業は、平成 18 年 1 月 16 日に着手し、平成 18 年 3 月 31 日に完了した。
- 3 発掘調査は、市道若神子大蔵線新設工事(県代行事業)の事業主体である山梨県峡北地域振興局建設部 の経費負担を受けて、工事施工前に実施した。
- 4 発掘調査は北村市教育委員会が直営で実施した。調査組織は下記のとおりである。

調查主体 北杜市教育委員会教育長 小清水淳三

調查担当 北杜市教育委員会生涯学習課文化財担当 主查 佐野隆

調查事務局 北杜市教育委員会生涯学習課

- 5 本書の執筆、編集は、佐野があたった。
- 6 本遺跡の出土品及び調査に係わる諸記録は、北杜市埋蔵文化財センターが保管している。
- 7 確認調査の実施にあたって以下の方々と機関に、ご協力とご指導を賜った。ご芳名を記して感謝したい (五十音順・敬称略)。

峡北地域振興局建設部、山梨県教育委員会学術文化財課

9 調査参加者 (五十音順・敬称略)

浅川 英光、厚芝 金夫、粟澤 美香、石原すみえ、石渡 節子、井手 正美、井上 町子、 長田 重子、小澤 久恵、小野 一英、小野 芳江、片山 和江、兼松 章子、上村ゆきえ、 河手 寿子、小松原千津、酒巻 正道、篠原恵美子、清水 貞子、清水 里子、清水さゆり、 清水 尋、清水やす子、清水 泰倫、鈴木 節夫、田代 武士、筒井つや子、壺屋てる子、 野崎美智江、長谷川規愛、伏見 徳芳、藤原喜美子、水上 勝美、三井 喜満、三井つや子、 皆川 禮子、宮崎 夏子、山田 雅子、山中 敏夫、八巻 久子、八巻まさ子

#### 凡例

- 1 報告書中の地図は、国土地理院発行2万5千分の1地形図「若神子」「韮崎」、5万分の1地形図「八ヶ岳」「韮崎」「鰍沢」「金峰山」「御岳昇仙峡」「甲府」、山梨県峡北地域振興局建設部作成「市道若神子大蔵線工事設計図」、須玉町役場「須玉町全図」(廃版)を使用した。
- 2 図版及び観察表中の遺構埋土色及び土器胎土色は、『新版標準土色帖』財団法人日本色彩研究所に拠った。

#### 挿 図 目 次

例言・凡例		第1図	御崎前遺跡と周辺の遺跡	4
		第2図	遺跡位置図	6
		第3図	土木工事の範囲と調査の範囲	6
第1章 調査の概要	1	第4図	基本層序図	6
調査の経緯	1	第5図	配石・集石配置図	7
遺跡周辺の環境	2	第6図	遺構配置図	8
調査の範囲と方法	2	第7図	1号住居、1号住居カマド・出土遺物…	23
		第8図	1号、2号溝、1号、2号溝エベレーション・出土遺物・・・	24
第2章 遺構と遺物	9	第9図	1号、2号集石、1号配石・出土遺物	25
1 号住居跡	9	第10図	2号、3号配石	26
1号・2号溝状遺構	9	第11図	4 号、17号配石・出土遺物	27
1号・2号集石土坑	9	第12図	8 号配石	28
1 号配石	9	第13図	8 号配石出土遺物	29
2 号配石	9	第14図	9 号配石・出土遺物	30
3 号配石	10	第15図	9 号配石出土遺物	31
4 号・17号配石	10	第16図	10号配石・出土遺物	32
8 号配石	10	第17図	13号、14号配石①	33
9 号配石	10	第18図	13号、14号配石②・出土遺物	34
10号配石	11	第19図	13号、14号配石出土遺物	35
13号・14号配石	11	第20図	掘立柱建物配置図、掘立柱建物	36
1号~17号掘立柱建物跡	11	第21図	掘立柱建物	37
土坑・ピット	11	第22図	掘立柱建物	38
遺構外の出上遺物	12	第23図	掘立柱建物	39
		第24図	7号、9号土坑・出土遺物	40
第3章 調査の総括	12	第25図	11号、22号土坑・出土遺物	41
		第26図	41号土坑、51号土坑・出土遺物	42
		第27図	52号、63号、65号土坑・出土遺物	43
表目次		第28図	17号ピット、土坑・ピット出土遺物…	44
		第29図	土坑・ピット出土遺物	45
第1表 御崎前遺跡周辺遺跡一覧	5	第30図	土坑・ピット出土遺物	46
第2表 土器・土製品一覧	13	第31図	造構外出土遺物	47
第3表 石器・石製品一覧表	14	第32図	造構外出土遺物	48
第4表 出土銭貨一覧表	15			
第 5 表 土坑観察表······	16			
第6表 ピット観察表	17			

#### 写 真 図 版 目 次

写真図版 1	御崎前遺跡遠景	51	写真図版17	中世の石器	67
	御崎前遺跡全景	51		2 号溝遺物出土状況	67
図版写真 2	御崎前遺跡全景	52		1号集石完掘状況	67
	御崎前遺跡近景	52	写真図版18	1号配石検出状況	68
写真図版 3	御崎前遺跡の基本層序	53		1 号配石底面の灰と炭化材の検出状況	68
	1 号住居カマド	53	写真図版19	2 号配石検出状況	69
写真図版 4	1 号溝	54		2 号配石底面の灰と炭化材の検出状況	69
	2 号溝	54	写真図版20	3 号配石の発掘状況	70
写真図版 5	1号集石検出状況	55		4 号(17号)配石の検出状況	70
	1号集石半截状況	55	写真図版21	4号(17号)配石の上層礫を取り除いたところ	71
写真図版 6	2号集石検出状況	56		8号・9号配石の検出状況	71
	2号集石完掘状況	56	写真図版22	10号配石の検出状況	72
写真図版 7	1 号配石	57		10号配石の発掘状況	72
	2 号配石	57	写真図版23	13号・14号配石の下層配石	73
図写真版 8	3号配石検出状況	58		13号・14号配石全景	73
	3号配石完掘状況	58	写真図版24	調査地点の北隣接地にある石塔類	74
写真図版 9	4号(17号)配石	59		調査着手前の調査地点	74
	8号配石検出状況	59		重機による表土剥作業	74
写真図版10	8 号配石下層の石列と溝	60		作業風景	74
	9 号配石検出状況	60			
写真図版11	9 号配石下層の石列	61			
	9 号配石下層の溝	61			
写真図版12	10号配石	62			
	13号・14号配石	62			
写真図版13	13号・14号配石下層の配石面	63			
	1号・4号掘立柱建物	63			
写真図版14	7 号土坑 9 号土坑	64			
	11号土坑 41号土坑	64			
写真図版15	51号土坑 52号土坑	65			
	65号土坑上面の配石	65			
	65号土坑完掘の配石	65			
	17号ピット 197号ピット	65			
写真図版16	平安時代の土器	66			
	墨書土器と石製品	66			
	中世の土器	66			
	中世の石器	66			

#### 第1章 調査の概要

#### 調査の経緯

近世初頭頃に開設されたという佐久往還は、山梨県韮崎市と長野県小諸市とを結ぶ山梨県北西部の幹線道路で、現在は国道 141 号線としてバイパス道路が整備されている。富士川水運の拠点として近世に成長した韮崎市から甲信国境までには、韮崎、中条、若神子、長沢の四宿があり、本遺跡は若神子宿の東側の一角に位置する。平成 15 年度から若神子宿を東西に横切る形で市道若神子大蔵線を新設する工事が計画されたため、須玉町教育委員会(当時)と北杜市教育委員会とが事前に試掘調査を実施したところ、一部で平安時代と中近世の埋蔵文化財が確認されたため(第3図中、第2次調査地点)、事業主体である山梨県峡北地域建設部(当時 現山梨県中北建設事務所)、北杜市役所土木部と協議した上で工事範囲 423 ㎡を対象に、発掘調査を実施することとした。

発掘調査経費は、4,023,576 円で、調査経費負担協定に基づき、事業主体である峡北地域振興局建設部が 4,023,000 円を負担し、576 円を北杜市が負担した。

この発掘調査に係わる事務手続きは次のとおりである。

文化財保護法第94条による通知 平成 17 年 8 月 4 日付け峡北建第 1860 号

同通知に係わる指示通知 平成 17年8月25日付け教学文第1330号

調査経費負担協定書 平成 17 年 8 月 25 日付け峡北建第 2163 号

文化財保護法第99条による発掘着手報告 平成 17年9月12日付け北杜生学第696-3号

同条による発掘終了報告 平成 18 年 4 月 18 日付け北杜生学 101 - 4 号(以下見込み)

発掘調査実施結果報告書 平成 18 年 4 月 13 日付け北杜生学第 1499 号

型蔵物発見届 平成 18 年 4 月 18 日付け北杜生学 101 - 1 号

埋蔵物保管請書 平成 18 年 4 月 18 日付け北杜生学 101 - 2 号

埋蔵文化財保管証 平成 18 年 4 月 18 日付け北杜生学 101-3 号

市道若神子大蔵線の計画路線内では、これまでに須玉町教育委員会が別地点で発掘調査を実施している。 平成13年の御崎前遺跡(第3図中第1次調査)、平成16年度の後田遺跡の2回の発掘調査がそれである。 したがって、本報告で扱う平成17年度の発掘調査は、都合3回目となる。

本発掘調査の日程は以下のとおりである。

平成17年9月9日~ 調査対象住居地点の除草・測量

9月9日~9月16日 重機による表土剥作業

9月13日~ 発掘調査に着手

10月21日 航空写真撮影

10月21日 発掘調査終了・現場引渡し

1月16日 整理作業に着手

平成 18 年 3月 31 日 整理作業を終了

平成17年度に施工する地点での発掘調査の結果、縄文時代の土器、石器、平安時代の竪穴住居跡と溝状 遺構、中世の掘立柱建物跡、集石土坑、土坑、墓、配石遺構、焼土を検出した。

中世もしくは近世の配石墓は出土品が乏しく時期決定が難しいが、地元の古老によるとかつて真言宗寺院があったとの伝承があるという。調査地点の北側には小型の五輪塔などが集められており、この伝承に係わるものと推測される。五輪塔は16世紀頃のものと思われる。近世若神子宿の前身である中世初頭頃の遺構を

期待したが、本調査区域では確認されなかった。

#### 遺跡周辺の環境

本遺跡は、須玉川右岸の河岸段丘面上、標高 525 mに所在する。須玉川右岸には、少なくとも 2 面の河岸段丘面が認められ、遺跡が立地する段丘面は、須玉川から 2 段目にあたり、須玉川からの現比高差は、6 mほどである。遺跡が立地する段丘面は、西に向かって徐々に標高を増し、現在の若神子市街地が立地する微高地に至る。この微高地の西端は、八ヶ岳山麓に端を発する甲川(かぶとがわ)と西川(にしかわ)に区切られ、遺跡はこの微高地の東端に展開している。

平成13年度の御崎前遺跡の発掘調査、平成16年度の後田遺跡の発掘調査、そして今回の発掘調査において、それぞれ平安時代の竪穴住居が検出されている。平安時代には、河岸段丘面の平坦度は弱く、須玉川に向かって緩く傾斜する東面斜面状の地形であったようである。東西350mほど隔てて確認された、これら3地点の平安時代遺構が、同一の「集落」に属するものか、調査遺構数が限られるため、現地点では判断できないが、地形的には、同一の微高地上に展開しているものと思われる。

現在の若神子の市街地は、少なくとも 13 世紀頃には、「都市的空間」として存在していたことが、文献資料から窺える。

永仁三年(1295)、時宗第二世他阿真教遊行上人は、信濃国伴野荘から若神子に入り、布教活動を行ったと考えられ、若神子集落にある長泉寺は、この折に時宗に改修したと伝えられ、また、文安三年(1446)銘の名号板碑が奉納されている。三輪神社には永享七年(1435)銘の六地蔵石幢があり、山梨県指定文化財に指定されている。

若神子は、八ヶ岳山麓の南端にもあたり、須玉川、塩川、甲川、西川などが合流し、後の佐久往還といった幹線路が通る交通の要衝である。古代から開発が始まり、中世前半には、上記のごとく都市的空間が形成されるに至っていたと推測される。この都市的空間が、近世「若神子宿」、そして現在の若神子市街地の原型と考えられる。

戦国時代には、甲斐-信濃交通の要衝であったことから、戦国大名武田氏の信濃攻略、信濃経営の際の重要な拠点となっている。なお、中世以前の若神子の具体的様相は定かではない。

近世になると、特に佐久往還が主要街道として整備されると、現在の若神子に近い様相になる。

#### 調査の範囲と方法

本発掘調査に先立ち、平成13年度に須玉町教育委員会(当時)が、平成17年度には北杜市教育委員会が 試掘調査を実施した。明確な遺構は確認できなかったものの、工事要地の一部から平安時代の土師器、中近 世陶磁器類が一定量、出土したことから、埋蔵文化財が所在すると判断される地点(第3図中、第2次調査 地点)で発掘調査を実施することとした。

発掘調査は、まず表土を30cmから1mほど重機で剥ぎ取った後、人力でもって精査し、遺構確認を行った。遺構検出面は旧須玉川の氾濫原で、河原礫が堆積している。この中に、配石を伴う中世墓などが点在する。重機による表土剥ぎ取り作業の際に、一部の配石の石が移動してしまうこともあった。

調査区域の遺構検出面は、水田などの土地利用状況を反映して、削平が軽微で河原石が多い箇所(第4図第6層)と、大きく削平され、河原石下の黄褐色の砂質地山が露出する箇所(第4図第7層)とがある。前者の第6層中には須玉川起源の礫と、遺構に伴う礫とが混在する。また、この第6層では平安時代の遺構は確認できず、第7層で平安時代の遺構と遺物が検出される。

遺構検出後は、遺構種別に応じて略記号を付した。略記号は次のとおりである。なお、遺構名は、現場作業での必要性から便宜的に付したものであり、遺構の性格等を分析したうえで遺構を評価し、決定したもの

ではない。

PH-数字 平安時代の竪穴住居

HO-数字 掘立柱建物跡

HS-数字 配石遺構(主に中世の配石墓)

MD-数字 溝状遺構

SD-数字 焼土

SY-数字 集石土坑

DK-数字 土坑(直径 40cm 以上を土坑とした)

PT-数字 ピット (直径 40cm 未満で、柱穴と思われるもの)

出土遺物は、遺構に伴うと思われるものは遺構毎に、また遺構外の出土品は、遺構外を示す略記号「IG - 数字」を付して、それぞれ光波測量器を用いて出土位置を測量・記録して取り上げた。これら以外に、重機による表土剥ぎ取り作業等で出土した遺物は、遺跡一括資料として取り扱った。

遺構の形状は、原則として光波測量器を用いて測量・作図した。また必要に応じて手実測による微細図を作図した。報告書中に記載する高度数字は標高である。測量基準点は、事業者が道路工事設計の際に設けた世界測地系第W系による基準点から測量して設置したもので、その精度は4級基準点と同等程度である。

配石遺構を構成する石は、現場での肉眼観察の結果、すべて地山に含まれる須玉川起源の河原礫と判断され、加工を伴わなかったため、取り上げなかった。

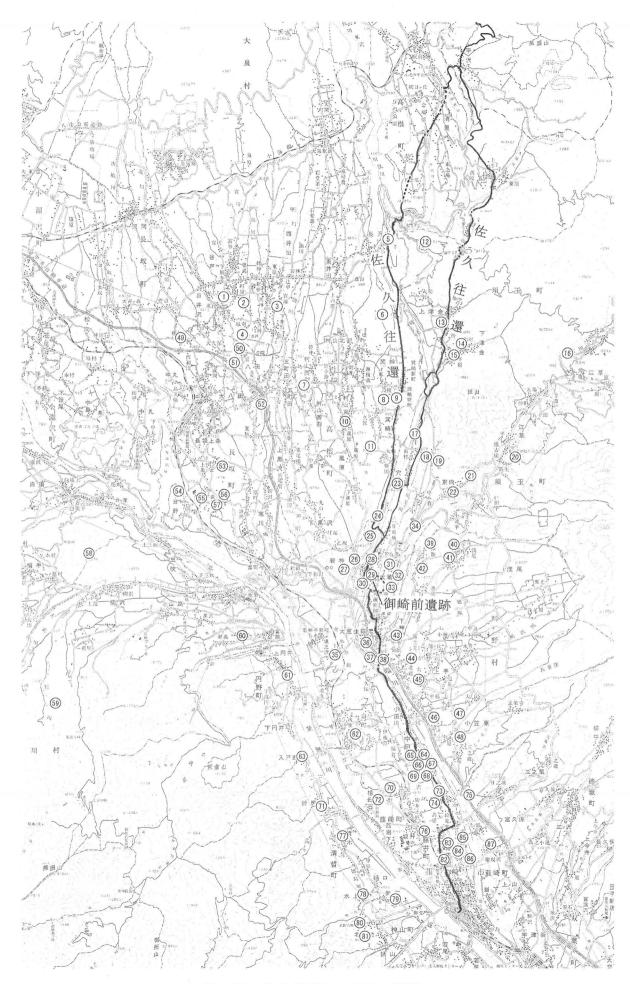
発掘調査終了後、遺跡が立地する地形環境を記録するために、航空写真を撮影した。

整理作業では、出土品を洗浄後に、すべての出土品を対象に注記作業を行った。整理作業の過程で、現場での取り上げ遺構名に齟齬があることが判明した場合もあったが、出土位置そのものの測量成果には誤りがないため、現場で付した取り上げ記号・番号を変更することなく、そのまま注記した。

遺跡は調査終了後に事業者へ引き渡し、計画通り市道新設工事が施工された。本発掘調査に係る諸記録、 出土品は、全て北杜市埋蔵文化財センターに保管してある。

#### 参考文献

須玉町教育委員会 2005 『後田遺跡 - 市道若神子、大蔵線建設工事に伴う発掘調査報告書 - 』 須玉町教育委員会 2002 『御崎前遺跡 - 町道若神子大蔵線第二次建設工事に伴う発掘調査報告書 - 』 須玉町教育委員会 2002 『須玉町史』



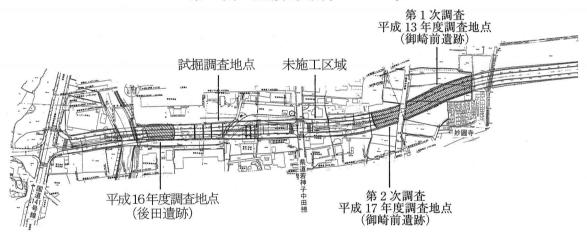
第1図 御崎前遺跡と周辺の遺跡

第 1 表 御崎前遺跡周辺遺跡一覧

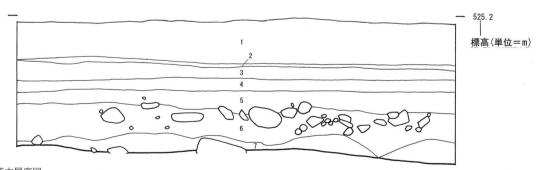
番号	遺跡名	所在地	遺構		参考文献	
1	谷戸氏屋敷	北杜市大泉町		伊藤公明ほか	2005「谷戸氏屋敷」『山梨県史 資料編7 中世4考古資料』 2000「史跡谷戸城跡及び周辺遺跡」『八ヶ岳考古 平成11年度年報』	山梨県
				渡辺泰彦ほか	2001「史跡谷戸城跡及び周辺遺跡」『八ヶ缶考古 干成11年度年報』 2001「史跡谷戸城跡及び周辺遺跡」『八ヶ缶考古 平成12年度年報』	北巨摩市町村文化財担当者会 北巨摩市町村文化財担当者会
2	史跡谷戸城跡	北杜市大泉町	土塁、空堀など	渡辺泰彦ほか	2002「史跡谷戸城跡及び周辺遺跡」『八ヶ岳考古 平成13年度年報』	北巨摩市町村文化財担当者会
				渡辺泰彦ほか	2003 「史跡谷戸城跡及び周辺遺跡」『八ヶ岳考古 平成14年度年報』	北巨摩市町村文化財担当者会
				渡辺泰彦ほか	2004「史跡谷戸城跡」『八ヶ岳考古 平成15年度年報』	北巨摩市町村文化財担当者会
3	宮地第2遺跡	北杜市大泉町	地下式土坑13基	伊藤公明ほか	2000「宮地第2遺跡」『八ヶ岳考古 平成11年度年報』	北巨摩市町村文化財担当者会
4	金生遺跡	北杜市高根町	地下式土坑49基、掘立柱建物	新津健ほか	1988 [金生遺跡 I (中世編) ]	山梨県教育委員会
5	長沢宿	北杜市高根町 北杜市高根町		足達 満	1985『佐久往還』 2005「旭山砦」『山梨県史 資料編7 中世4考古資料』	山梨県教育委員会
7	旭山砦 大柴氏屋敷	北杜市高根町			2005「旭山砦」『山梨県史 資料編7 中世4考古資料』 2005「大柴氏屋敷」『山梨県史 資料編7 中世4考古資料』	山梨県
8	横森前遺跡	北杜市高根町	地下式土坑、土坑	坂本美夫	1999『横森・横森前遺跡』	山梨県教育委員会
9	横森赤台(東下)遺跡	北杜市高根町	土坑17基、溝状遺構1基、	能代幸和	2000『横森赤台(東下)遺跡』	山梨県教育委員会
10	中村氏屋敷	北杜市高根町			2005「中村氏屋敷」『山梨県史 資料編7 中世4考古資料』	山梨県
11	大坪塁	北杜市須玉町			2005「大坪塁」『山梨県史 資料編7 中世4考古資料』	山梨県
12	源太ヶ城	北杜市須玉町		須玉町	1998『須玉町史 第一巻 考古・古代・中世』	須玉町
13 14	古宮屋敷	北杜市須玉町 北杜市須玉町		須玉町 須玉町	2005「古宮屋敷」『山梨県史 資料編7 中世4考古資料』 1998『須玉町史 第一巻 考古・古代・中世』	山梨県
15	清水縫殿助屋敷 津金又十郎屋敷	北杜市須玉町		須玉町	1998『須玉町史 第一巻 考古・古代・中世』	須玉町 須玉町
16	大渡の烽火台	北杜市須玉町		須玉町	1998『須玉町史 第一巻 考古・古代・中世』	須玉町
17	西川遺跡	北杜市須玉町		須玉町	1998『須玉町史 第一巻 考古・古代・中世』	須玉町
18	向山遺跡	北杜市須玉町		山路恭之助	2004「向山遺跡」『八ヶ岳考古 平成15年度年報』	北巨摩市町村文化財担当者会
19	丸茂右衛門尉屋敷	北杜市須玉町		須玉町	1998『須玉町史 第一巻 考古・古代・中世』	須玉町
20	獅子吼城	北杜市須玉町		須玉町	1998『須玉町史 第一巻 考古・古代・中世』	須玉町
21	上屋敷遺跡	北杜市須玉町		須玉町 須玉町	1998 『須玉町史 第一巻 考古·古代·中世』 1998 『須玉町中 第一巻 考古·古代·中世』	須玉町
23	三枝土佐守屋敷 柳坪遺跡	北杜市須玉町	掘立柱建物	末木 健	1998 『須玉町史 第一巻 考古·古代·中世』 1976 『山梨県中央道理蔵文化財包蔵地発掘調査報告書 - 北巨摩冩須玉町地内-	須玉町 山梨県教育委員会
24	十騎屋敷	北杜市須玉町	project LL ACTO	須玉町	1976    山宋宗平大道建蔵文记的 色版越光鏡的宝報音音 一礼已序形须玉川地内一 1998 『須玉町史 第一巻 考古·古代·中世』	須玉町
25	若神子北城	北杜市須玉町		須玉町	1998『須玉町史 第一巻 考古・古代・中世』	須玉町
26	若神子古城	北杜市須玉町		須玉町	1998『須玉町史 第一巻 考古・古代・中世』	須玉町
27	若神子南城	北杜市須玉町		須玉町	1998『須玉町史 第一巻 考古・古代・中世』	須玉町
28	若神子御所	北杜市須玉町		須玉町	1998『須玉町史 第一巻 考古・古代・中世』	須玉町
29	御崎前遺跡	北杜市須玉町		須玉町	[御崎前遺跡]	須玉町
30	若神子塾	北杜市須玉町		須玉町 足達 満	2005「若神子宿」『山梨県史 資料編7 中世4考古資料』 1985『佐久往還』	山梨県 山梨県教育委員会
31	真田隠岐守屋敷	北杜市須玉町		須玉町	1985 『佐八任惠』 1998 『須玉町史 第一巻 考古·古代·中世』	山采県教育安員会 須玉町
32	塚田遺跡	北杜市須玉町		山路恭之助	1984『中尾城遺跡、塚田遺跡』	須玉町教育委員会
33	滝下遺跡	北杜市須玉町		須玉町	1998『須玉町史 第一巻 考古・古代・中世』	須玉町
34	中尾城 (中尾砦)	北杜市須玉町		須玉町	1998『須玉町史 第一巻 考古・古代・中世』	須玉町
				山路恭之助	1984『中尾城遺跡、塚田遺跡』	須玉町
35	岩下弥三郎屋敷	北杜市須玉町		須玉町	1998『須玉町史 第一巻 考古·古代·中世』	須玉町
36	大豆生田遺跡	北杜市須玉町		末木 健	1976 『山梨県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書-北巨麻郡須玉町地内-	山梨県教育委員会
37 38	大豆生田砦 藤巻伊予守屋敷	北杜市須玉町		須玉町 須玉町	1998『須玉町史 第一巻 考古·古代·中世』 1998『須玉町史 第一巻 考古·古代·中世』	須玉町 須玉町
39	屋代氏館	北杜市明野町		ALIEN)	1998 [ 須玉可史 第一巻 考古・古代・中世] 1986 『山梨県の中世城館跡一分布調査報告書』	須 生 型
40	中村道祖神	北杜市明野町	地下式土坑群	大森隆志	1990『千野木I・II遺跡、池の下遺跡、踊石II遺跡、中村道祖神遺跡』	明野村教育委員会
41	堤遺跡	北杜市明野町	中世居館跡か		1 14 Am 141 T AS 20 d	
42	寺前遺跡	北杜市明野町		明野村理蔵文化財センター	1999『寺前遺跡調査概要』遺跡見学会パンフレット	明野村教育委員会
43	神取遺跡	北杜市明野町		佐野 隆	1994『神取』	明野村教育委員会
44	三井氏館	北杜市明野町	10 100	14- m2 na	non Per Labitata Catharana I security	nther Little Acres 12 A
45	屋敷添第2	北杜市明野町	ピット群	佐野 隆	1997『下大内遺跡、屋敷添第2遺跡、中原遺跡』	明野村教育委員会
46 47	深山田遺跡 下大内遺跡	北杜市明野町 北杜市明野町	土坑墓群、石敷土坑	佐野 隆	2000『深山田遺跡』 1999『下大内遺跡、屋敷添第2遺跡、中原遺跡』	明野村教育委員会 明野村教育委員会
48	「人內理哪 伝小笠原氏館	北杜市明野町	上元を作、石水上が	pt.20 PE	1000 1 1 八円 地頭、 生放你和超腳、 中原週齡 ]	ツロ打狄日女員四
49	横針中山遺跡	北杜市長坂町	地下式土坑6基、竪穴2基、集石1基、整地面1	村石眞澄	2000『横針前久保遺跡、米山遺跡、横針中山遺跡』	山梨県教育委員会
50	深草館 (深草城・深草塁)	北杜市長坂町			2005「深草館」『山梨県史 資料編7 中世4考古資料』	山梨県
51	小和田遺跡	北杜市長坂町	居館、集落、墓域		2005「小和田遺跡」『山梨県史 資料編7 中世4考古資料』	山梨県
52	石原田北遺跡	北杜市長坂町	竪穴	平野 修他	2001『石原田北遺跡 Jマート地点』	石原田北遺跡発掘調査団
53	長坂氏屋敷	北杜市長坂町	Material production and the second con-	巨公田神	2005「長坂氏屋敷」『山梨県史 資料編7 中世4考古資料』	山梨県
54 55	池之平北遺跡	北杜市長坂町	竪穴状遺構2基、地下式土坑3基	長谷川誠	2004「池之平北遺跡」『八ヶ岳考古 平成15年度年報』	北巨摩市町村文化財担当者会
56	二井大屋敷 龍角西遺跡	北杜市長坂町	方形竪穴状遺構2基	村松佳幸	2005   三井氏屋敷」    山梨県史 資料編7 中世4考古資料    2001    龍角西遺跡	山梨県 長坂町教育委員会
57	# # # # # # # # # # # # # #	北杜市長坂町	墓坑10基、火葬施設2基、	村松佳幸	2001「組屋遺跡」 2001「組屋遺跡一第1次発掘調査報告書」	長坂町教育委員会
58	中山砦	北杜市武川町		1	2005「中山砦」『山梨県史 資料編7 中世4考古資料』	山梨県
59	星山古城	北杜市武川町			2005「星山古城」『山梨県史 資料編7 中世4考古資料』	山梨県
60	上原遺跡	北杜市武川町	地下式土坑7基	平山恵一	2002「上原遺跡」『八ヶ岳考古 平成13年度年報』	北巨摩市町村文化財担当者会
61	石之坪遺跡	並崎市		櫛原功一	2000『石之坪遺跡(東地区)	石之坪遺跡発掘調査会
62	能見城	並崎市		-	2005「能見城」『山梨県史 資料編7 中世4考古資料』	山梨県
63 64	入戸野氏屋敷 松雲寺塁跡	韮崎市 韮崎市		<b> </b>		
65	任 <del>芸</del> 寸至助 昌福寺塁跡	<b>韮崎市</b>		l		
66	中田小学校遺跡	韮崎市		山下孝司	1985『中田小学校遺跡』	韮崎市教育委員会
67	中条宿	韮崎市		足達 満	1985『佐久往還』	山梨県
68	水上氏屋敷	韮崎市				
69	金山遺跡	韮崎市	土坑墓群	山下孝司	1986『金山遺跡、下木戸遺跡、中道遺跡』	韮崎市教育委員会
70			1			
	丸山の塁跡	韮崎市				
71	丸山の塁跡 折井氏屋敷	韮崎市 韮崎市		山下娄司	2001 [中跡 新森城跡]	非該市勢容米昌△
72	丸山の塁跡 折井氏屋敷 新府城跡	韮崎市 韮崎市 韮崎市		山下孝司	2001『史跡 新府城跡』	韮崎市教育委員会
72 73	丸山の塁跡 折井氏屋敷 新府城跡 駒井氏屋敷	並崎市 並崎市 韮崎市 韮崎市				
72	丸山の塁跡 折井氏屋敷 新府城跡	韮崎市 韮崎市 韮崎市	14・15世紀の砦跡	山下孝司	2001 [史跡 新府城跡]   1991 [宮ノ前第2遺跡・北堂地遺跡]	韮崎市教育委員会 韮崎市教育委員会
72 73 74	丸山の塁跡 折井氏屋敷 新府城跡 駒井氏屋敷 宮ノ前第2	並崎市 韮崎市 韮崎市 韮崎市 韮崎市	14・15世紀の岩跡			
72 73 74 75 76 77	丸山の塁跡 折井氏屋敷 新府城跡 騎井氏屋敷 宮ノ前第2 日ノ出客 弾正屋敷 青木氏屋敷	並崎市 並崎市市 並崎市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市	14・15世紀の砦跡			
72 73 74 75 76 77 78	丸山の塁跡 折井氏屋敷 新府城跡 駒井氏屋敷 宮ノ前第2 日ノ出砦 弾正屋敷 青木氏屋敷 水上氏屋敷	並崎市 並崎市市 並崎市市 並崎市市 並崎市市 並崎市市 並崎市市 並崎市市	14・15世紀の砦跡		1991『宮ノ前第2遺跡・北堂地遺跡』	並略市教育委員会
72 73 74 75 76 77 78 79	丸山の塁跡 折井坑屋敷 新府城跡 駒井氏屋敷 宮ノ前第2 日ノ出砦 弾正屋敷 青木氏屋敷 太上氏屋敷 武田信義館	並崎市市 並崎市市 並崎市市 並崎市市 並崎市市 並崎市市 並崎市市 並崎市市 並崎市市	14・15世紀の砦跡			
72 73 74 75 76 77 78 79 80	丸山の塁跡 折井氏屋敷 新府城跡 駒井氏屋敷 宮ノ曲等 宮ノ出告 弾正屋敷 青木氏屋敷 水上氏屋敷 白山城北烽火台	並崎市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市	14・15世紀の岩跡		1991 『宮ノ前第2遺跡・北堂地遺跡』  2005 「武田信義館」 『山梨県史 資料編7 中世4考古資料』	並時市教育委員会 山梨県
72 73 74 75 76 77 78 79 80 81	丸山の塁跡 折井氏屋敷 新府城跡 騎井氏屋敷 宮ノ前第2 日ノ出告 弾正屋敷 青木氏屋敷 水上氏屋敷 武田信義館 自山城北烽火台	並 崎市市 並 崎市市 並 越崎市 市市市 並 越崎市市 並 越崎市市 並 越崎市市 並 越崎市市 市市市 市市 市 並 越崎市 車 越崎市 車 越崎市	14・15世紀の砦跡		1991『宮ノ前第2遺跡・北堂地遺跡』	並略市教育委員会
72 73 74 75 76 77 78 79 80	丸山の塁跡 折井氏屋敷 新府城跡 駒井氏屋敷 宮ノ前第2 日ノ出砦 弾正屋敷 青木氏屋敷 水上氏屋敷 或田信義館 白山城北烽火台 白山城	並除市 並除市 並除市 並除市 並除市 並除市 並除市 並除市 並除市 並除市			1991『宮ノ前第2遺跡・北堂地遺跡』 2005 『武田信義館』『山梨県史 資料編7 中世4考古資料』 1999『白山城の総合研究』	並崎市教育委員会 山梨県 連崎市教育委員会
72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82	丸山の塁跡 折井氏屋敷 新府城跡 騎井氏屋敷 宮ノ前第2 日ノ出告 弾正屋敷 青木氏屋敷 水上氏屋敷 武田信義館 自山城北烽火台	並 崎市市 並 崎市市 並 越崎市 市市市 並 越崎市市 並 越崎市市 並 越崎市市 並 越崎市市 市市市 市市 市 並 越崎市 車 越崎市 車 越崎市	14・15世紀の砦跡 16世紀代の集石土坑	山下孝司	1991 『宮ノ前第2遺跡・北堂地遺跡』  2005 「武田信義館」 『山梨県史 資料編7 中世4考古資料』	並崎市教育委員会 山梨県
72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83	丸山の塁跡 折井氏屋敷 新府城跡 宮ノ前第2 日ノ出客 第正屋敷 青木氏屋敷 水上氏屋敷 水上氏屋敷 成田信義館 白山城北烽火台 自山城北烽火台 自山城東 医光寺塁跡 坂井南遺跡 阪田屋敷 蔵の前塁跡	並崎市市 並崎時市市 並崎時市市 並崎時市市 並一 は一 は一 は一 は一 は一 は一 は一 は一 は一 は		山下孝司	1991『宮ノ前第2遺跡・北堂地遺跡』 2005 『武田信義館』『山梨県史 資料編7 中世4考古資料』 1999『白山城の総合研究』	並崎市教育委員会 山梨県 連崎市教育委員会
72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84	丸山の塁跡 折井氏屋敷 新府城跡 駒井氏屋敷 宮ノ前第2 日ノ出等 弾正屋敷 青木氏屋敷 水上氏屋敷 或田信義能 位白山城 三光寺塁跡 坂井南遠跡 殿田屋敷	並降市 並降市市 並降時市市 並降時市市 並降時市市 並降時市市 並降時市市 並上降市市 上降市市 上降市市 上下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下		山下孝司	1991『宮ノ前第2遺跡・北堂地遺跡』 2005 『武田信義館』『山梨県史 資料編7 中世4考古資料』 1999『白山城の総合研究』	並崎市教育委員会 山梨県 連崎市教育委員会



第2図 遺跡位置図(1/5000)



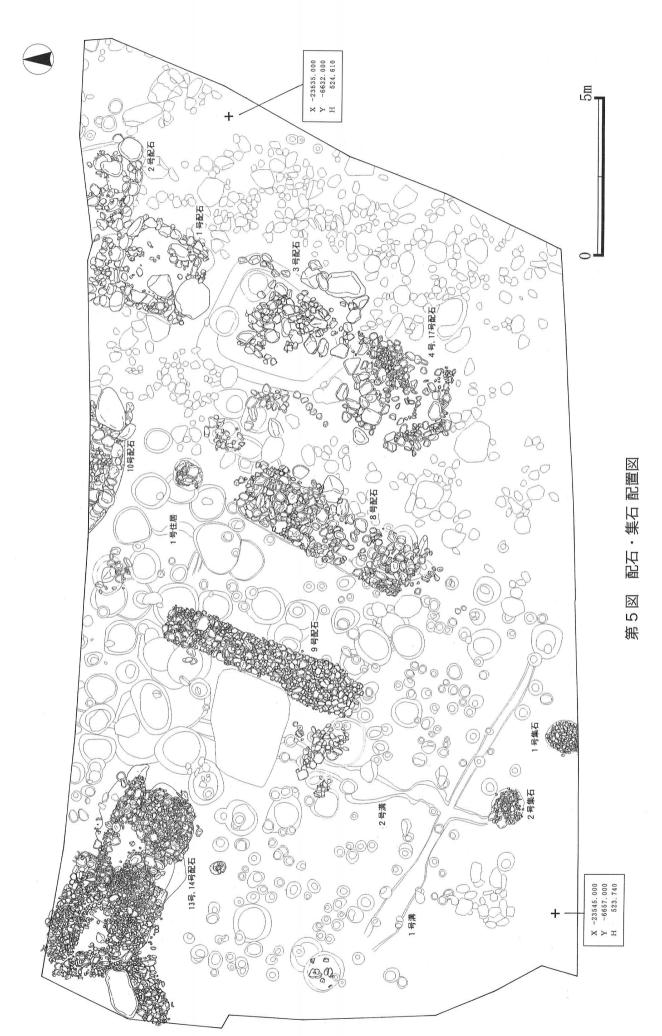
土木工事の範囲と調査の範囲(1/4000)

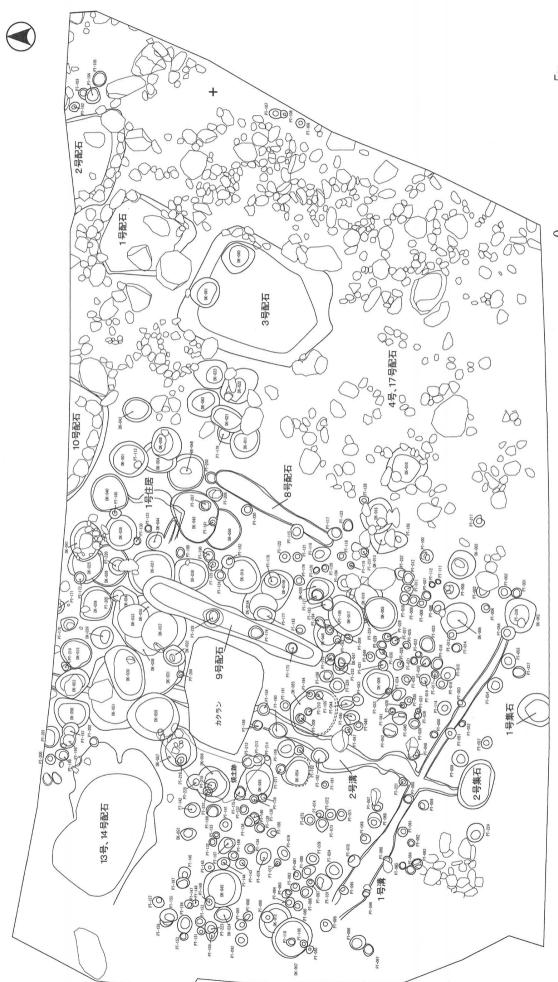


#### 基本層序図

- 1層 2層
- 積石(砕石)の盛土層 7.5YR3/3(暗褐)に7.5YR4/4(褐)が30%、2~10mmの礫が混じる。シルト粒土。 固くしまる。(水田の鉄分沈着層) 7.5YR4/1(褐灰)に7.5YR4/4(褐)が3%、炭化物が1%、2~10mmの礫が混じる。 粘土。 非常に固くしまる。(古い水田の 3層
- 耕作土層) 7.5YR3/1 (黒褐) に7.5YR4/6 (褐) が5%、2~10mmの礫が混じる。粘土。非常に固くしまる。(古い水田の耕作土層) 7.5YR4/6 (褐) に7.5YR5/8 (明褐) が40%、炭化物が5%、2~10mmの礫が混じる。シルト粒土。非常に固くしまる。(水 田の床土層)
- 6層 7.5YR2/2 (黒褐) に7.5YR3/4 (暗褐) が3%、炭化物が2%、2~10mmの礫が混じる。シルト粒土。しまりなし。(戦国時代 の造成層)
- 7.5YR3/4(暗褐)に7.5YR4/4(褐)が30%、炭化物が1%、2~10mmの礫が混じる。シルト粒土。しまる。(平安時代の遺 構確認面)地山

#### 第4図 基本層序図(1/40)





#### 第2章 遺構と遺物

本発掘調査で検出された遺構は、平安時代の竪穴住居1軒、掘立柱建物跡17棟、配石遺構14基、溝状遺構2条、集石土坑2基、土坑61基、ピット231基、焼土跡1ヶ所である。以下、遺構ごとに調査成果を報告する。

#### 1号住居跡(PH-1 第7図 写真図版3)

本調査区域で確認された唯一の住居跡で、平安時代の所産である。10号配石の南側に位置するが、周囲の中世と思われる土坑群と切り合い、ほとんど原形をとどめていない。かろうじてカマドと周溝が確認され、その周囲から平安時代の土師器がまとまって出土したため、認識できた。

遺構の規模は、土坑との重複が激しく不明である。カマドは、袖石の一部と焼土などが確認された。土師器坏、械、土師器甕の破片 724g が出土している。

出土品から住居の時期は、平安時代、9世紀末から10世紀前半と推測される。

#### 1号・2号溝状遺構 (MZ-1、MZ-2 第2図、第8図 写真図版4・17)

調査区を東西に走る溝状遺構は、幅50cm、深さ10cm 程度の小溝である。溝を埋める埋土には、砂礫が一部でわずかに堆積する程度であったが、水路として機能していたか不明である。1号溝状遺構は、東西がすでに失われており、その全体像は不明である。2号溝状遺構は、南端は2号集石土坑と重複し、北端は土坑群と重複して失われている。2条の溝が交差しているが、交差地点を観察したところ、新旧関係はなく同時期のものと思われた。平安時代の土師器が出土し、中世と思われる土坑群、集石土坑に切られるため、平安時代の遺構と判断した。

#### 1号・2号集石土坑 (SY-1、SY-2 第9図 写真図版5・6)

調査区域の南端で検出された。径 1m 程、深さ 20cm 程度で、拳大の礫がまとまっている。礫には変色、被熱痕は認められず、埋土中に焼土、炭化物、灰などは含まれていない。出土品は 2 号集石土坑で平安時代の土師器坏破片 1g があるが、遺構の時期を示す資料か判断できなかった。

#### 1 号配石 (HS-1 第 9 図 写真図版 7・18)

調査区北東端の礫が混じる地山で検出された方形の掘り込みで、四辺には礫が石垣状に並べられている。掘り込みの深さは50cm ほどで、埋土はややしまった黒褐色土で、焼土粒子と炭化材小片が混じっていた。掘り込み底部付近には焼土と灰が集積した箇所があった。出土遺物は、中世のかわらけ破片16点102gがある。四辺に土留め石垣状に並べられた礫は、長片を横にして二段積みにしてあり、一部は地山の大小の礫をそのまま石垣に取り込んでいる。石垣に用いている礫は、須玉川起源の河原礫である。

以上の調査所見でこの遺構の性格を明確にすることはできなかったが、火葬後の遺骨を焼土や灰とともに 納めた二次埋葬施設ではないかと推測される。ただし、焼人骨は出土していない。

この遺構の時期は、かわらけの形状から15世紀から16世紀代と推測される。

#### 2号配石 (HS-2 第10図 写真図版7・19)

1号配石の北に接して検出された掘り込みで、その形状はおおむね1号配石と同様である。遺構の半分は調査区外に位置する。遺物は出土していない。埋土の状況、床面上に焼土、灰が集積する箇所があることなども1号配石と共通する。同じ性格の遺構と考えられる。

#### 3号配石(HS-3 第10·11 図 写真図版8·20)

1号配石南側に近接して検出された堀込みである。礫混じりの地山に、礫が少なく黒褐色の掘り込みがはっきりと認識されたが、実際に底面まで発掘したところで、土坑が2基、重複していることが分かった。土坑との新旧関係は不明である。埋土はややしまった黒褐色土で、多数の大小の礫が混じる。

おおむね方形の掘り込みは、1号配石、2号配石に比べると大きい。遺構確認時点では分からなかったが、掘り込み底面で複数個所に焼土と灰が僅かであるが検出されていることから、1号配石と同様の遺構が複数重複している可能性もある。掘り込みの縁辺には、1号配石のような石垣状の礫は認められない。ただし、北東角の一部に小さな礫7個が列状に並ぶ箇所がある。

遺物は土鍋もしくは内耳鍋と思われる破片、天目茶碗破片などが出土している。

#### 4号・17号配石 (HS-4・HS-17 第11図 写真図版9・20・21)

3号配石の南側で検出された遺構で、掘り込みが非常に浅いものの、その形状と規模は、1号配石、3号配石に類似する。遺構検出時点の礫の並びから2基の遺構と認識したが、発掘後も同一遺構かどうか判断がつかなかった。大きめの礫がやや上層で方形に並ぶようにみえ、下層にはこまかな礫が多い。

1号配石等と同じく遺構底面には灰、炭、焼土が散布する箇所が検出され、同じ性格の遺構であると推測される。

「景徳元宝」、かわらけ、くぼみを穿った礫などが出土している。

#### 8号配石(HS-8 第12・13図 写真図版9・10・21)

幅 1m、長さ5.5mの範囲に大小の礫が配置された遺構で、礫を取り外したところ、下層から溝状遺構が検出された。2.5m 西側に同様の形状の9号配石がほぼ併行して検出されている。礫の一部は、重機による表土剥ぎ取り作業の際、地山の礫と区別がつかずに外してしまった。

かわらけ、くぼみを穿った礫、内耳鍋破片、石臼破片が出土している。

1号配石などとは形状が異なる。建物基礎などの機能を考えてみたが、礎石になりうる上面が平坦な礫もなく、柱穴も確認されなかった。

#### 9号配石(HS-9 第 14・15・16 図 写真図版 10・11・21)

8号配石の西側で検出された配石遺構で、形状は8号配石に類似する。下層の溝状遺構内から3基のピットが検出されたが、溝状遺構検出面では確認されず、また上層の配石はピットを覆っているため、これらのピットは配石及び溝状遺構よりも古い遺構と判断される。9号配石では、上層に細かな礫が密集し、下層には根石状に大きな礫が並べられていた。

かわらけ、くぼみを穿った礫、石臼破片(第15図6)、五輪塔の地輪などが出土している。石臼破片は、8号配石出土の石臼(第13図7)と接合する。

#### 10号配石 (HS-10 第16図 写真図版 12·22)

調査区北端で検出された遺構で、1号配石と同様に石垣状に積み重ねた礫で囲まれた方形の掘り込みである。掘り込みの深さは0.5m ほどで、掘り込み内側の壁の土留め状の礫は、4段積みである。灰、焼土などは調査範囲で検出されなかったが、形状から1号配石と同様の性格を有する施設と考えられる。

くぼみを穿った礫が出土している。

#### 13号·14号配石(HS-13 HS-14 第17·18·19 図 写真図版 12·13·23)

調査区北西端で検出された配石遺構で、上層に細かな礫を敷き詰め、下層には大きめの礫が充填されていた。水田造成の際に敷き込んだ礫層かとも思ったが、遺構精査時に掘り込みを伴うことが分かったため、2 基の1号配石と同様の性格を有する配石遺構と考えた。

13号・14号配石を南東から北西に横切るように水田の暗渠があり、その部分の礫は乱れたり抜かれたりしている。遺構底面から灰、焼土などは検出されなかった。

かわらけ、染付陶器、打製石斧状の石器、くぼみを穿った礫、五輪塔の空風輪、火輪などが出土している。

#### 1号~17号掘立柱建物跡(HO-1~HO-17 第20図~23図 写真図版13)

調査区の西側で17棟の掘立柱建物跡が確認されている。このうち、現地調査の時点で認識された建物跡は、1号掘立柱建物跡、4号掘立柱建物跡、12号掘立柱建物跡、16号掘立柱建物跡の4棟で、ほかは整理作業段階で、柱穴と思われるピットの組み合わせを検討して図上復元したものである。

ピットの出土遺物から建物跡の時期を想定すると、1 号掘立柱建物跡では 189 号ピットから中世のかわらけ (30 図 1)、207 号ピットから中世陶磁器 (30 図 8) が出土し、5 号掘立柱建物では 146 号ピットから中世のかわらけ (29 図 13) が、7 号掘立柱建物跡では 192 号ピットから平安時代の土師器坏 (30 図 5)、8 号掘立柱建物跡では 141 号ピットから中世のかわらけ (29 図 12) が、それぞれ出土していて、平安時代と中世の所産と推測される。その他の掘立柱建物は、出土遺物がなく時期が推定できないが、おおむね同様の時期と思われる。

#### 土坑・ピット(DK1~61、PT1~234 第1表、第2表、第24図~30図 写真図版14・15)

土坑とピットは、その大きさから機械的、便宜的に区分した。61 基が確認された土坑のなかには、掘立 柱建物跡を構成する柱穴と判断されたものも含まれる。土坑は、その出土品からおおむね中世の所産と想定 される。

土坑の多くは、径 1m 前後で黒色の埋土で埋まり、確認面に配石を伴ったり、内部に礫が入っていたりする。51 号土坑のように石製鉢を伴うものもあり、人骨は出土していないが、多くは中世の墓坑であろうと思われる。一方で、52 号土坑のように柱穴と疑われるものもある。この土坑は割られた石臼を伴っている。

#### 遺構外の出土遺物(第31図、32図)

調査区全体から、縄文時代、平安時代、中近世の遺物が出土している。縄文時代の遺物は後晩期の土器破片と打製石斧などの石器が若干出土している。近世遺物は、表土や攪乱箇所を除くと、江戸時代前期以降の遺物は少ないように見受けられる。銭貨も少なからず出土しているが、寛永通宝がみられず、新しいものでは永楽通宝までであることから、先の中近世陶磁器等の傾向に合致する。

遺構外出土の土器類は、縄文時代の土器が 15 点 550g、平安時代の遺物は土師器坏(第 31 図 1)1 個体 136g と坏皿破片 148 点 750g、灰釉陶器 7 点 50g、須恵器 12 点 447g。第 31 図 5 の土師器の底部には穴が穿ってある。中世陶磁器は常滑焼など国産鍋甕類陶器破片(第 31 図 12・13)が主となり、ほかにわずかに中国産青磁、白磁などの破片が混じる。これらは 479 点 6330g である。かわらけと瓦質土器は 143 点 5197g、近世陶磁器は 54 点 226g である。第 31 図 15・16 は、中世の内耳鍋破片を加工した円盤状土製品である。

石器類は、打製石斧(第 31 図 17) 1 点 128g、磨石 4 点 983g、敲石 1 点 500g、石皿 1 点 2000g、石鏃 3 点 2.1g、黒曜石片 33 点 49g、砥石(第 32 図  $7\sim10$ ) 4 点 121g、茶臼 1 点 43g、石鉢 1 点 5000g、石臼 1 点 3800g、くぼみを穿った石器(第 32 図  $1\sim6$ ) 6 点 4056g、碁石(第 32 図 14) 1 点 13g、硯(第 32 図 11) 1 点 60g、

石器石材 13 点 242g、用途不明の石器(第 32 図 12・13)2 点 91g が遺構外から出土している。 銭貨は、宋銭、明銭が主で 19 枚が出土した。銭種が判明するものでは、永楽通宝 4、開元通宝 3、天元通宝 1 である。ほかに鉄製品 14 点 521.8g があるが、製品種別は不明である。

#### 第3章 調査の総括

本発掘調査では、平安時代の竪穴住居跡と溝が検出された。これまでに実施された御崎前遺跡の発掘調査でも平安時代の遺構と遺物が確認されており、遺構密度は濃厚ではないが、平安時代集落跡が展開していることが判明した。ただし、その面的広がりは、今回の調査では明らかになっていない。

遺跡の主体となるのは、中世、おそらく 15世紀から 16世紀にかけての配石墓、墓坑、掘立柱建物跡であった。第1章でも若干触れたが、地元の古老の間には、調査区付近に真言宗寺院があったとの伝承があり、五輪塔などの石造物がまとまって安置されている土地がある。これらの中世墓群が、この伝承とどのように関連するのか、今回の調査では明確になっていないが、近世から現在までの若神子宿の土地利用とは異なった状況を窺い知ることができる。

第2表 土器・土製品一覧

図版 番号	遺構名	種別	器 種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	胎土色調	残存度	重量(g)	特徴、胎土質、釉調、出土位置
7図1	1号住居	甲斐型土師器	坏	(13.8)	3.9	7	10YR5/3(にぶい黄褐)	1/3	66	底部回転糸切り痕、カマド出土
7図2	1号住居	甲斐型	III	11.8	2.6	4.9	7.5YR5/6(橙)	1/2	49	外面へラ削り、カマド出土
7図3	1号住居	甲斐型	坏	12.8	4.6	5.1	5YR6/6 (橙)	2/3	64	スス付着、外面ヘラ削り、底部ヘラケズリ、カマド出土
7図4	1号住居	甲斐型	鉢	25.6	8.9	11	7.5YR6/6(橙)	1/2	485	外面へラ削り、 内面放射状暗文、カマド出土
8図1	2号溝	甲斐型	m	(13.4)			5YR6/6(橙)	小破片	15	外面へラ削り
8図2	2号溝	信州系	坏	(14.0)			7.5YR7/6(橙)	小破片	11	内面黒色処理
8図3	2号溝	甲斐型	坏	(= == /			5YR5/6(明赤褐)	小破片	6	墨書「大万」
8図4	2号溝	甲斐型	坏				7.5YR7/4 (にぶい橙)	小破片	1	墨書あり ヘラ削り
8図5	2号溝	灰釉陶器	椀	(18.4)			2.5YR8/1 (灰白)	小破片	25	釉:7.5Y6/3 (オリーブ黄)
9図1	1号配石	かわらけ	να	(10.1/		(7.0)	7.5YR8/6(浅黄橙)	小破片	22	底部回転糸切り痕
9図2	1号配石	かわらけ				(8.0)	7.5YR8/3 (浅黄橙)	小破片	21	底部回転糸切り痕
9図3	1号配石	かわらけ				(8.4)	7.5YR8/3(浅黄橙)	小破片	28	底部回転糸切り痕
11図1	3号配石	陶器	内耳土器	(36.8)		(0.1/	7.5YR6/4 (にぶい橙)	小破片	125	754 P 1 1 1 1 1 1 7 7 7 7 8 3
	3号配石	中世陶磁器	天目茶碗	12.0			10YR7/4 (にぶい黄橙)		10	
11図2			人日米例	(12.0)			5YR4/6 (赤褐)	小破片	8	
11図3	4号配石	かわらけ			1.6	(3.0)	7.5YR5/4 (にぶい褐)	1/3	23	底部糸切り痕
13図1	8号配石	かわらけ		(7.4)	1.6	(3.0)			11	
13図2	8号配石	かわらけ		(13.0)		(10)	7.5YR7/4 (にぶい橙)	小破片		ココム美 序卸を回り店
13図3	8号配石	かわらけ		(7.5)	2.1	(4.2)	7.5YR7/6(橙)	小破片	12	スス付着、底部糸切り痕
13図4	8号配石	かわらけ		(14.4)			5YR7/4 (にぶい橙)	小破片	7	
13図6	8号配石	陶器	内耳土器			(23.8)	5YR7/2(明褐灰)	小破片	30	
14図1	9号配石	かわらけ		12.0			5YR6/6(橙)	小破片	17	
18図1	13号配石	かわらけ		(7.0)			10YR6/4(にぶい黄橙)		8	
18図2	13号配石	近世陶磁器		(16.0)			2.5Y8/2(灰白)	小破片	17	
26図1	41号土坑	かわらけ		(13.7)			5YR6/6(橙)	小破片	9	
26図2	41号土坑	かわらけ		(8.4)	2.2	4.6	5YR4/6 (赤褐)	1/3	34	
26図3	41号土坑	円盤状土製品		1			10YR5/3 (にぶい黄褐)		10	
28図1	65号土坑	国産陶磁	甕	(46.0)				小破片	51	常滑産、注記は12号配石
28図2	65号土坑	かわらけ		(6.8)	16.5	(3.5)	10YR8/3(浅黄橙)	小破片	12	
	17号ピット	かわらけ		(10.0)	2.3	5.1	10YR6/4 (にぶい黄橙)	完形	121	スス付着、底部回転糸切り痕
28図5		中世陶磁器	工日太路	(10.0)	2.0	4.2~4.3	5YR8/2 (灰白)	小破片	43	2.12.1117a ( )Extabilities/1.22 / JA
28図8	23号土坑	中世門飯荷	人日米帆	(10.6)	2.2~2.3	(6.2)	5YR6/6 (橙)	小破片	22	
28図10	26号土坑					(7.4)	7.5YR7/6(橙)	小破片	20	
28図12	29号土坑	かわらけ		(12.8)	2.4			小破片		
29図1	30号土坑	かわらけ		(10)	2.1	(6.0)	7.5YR5/4 (にぶい褐)		7	平安時代、釉調10YR6/2 (オリーブ灰)
29図2	30号土坑	緑釉陶器		(= 0)	1.0	(0.0)	2.5YR7/2 (灰黄)	小破片		十女時代、相調101 R6/2 (4 リーノ)火)
29図4	36号土坑	かわらけ		(7.0)	1.6	(3.6)	10YR7/3 (にぶい黄橙)		8	elected to the locale
29図5	45号土坑	かわらけ		(11.1)	2.2	6.1	7.5YR7/4(にぶい橙)	2/3	88	底部回転糸切り痕
29図6	49号土坑	かわらけ		(6.8)	1.6	(3.0)	7.5YR7/4(にぶい橙)	小破片	14	
29図8	53号土坑	かわらけ		(8.0)	1.7	(5.0)	7.5YR8/4(浅黄橙)	小破片	22	
29図9	58号土坑	陶器	内耳土器		16.2	27	7.5YR6/6(橙)	小破片	430	
29図12	141号ピット	かわらけ		(8.0)	1.8	3.6	7.5YR8/4(浅黄橙)	小破片	16	8号掘立柱建物、底部回転糸切り痕
29図13	146号ピット	かわらけ		(12.0)	2	(6.2)	7.5YR7/6(橙)	小破片	10	5号掘立柱建物
				(8.0)	14~15.5	(4.2)	7.5YR6/6(橙)	1/3	23	底部回転糸切り痕
29図17	170号ピット	青磁	m	(9.0)			2.5YR7/1 (灰白)	小破片	11_	釉調7.5YR6/1(灰)
30図1	189号ピット			(9.0)	14.5	(6.6)	7.5YR7/6(橙)	小破片	6	1号掘立柱建物、底部回転糸切り痕
30図2	190号ピット	かわらけ		10.2	2.4	5.2	10YR5/4 (にぶい黄褐)	小破片	27	スス付着、底部回転糸切り痕
30図4	107号ピット	かわらけ	<b></b>	9.8	2.5	4.5	7.5YR6/6 (橙)	完形	98	スス付着、底部回転糸切り痕
30図5	192号ピット	甲斐型	坏	(12.9)	3.5	4.4	5YR5/6 (明赤褐)	2/3	61	7号・15号掘立柱建物、スス付着、墨書「泉」
30図6	201号ピット	中世陶磁器	甕	51.2	6.2	***	7.5YR5/1 (灰)	小破片	92	常滑産
30図8	2017年ピット	中世陶磁器	,Ne.	01.2	0.5	4.5(高台径)	5YR8/1 (灰白)	小破片	21	1号掘立柱建物、志野釉、釉調2.5YR8/1(灰白)
	231号ピット	灰釉陶器	<del>                                     </del>	+		8(高台径)	7.5YR7/1 (灰白)	小破片	22	
30図9	231号ピット			(14)		0 (同日達/	5YR7/6 (橙)	小破片	19	
30図10			坏		2.9	6.6	7.5YR6/6 (橙)	2/3	136	底部回転糸切り痕
31図1	遺構外	かわらけ	1 h	13.4			7.5YR7/4(にぶい橙)	小破片	14	底部回転糸切り痕
31図2	一括	かわらけ		(8.0)	1.8	(5)		小破片	11	/A, IP II #A7N 97 7 7X
31図3	一括	かわらけ	ļ	(7.0)	1.6	(4)	5YR6/6 (橙)			
31図4	一括	かわらけ		(6.4)	1.3	(3.4)	5YR6/6 (橙)	小破片		古が同転を知り   古がかで
31図5	遺構外	かわらけ		4		(7.0)	7.5YR6/4(にぶい橙)	小破片		底部回転糸切り、底部穿孔
31図6	遺構外	かわらけ		6.5	1.4	3.8	7.5YR6/6 (橙)	1/2	18	八美 古が日本女 P 5 幸
31図7	一括	かわらけ		(9.0)	2.0	(5.8)	5YR6/6 (橙)	小破片	15	スス付着、底部回転糸切り痕
31図8	一括	かわらけ		(8.0)	1.7	(4.8)	7.5YR (にぶい橙) 7.5YR6/4 (にぶい黄褐)	小仮片	9	底部回転糸切り痕
31図9	遺構外	かわらけ		(12.0)	2.6	(5.4)	7.5YR6/4(にぶい黄褐)	小破片	19	
31図10	一括	かわらけ		(7.8)	1.7	(3.8)	7.5YR6/4(にぶい橙)	1/3	19	底部回転糸切り痕、スス付着
31図11	遺構外	中世陶磁器		(6.7)	1.4	(3.2)	7.5Y7/1(灰白)	1/3	10	瀬戸美濃産灰釉陶器
31図12	遺構外	中世陶磁器	甕	(26.0)			7.5YR6/1 (褐灰)	小破片	74	常滑産
31図13	遺構外	中世陶磁器	悪	(51.2)	<u> </u>		10YR6/2 (灰黄褐)	小破片		常滑産
31図13	遺構外	陶器	内耳土器		11.9		10YR6/6 (橙)	小破片		
31図14		門伯	土製品	5.2	4.6	0.8	7.5YR5/4 (にぶい褐)	- 3 BA/1	29	内耳土器破片を加工した円盤状土製品
	遺構外		上发前	0.2	3.4	0.6	5YR6/6 (橙)	+	7	内耳土器破片を加工した円盤状土製品
31図16	一括	1	土製品							

第3表 石器・石製品一覧表

図版 番号 11図5 13図5 13図7	<b>遺構名</b> 4号配石	種別	長 (cm)	幅 (cm)	厚(四)	石質	重量	#± 0## +- 1"
13図5	4号配石			(0111)	(cm)		(g)	特徴など
		中世凹石	10.3	9.2	6.3	デイサイト	682	
13図7	8号配石	中世凹石	16	12.8	8.8	デイサイト	2300	
	8号配石		(31.5)	31.5	14.2	デイサイト	8100	
14図2	9号配石	中世凹石	21	17.4	9.2	デイサイト	4100	
14図3	9号配石	中世凹石	13.3	11.8	9.1	デイサイト	1729	
15図1	9号配石		14	21	7	デイサイト	2800	
15図2	9号配石	中世凹石	10.35	10.25	5.95	デイサイト	600	
15図3	9号配石	中世凹石	8.15	7.9	5.35	デイサイト	372	
15図4	9号配石	中世凹石	13.35	9.6	6.55	デイサイト	1005	
15図5	9号配石				13.35	デイサイト		
15図6	9号配石	石臼	30.0	(30.0)		デイサイト	7500	
16図1	9号配石	石臼				デイサイト	3300	
16図2	9号配石	五輪塔 (地輪)	13.8	16.2		デイサイト	4500	
16図3	10号配石		14.4	15.5	11.8	デイサイト	2600	
18図3	13号配石	中世凹石	12	12.3	7.2	デイサイト	1273	
18図4	13号配石	中世凹石	11.4	12.4	5	デイサイト	818	
18図5	13号配石	打製石斧	18.8	5.5	2.8	頁岩	392	左側面にはっきりした薄利が見られるが、加工or自然かは不明
19図1	13号配石		12.7	16.3	9.4	デイサイト	1871	
19図2	13号配石		23.4	23.4	10.6	デイサイト	6700	
19図3	13号配石	五輪塔(空風輪)	22.1	14.1	14	デイサイト	4400	
19図4	13号配石	五輪塔 (火輪)	9.5	19		デイサイト	3100	
19図5	13号配石	磨石	11.35	8.5	4.25	デイサイト	707	
24図1	7号土坑	中世凹石	9	8.2	6.1	デイサイト	575	
24図2	7号土坑		8.7	7.3	5.1	デイサイト	402	
25図1	11号土坑	中世凹石	8.5	7.6	5.6	デイサイト	452	
26図4	51号土坑	手水鉢	26.4	18.5	23.8	デイサイト	6400	最大幅:35
27図1	52号土坑	石臼	30.5	30.6	14.5	デイサイト		
28図3	65号土坑	中世凹石	9.8	10.3	6.9	デイサイト	925	裏面にも窪み有
	65号土坑	中世凹石	16.6	15.7	10.4	デイサイト	3300	裏面にも窪み有
	13号土坑	中世凹石	11.5	10.4	8.15	デイサイト	1185	
29図7	49号土坑	打製石斧	10.0(残存)	5.4	2	硬砂岩	161	
29図10	4号ピット	碁石	1.8	1.6	0.5	頁岩	2	
	117号ピット	軸受石	2.9	3.6	1.6	軽石	7	
	201号ピット	火打ち石	5.3	2.95	1.65	石英	34	
31図17	遺構外	打製石斧	8.9	6.55	2	粘板岩	128	
32図1	遺構外	中世凹石	11	8.5	4.9	デイサイト	564	
	15号配石	中世凹石	6.9	6.35	3.25	デイサイト	170	
32図3	遺構外		5.7	5.6	2.3	デイサイト	72	貫通していない孔あり。
32図4	遺構外	中世凹石	11.4	11.15	7.8	デイサイト	1081	
32図5		中世凹石	13.5	13.45	8.4	デイサイト	1651	
32図6	遺構外		7	6.3	4.1	デイサイト	247	
32図7	遺構外	砥石	6.3	3.1	1.6	凝灰質流紋岩	46	
32図8	一括	砥石				泥板岩	20	片岩系の石材
32図9	遺構外	砥石	3.5	3	1.2	凝灰質流紋岩	14	
32図10	遺構外	砥石			1.3	凝灰質流紋岩	41	
32図11	遺構外	硯				粘板岩	60	粘板岩制だが、雨畑石のような黒くない。在地の縄文打斧のような石
32図12	遺構外		3.95	2.8	1.55	泥岩?	19	
32図13	遺構外		2.6	2.8	1.9	デイサイト	16	
32図14	遺構外		3.4	3.05	0.8	礫岩	13	
32図15	遺構外	茶臼			(19.4)	デイサイト	43	

#### 第4表 出土銭貨一覧表

11図4   11号配石   景徳元寶   北宋   1004     24図3   9号土坑   永楽通寶   明   1408     25図2   22号土坑   永楽通寶   明   1408     27図2   63号土坑   永楽通寶   明   1408     29図3   33号土坑   元祐通寶   北宋   1086     28図7   17号土坑   祥符元寶   北宋   1009     28図9   23号土坑   元豊通寶   北宋   1078     28図11   27号土坑   洪武通寶   明   1368     28図13   29号土坑   洪武通寶   明   1368     29図14   155号土坑   開元通寶   唐   845	
24図3     9号土坑     永楽通寶     明     1408       25図2     22号土坑     永楽通寶     明     1408       27図2     63号土坑     永楽通寶     明     1408       29図3     33号土坑     元祐通寶     北宋     1086       28図7     17号土坑     祥符元寶     北宋     1009       28図9     23号土坑     元豊通寶     北宋     1078       28図11     27号土坑     洪武通寶     明     1368       28図13     29号土坑     洪武通寶     明     1368	
25図2   22号土坑   永楽通寶   明   1408	
27図2     63号土坑     永楽通寶     明     1408       29図3     33号土坑     元祐通寶     北宋     1086       28図7     17号土坑     祥符元寶     北宋     1009       28図9     23号土坑     元豊通寶     北宋     1078       28図11     27号土坑     洪武通寶     明     1368       28図13     29号土坑     洪武通寶     明     1368	
29図3     33号土坑     元祐通寶     北宋     1086       28図7     17号土坑     祥符元寶     北宋     1009       28図9     23号土坑     元豊通寶     北宋     1078       28図11     27号土坑     洪武通寶     明     1368       28図13     29号土坑     洪武通寶     明     1368	
28図7     17号土坑     祥符元寶     北宋     1009       28図9     23号土坑     元豊通寶     北宋     1078       28図11     27号土坑     洪武通寶     明     1368       28図13     29号土坑     洪武通寶     明     1368	
28図9     23号土坑     元豊通寶     北宋     1078       28図11     27号土坑     洪武通寶     明     1368       28図13     29号土坑     洪武通寶     明     1368	
28図11     27号土坑     洪武通寶     明     1368       28図13     29号土坑     洪武通寶     明     1368	
28図13 29号土坑 洪武通寶 明 1368	
29図14 155号土坑 開元通寶 唐 845	
29図16 165号ピット 永楽通寶 明 1408	
30図3 198号ピット 煕寧元寶 北宋 1068	
32図16 遺構外 開元通寶 唐 845	
32図17   遺構外   天元通寶   日本   1360頃   島銭	
32図18 遺構外 熈寧元寶 北宋 1068	
32図19 遺構外 政和通寶 北宋 1111 篆書	
32図20 遺構外 天〇〇寶	
32図21 遺構外 開元通寶 唐 845	
32図22 遺構外 皇宋通寶 北宋 1038	
32図23 遺構外 開元通寶 唐 845	
32図24 遺構外 永楽通寶 明 1408	
32図25 一括 永楽通寶 明 1408	
32図26 遺構外 永楽通寶 明 1408	
32図27 1号焼土 永楽通寶 明 1408	

#### 第5表 土坑観察表

弗0衣	工叽飷祭衣			
番号(DK)	位 置	径(長軸×短軸)×深さ、cm	埋 土 質	調査所見等
001	10 号配石南 1m	115×110×22	10YR2/3に 10YR4/6が混じる。炭粒子が僅かに混じる。しまる細粒土。	4号土坑を切る。かわらけ破片7
002	8 号配石南 5m	75×82×18	10YR2/3に10YR4/6が混じる。炭粒子が僅かに混じる。ややしまる細粒土。	
003	8 号配石南東 3m	98×70×20	10YR2/2に10YR4/6と10YR3/2が混じる。焼土,炭粒子が僅かに混じる。しまる細粒土。	内耳土器破片 1
004	10 号配石南 2m	90×100×50	10YR2/3に 10YR4/6が混じる。炭粒子が僅かに混じる。しまる細粒土。	1号・9号土坑に切られる。平安土師器破片 2、かわらけ 11
005	9 号配石南 5m	86×96×16	10YR2/3に10YR4/4が混じる。炭粒子が僅かに混じる。しまる細粒土。	平安土師器破片 1、かわらけ破片 5、縄文石鏃 1
006	9 号配石南 2m	85×90×16	10YR2/3に10YR3/4が混じる。しまる細粒土。	T X T IN IN IN IN IN IN IN INC. THEX. COMM.
007	1号溝西端北西 2m	120×115×61	10YR2/3に10YR4/4が混じる。炭粒子が僅かに混じる。ややしまる細粒土。	第 24 図。12 号土坑を切る。93 号ピット .110 号ピットに切られる。くほみがある石器 2
008	1 分钟局初地區 2111	120 × 113 × 01	TOTAL STETOTATA DE Coo	大番。180 号ピットに改称。
008				第 24 図。4 号土坑を切る。多数の礫あり。平安土師器
009	10 号配石南 2m	$70 \times 60 \times 35$	10YR2/3に 10YR4/6 が混じる。ややしまる。	
				破片 1、かわらけ破片 2、内耳土器破片 2、永楽通宝 1
010	4·17 号配石西 2m	110×110×30	10YR2/3に10YR3/4が混じる。炭粒子が僅かに混じる。ややしまる細粒土。	
011	8号配石東 1m	130×90×30	10YR2/3 に 10YR3/4 が混じる。ややしまる細粒土。	第 25 図。くぼみがある石器 1
012	1 号溝西端北西 2m	110×90×38	10YR2/3 に 10YR3/4 が混じる。しまる細粒土。	7号土坑に切られる。
013	8 号配石南端南 1m	80×80×10	10YR2/3 に 10YR4/6 が混じる。ややしまる。	第 28 図。くぼみがある石器 1
014A	9 号配石東に隣接			14B 号土坑に切られる。平安土師器破片 1、かわらけ
		$170 \times 120 \times 20$	10YR2/3 に 10YR3/4 が混じる。ややしまる。	破片 11、内耳土器破片 3、くぼみがある石器 1
014B	9号配石東に隣接			黒曜石破片 1
015	2 号溝北端東 1m	80×90×46	10YR2/3に 10YR4/6が混じる。炭粒子が僅かに混じる。ややしまる。	かわらけ破片 2、内耳土器破片 1、中世陶磁器破片 1
016	8 号配石南東 3m	80×110×28	10YR2/3 に 10YR4/6 が混じる。ややしまる。	
017	9 号配石南端南東 1m	115×130×22	10YR2/3に 10YR4/6が混じる。炭粒子が僅かに混じる。ややしまる。	第28 図。18 号土坑を切る。かわらけ破片 2、祥符元寶 1、判読不可銭 1、黒曜石破片 1
018	9 号配石南端南東 2m	80×80×22	10YR2/3 に 10YR4/6 が混じる。ややしまる。	3号・17号土坑に切られる。かわらけ破片 1
019	9号配石中央東 1m	115×125×14	10YR2/3 に 10YR4/6 が混じる。炭粒子が僅かに混じる。ややしまる。	14号土坑を切る。土師器破片 1、かわらけ破片 1、内耳土器破片 1
020	8 号配石南端西 2m	65×65×30	10YR2/3 に 10YR4/6 が混じる。ややしまる。	127号ピットに切られる。平安土師器破片 2、かわらけ破片 1、判読不可銭 1
021	3 号配石西 2m	80×80×30	10YR2/3 に 10YR4/6 が混じる。ややしまる。	63 号土坑に切られる。 十女工
021	3 号配石西 1m	80×80×30	10YR2/3 に 10YR4/6 が混じる。ややしまる。	第25図。石列を伴う。かわらけ破片 1、内耳土器破片 2、永楽通宝 1
022	3 号配石四 1m 3 号配石西 1m	70×70×40		
	3 写配石四 1m   13·14 号配石南西 4m		10YR2/3 に 10YR4/6 が混じる。ややしまる。	第28 図。かわらけ破片 5、中世陶磁器破片 3、元豊通寶 1
024		30×30×32	10YR2/2(灰色っぽい) に 10YR4/6 が混じる。焼土,炭粒子が僅かに混じる。ややしまる。	45 号土坑に切られる。
025	9号配石北端北 3m	106×108×15	10YR2/2に10YR3/5が混じる。焼土,炭粒子が僅かに混じる。ややしまる細粒土。	41号土坑に切られる。26号土坑を切る。かわらけ破片1、内耳土器破片1
026	9号配石北端北 2m	120×120×15	10YR2/2に10YR4/4が混じる。焼土,炭粒子が僅かに混じる。細粒土。	第28 図。25 号土坑に切られる。平安土卸器破片12、かわらけ破片1、判読不可銭1
027	9号配石北端に隣接	130×130×20	10YR2/2に10YR4/4が混じる。焼土,炭粒子が僅かに混じる。細粒土。	第28図。9号配石下で検出。平安土師器破片 5、かわらけ破片 1、洪武通寶 1
028	9 号配石北端北西 2m	$94 \times 90 \times 20$	10YR3/2 に 10YR4/4 が混じる。炭粒子が僅かに混じる。細粒土。	中世陶磁器破片 1、判読不可銭 1
029	9 号配石北端北西 2m	$70 \times 63 \times 30$	10YR2/2に 10YR5/6が混じる。焼土,炭粒子が僅かに混じる。細粒土。	第 28 図。かわらけ破片 3、洪武通寶 1
				第 29 図。31 号土坑を切る。平安土師器破片 9、緑釉
030	9 号配石北端西 3m	$110 \times 50 \times 20$	10YR2/2に 10YR4/4が混じる。焼土, 炭粒子が僅かに混じる。細粒土。	陶器破片 1、かわらけ破片 18、内耳土器破片 4、青磁
				破片 1、黒曜石破片 1、礫(つぶて)状の石器 1
031	9 号配石北端西 2m	不明 × 20	10YR2/2に10YR4/4,10YR3/3が混じる。炭粒子が僅かに混じる。細粒土。	30 号土坑に切られる。32 号土坑を切る。
032	9 号配石北端西 2m	60×60×30	10YR2/2に10YR4/6が混じる。炭粒子が僅かに混じる。細粒土。	31 号土坑に切られる。
				第29図。平安土師器破片1、かわらけ破片2、内耳土器破片
033	9 号配石北端西 1m	$95 \times 95 \times 20$	10YR2/2。焼土, 炭粒子が僅かに混じる。細粒土。	7、元祐通寶 1、礫 (つぶて) 状石器 1、鉄製品破片 2
034	9 号配石北端北西 1m	95×95×24	10YR2/2に 10YR4/4 が混じる。炭粒子が僅かに混じる。細粒土。	35 号土坑を切る。かわらけ破片 1、内耳土器破片 1
035	9号配石北端西に隣接	不明×20	10YR2/2。炭粒子が僅かに混じる。細粒土。	34 号土坑に切られる。
036	9号配石北端西 2m	100×98×25	10YR2/3 に 10YR5/6 が混じる。焼土, 炭粒子が僅かに混じる。細粒土。	第 29 図。37 号土坑を切る。かわらけ破片 3
037	9号配石北端西に隣接	不明×25	10 YR2/2,10 YR4/4 に 10 YR5/2 がブロック状に少々混じる。焼土、炭粒子が僅かに混じる。網粒土。	
037	9万配石北斒四に隣接	71.97 ~ 23	1011など4,1011年4年に1011などとかフロックがにダイ佐しる。死工、大柱丁が世が午佐しる。種位上。	平安土師器破片 1、かわらけ破片 2
038	9 号配石北端東に隣接	100×100×30	10YR3/3 に 10YR5/6 が混じる。細粒土。	9号配石下で検出。27号土坑に切られる。平安土師器
	- Haraman III III II ada -			破片 2、かわらけ破片 1、青磁破片 2
039	9 号配石北端北東 2m	130×130×40	10YR2/2に10YR4/3が混じる。焼土,炭粒子が僅かに混じる。細粒土。	1号住居を切る。平安土師器破片 7、鉄製品破片 1
040	10 号配石南西 1 m	110×110×30	10YR3/2 に 10YR4/3 が混じる。細粒土。	1号住居を切る。
				第 26 図。土坑上面の配石を 11 号配石と命名したが、41 号土坑
041	10 号配石西 1m	128×100×22	10YR3/2 に 10YR4/3 が混じる。焼土 , 炭粒子が混じる。細粒土。	に改称。25 号土坑と39 号土坑を切る。平安土師器破片2、かわ
				らけ破片 83、内耳土器破片 16、中世陶磁器破片 2、青磁破片 1
042				欠番
043	10 号配石南 1m	88×80×20	10YR3/2,10YR4/2に 10YR5/4が混じる。炭粒子が僅かに混じる。かたくしまる細粒土。	
044	9 号配石北端東 1m	50×50×25	10YR4/4 に 10YR4/3 が混じる。しまる細粒土。	平安土師器破片 1、かわらけ破片 4
0.45	12.14 早和工去 2	100 1100 =:	10VD2/9 1- 10VDE /c お海リフ 単純マス/世よ 1+キロッ 1 ユョ /m bit 1	第29回。平安土師器破片9、灰釉陶器破片1、緑釉陶
045	13·14 号配石南 3m	$100 \times 120 \times 74$	10YR3/2 に 10YR5/6 が混じる。炭粒子が僅かに混じる。しまる細粒土。	器破片 1、かわらけ 1 個体、破片 2
046	8号配石北端北 1m	120×120×10	10YR3/2。しまる細粒土。	平安土師器破片 3、かわらけ破片 2、内耳土器破片 1
047	9 号配石南端南 1m	45×40×35	10YR2/3に10YR4/6が混じる。炭粒子が僅かに混じる。ややしまる。	
048	9号配石南端東に隣接	70×60×45	10YR2/3 に 10YR4/6 が混じる。ややしまる。	17 号土坑・195 号ピットに切られる。
049	8号配石北端北西 1m	165×146×20	10YR3/2。しまる細粒土。	第 29 図。50 号土坑を切る。かわらけ破片 5、打製石斧 1
050	8号配石北端北西 1m	130×130×20	10YR3/2 に 10YR4/6 が混じる。炭粒子が僅かに混じる。しまる細粒土。	かわらけ破片 4、内耳土器破片 2
	- 2 He H 10-10-10 H XXX	10010020	TOTAL OF BUSINESS OF SOLL IN TEN 1-PU O-SU OR SHIPLE LO	第 26 図。土坑底に地山礫があり、そのうえ石製鉢半
051	13·14 号配石東 1m	119× ? ×20	   10YR3/3 に 10YR4/3 が混じる。ややしまる細粒土。	第20 図。工列底に地口保があり、そのりえ石製料子   個体が逆さに置かれていた。平安土師器破片 3、かわ
001	10 14 AUDUL W 1111	1130 : 200	1011100010101101101101111110000 1 1 0 4 0 1 1 0 1 1 1 1	
0.5.2	13·14 号配石南 1m	F0.V.00.V.12	   10YR3/2 に 10YR5/6 が混じる。炭粒子が僅かに混じる。ややしまる。	らけ破片3、内耳土器破片4、青色ガラス玉1
052	13·14 号配石南 1m	50×38×46		第27図。内耳土器破片2、石臼1
053		100×80×40	10YR3/2に10YR4/6が混じる。炭粒子が僅かに混じる。しまる細粒土。	第29図。2号溝を切る。かわらけ破片2、内耳土器破片1
054		$92 \times 90 \times 35$	10YR3/2 に 10YR4/6 が混じる。しまる細粒土。	PT211 に切られる。
	2 号溝中央西 1m			
055	2 号溝中央西 2m	$105 \times 120 \times 40$	10YR3/2 に 10YR4/6 が混じる。ややしまる細粒土。	重複するピットに切られる。
055 056	2 号溝中央西 2m 13·14 号配石南 2m	105×120×40 160×150×60	10YR3/2 に 10YR4/6 が混じる。焼土, 炭粒子が僅かに混じる。ややしまる細粒土。	平安土師器破片 1、内耳土器破片 2
055 056 057	2 号溝中央西 2m 13·14 号配石南 2m 13·14 号配石南東 1m	$105 \times 120 \times 40$ $160 \times 150 \times 60$ $100 \times 120 \times 25$	10YR3/2に10YR4/6が限じる。焼土,炭粒子が僅かに混じる。ややしまる細粒土。 10YR3/2に10YR4/6が混じる。 しまる細粒土。	平安土師器破片 1、内耳土器破片 2 土坑上面に配石あり。
055 056 057 058	2 号溝中央西 2m 13·14 号配石南 2m 13·14 号配石南東 1m 2 号溝北端西 1m	$   \begin{array}{c}     105 \times 120 \times 40 \\     160 \times 150 \times 60 \\     100 \times 120 \times 25 \\     100 \times 90 \times 40   \end{array} $	10YR3/2に10YR4/6が混じる。 焼土,炭粒子が恒かに混じる。 ややしまる棚粒土。 10YR3/2 に 10YR4/6 が混じる。 しまる細粒土。 10YR3/2。 細粒土。	平安土師器破片 1、内耳土器破片 2 土坑上面に配石あり。 第 29 図。内耳土器破片 1、判読不可銭 1
055 056 057 058 059	2 号溝中央西 2m 13·14 号配石南 2m 13·14 号配石南東 1m 2 号溝北端西 1m 13·14 号配石東 1m	$105 \times 120 \times 40$ $160 \times 150 \times 60$ $100 \times 120 \times 25$	10YR3/2に10YR4/6が混じる。 焼土, 炭粒子が憧かに混じる。 ややしまる 棚粒土。 10YR3/2 に 10YR4/6 が混じる。 しまる 細粒土。 10YR3/2。 細粒土。 10YR3/2 に 10YR4/6 が混じる。 しまる 細粒土。	平安土師器破片 1、内耳土器破片 2 土坑上面に配石あり。
055 056 057 058	2 号溝中央西 2m 13·14 号配石南 2m 13·14 号配石南東 1m 2 号溝北端西 1m	$   \begin{array}{c}     105 \times 120 \times 40 \\     160 \times 150 \times 60 \\     100 \times 120 \times 25 \\     100 \times 90 \times 40   \end{array} $	10YR3/2に10YR4/6が混じる。 焼土,炭粒子が恒かに混じる。 ややしまる棚粒土。 10YR3/2 に 10YR4/6 が混じる。 しまる細粒土。 10YR3/2。 細粒土。	平安土師器破片 1、内耳土器破片 2 土坑上面に配石あり。 第 29 図。内耳土器破片 1、判読不可銭 1
055 056 057 058 059	2 号溝中央西 2m 13·14 号配石南 2m 13·14 号配石南東 1m 2 号溝北端西 1m 13·14 号配石東 1m	$\begin{array}{c} 105 \times 120 \times 40 \\ 160 \times 150 \times 60 \\ 100 \times 120 \times 25 \\ 100 \times 90 \times 40 \\ 160 \times 150 \times 65 \end{array}$	10YR3/2に10YR4/6が混じる。 焼土, 炭粒子が憧かに混じる。 ややしまる 棚粒土。 10YR3/2 に 10YR4/6 が混じる。 しまる 細粒土。 10YR3/2。 細粒土。 10YR3/2 に 10YR4/6 が混じる。 しまる 細粒土。	平安土師器破片 1、内耳土器破片 2 土坑上面に配石あり。 第 29 図。内耳土器破片 1、判読不可銭 1 57 号土坑に切られる。礫(つぶて)状石器 1
055 056 057 058 059 060	2 号溝中央西 2m 13·14 号配石南 2m 13·14 号配石南東 1m 2 号溝北端西 1m 13·14 号配石東 1m 3 号配石内	$\begin{array}{c} 105 \times 120 \times 40 \\ 160 \times 150 \times 60 \\ 100 \times 120 \times 25 \\ 100 \times 90 \times 40 \\ 160 \times 150 \times 65 \\ 90 \times 80 \times 20 \end{array}$	10YR3/2に10YR4/6が視じる。焼土,炭粒子が恒かに混じる。ややしまる棚粒土。 10YR3/2に10YR4/6が混じる。しまる細粒土。 10YR3/2。細粒土。 10YR3/2に10YR4/6が混じる。しまる細粒土。 10YR3/2に10YR4/6が混じる。しまる細粒土。	平安土師器破片 1、内耳土器破片 2 土坑上面に配石あり。 第 29 図。内耳土器破片 1、判読不可銭 1 57 号土坑に切られる。礫(つぶて)状石器 1 3 号配石を切る。平安土師器破片 1
055 056 057 058 059 060 061	2 号溝中央西 2m 13·14 号配石南 2m 13·14 号配石南東 1m 2 号溝北端西 1m 13·14 号配石東 1m 3 号配石内 3 号配石内 1 号溝東端東に隣接	$\begin{array}{c} 105 \times 120 \times 40 \\ 160 \times 150 \times 60 \\ 100 \times 120 \times 25 \\ 100 \times 90 \times 40 \\ 160 \times 150 \times 65 \\ 90 \times 80 \times 20 \\ 90 \times 70 \times 10 \\ 100 \times 100 \times 32 \\ \end{array}$	10YR3/2に10YR4/6が混じる。	平安土師器破片 1、内耳土器破片 2 土坑上面に配石あり。 第 29 図。内耳上器破片 1、判読不可銭 1 57 号土坑に切られる。礫 (つぶて) 状石器 1 3 号配石を切る。平安土師器破片 1 3 号配石との新旧不明。平安灰釉陶器破片 1
055 056 057 058 059 060 061	2 号溝中央西 2m 13·14 号配石南 2m 13·14 号配石南 1m 2 号溝北端西 1m 13·14 号配石東 1m 3 号配石内 3 号配石内	$\begin{array}{c} 105 \times 120 \times 40 \\ 160 \times 150 \times 60 \\ 100 \times 120 \times 25 \\ 100 \times 90 \times 40 \\ 160 \times 150 \times 65 \\ 90 \times 80 \times 20 \\ 90 \times 70 \times 10 \\ \end{array}$	10YR3/2に10YR4/6が混じる。焼土,炭粒子が僅かに混じる。ややしまる細粒土。 10YR3/2に10YR4/6が混じる。しまる細粒土。 10YR3/2。細粒土。 10YR3/2に10YR4/6が混じる。しまる細粒土。 10YR3/2に10YR4/6が混じる。炭粒子が僅かに混じる。ややしまる細粒土。 10YR3/2に10YR4/6が混じる。炭粒子が僅かに混じる。ややしまる細粒土。	平安土師器破片 1、内耳土器破片 2 土坑上面に配石あり。 第 29 図。内耳土器破片 1、判読不可銭 1 57 号土坑に切られる。礫 (つぶて) 状石器 1 3 号配石を切る。平安土師器破片 1 3 号配石との新旧不明。平安灰釉陶器破片 1 第 27 図。土坑上面の配石を7号配石と命名したが 63 号土坑に改称。水楽運宝 1
055 056 057 058 059 060 061 062	2 号溝中央西 2m 13·14 号配石南 2m 13·14 号配石南東 1m 2 号溝北端西 1m 13·14 号配石東 1m 3 号配石内 3 号配石内 1 号溝東端東に隣接	$\begin{array}{c} 105 \times 120 \times 40 \\ 160 \times 150 \times 60 \\ 100 \times 120 \times 25 \\ 100 \times 90 \times 40 \\ 160 \times 150 \times 65 \\ 90 \times 80 \times 20 \\ 90 \times 70 \times 10 \\ 100 \times 100 \times 32 \\ \end{array}$	10YR3/2に10YR4/6が混じる。	平安土師器破片 1、内耳土器破片 2 土坑上面に配石あり。 第 29 図。内耳土器破片 1、判読不可銭 1 57 号土坑に切られる。礫 (つぶて) 状石器 1 3 号配石を切る。平安土師器破片 1 3 号配石との新旧不明。平安灰釉陶器破片 1 第 27 図。土坑上面の配石を7号配石と命名したが 63 号土坑に改称。永楽道宝 1 次番
055 056 057 058 059 060 061 062 063	2 号溝中央西 2m 13・14 号配石南 2m 13・14 号配石南 1m 2 号溝北端西 1m 13・14 号配石東 1m 3 号配石内 3 号配石内 1 号溝東端東に隣接 3 号配石西 2m	$\begin{array}{c} 105 \times 120 \times 40 \\ 160 \times 150 \times 60 \\ 100 \times 120 \times 25 \\ 100 \times 90 \times 40 \\ 160 \times 150 \times 65 \\ 90 \times 80 \times 20 \\ 90 \times 70 \times 10 \\ 100 \times 100 \times 32 \\ \end{array}$	10YR3/2に10YR4/6が混じる。	平安土師器破片 1、内耳土器破片 2 土坑上面に配石あり。 第 29 図。内耳土器破片 1、判読不可銭 1 57 号土坑に切られる。礫(つぶて)状石器 1 3 号配石を切る。平安土師器破片 1 3 号配石との新旧不明。平安灰釉陶器破片 1 第 27 図。土坑上面の配石を 7 号配石と命名したが、 63 号土坑に改称。永楽道宝 1 大番
055 056 057 058 059 060 061 062	2 号溝中央西 2m 13·14 号配石南 2m 13·14 号配石南東 1m 2 号溝北端西 1m 13·14 号配石東 1m 3 号配石内 3 号配石内 1 号溝東端東に隣接	$\begin{array}{c} 105 \times 120 \times 40 \\ 160 \times 150 \times 60 \\ 100 \times 120 \times 25 \\ 100 \times 90 \times 40 \\ 160 \times 150 \times 65 \\ 90 \times 80 \times 20 \\ 90 \times 70 \times 10 \\ 100 \times 100 \times 32 \\ \end{array}$	10YR3/2に10YR4/6が混じる。	平安土師器破片 1、内耳土器破片 2 土坑上面に配石あり。 第 29 図。内耳土器破片 1、判読不可銭 1 57 号土坑に切られる。礫(つぶて)状石器 1 3 号配石と切る。平安土師器破片 1 3 号配石との新旧不明。平安灰釉陶器破片 1 第 27 図。土坑上面の配石を7号配石と命名したが、63 号土坑に改称。永楽重宝1 欠番 第 27・28 図。土坑上面の配石を 12 号配石と命名したが 65 号土坑に改称。南半分は地境で削平。平安土師器破片
055 056 057 058 059 060 061 062 063	2 号溝中央西 2m 13・14 号配石南 2m 13・14 号配石南 1m 2 号溝北端西 1m 13・14 号配石東 1m 3 号配石内 3 号配石内 1 号溝東端東に隣接 3 号配石西 2m	$\begin{array}{c} 105 \times 120 \times 40 \\ 160 \times 150 \times 60 \\ 100 \times 120 \times 25 \\ 100 \times 90 \times 40 \\ 160 \times 150 \times 65 \\ 90 \times 80 \times 20 \\ 90 \times 70 \times 10 \\ 100 \times 100 \times 32 \\ 104 \times 92 \times 25 \\ \end{array}$	10YR3/2に10YR4/6が混じる。	平安土師器破片 1、内耳土器破片 2 土坑上面に配石あり。 第 29 図。内耳土器破片 1、判読不可銭 1 57 号土坑に切られる。礫(つぶて)状石器 1 3 号配石を切る。平安土師器破片 1 3 号配石との新旧不明。平安灰釉陶器破片 1 第 27 図。土坑上面の配石を 7 号配石と命名したが、 63 号土坑に改称。永楽道宝 1 大番

番号(PT)	位置	径(長軸×短軸)×深さ、cm	埋土質	調査所見等
	1号溝東端東1m	30×30×22	10YR3/2, L#&	石あり
	1号溝東端東1m	33×30×26	10YR3/2, L‡3	石あり
	1号溝東端北東2m	35×28×33	10YR3/2, L‡S	石あり
	1号溝東端北東1m	24×26×27	10YR2/2ややしまる	かわらけ破片1、碁石1、第29図
	1号溝東端北2.5m	45×35×36	10YR2/2ややしまる	13号掘立柱建物。石あり。かわらけ破片2
	1号溝東端北2.5m	28×25×40	10YR3/2, L # &	12号掘立柱建物。石あり
	8号配石南端南西3m	$25 \times 25 \times 40$	10YR2/2ややしまる	3号掘立柱建物。底に石あり。かわらけ破片1
-	8号配石南端南西3m	25×25×18	10YR2/2U # 8	9号ピットに切られる
-	8号配石南端南西3m	35×30×19	10YR2/2L # 8	16号掘立柱建物。10号ピットに切られる
-	8号配石南端南西2.5m	35×38×18	10YR2/2L # 3	9号ピットを切る。かわらけ破片1
	8号配石南端南西2.5m	34×34×10	10YR2/2U # 8	10号ピット、12号ピットを切る。内耳土器破片1
$\vdash$	8号配石南端南西2.5m	30×32×6	10YR2/2U # 8	11号ピットに切られる
	1号谦東端北3m	27×27×41	10YR2/2L # &	16号掘立柱建物。底に石あり
$\vdash$	]号溝東端北西2m	25×29×40	10YR3/2, L#S	底に石あり
	]号漢東端北西3m	40×40×23	10YR2/2ややしまる	かわらけ破片1
	1号漢東端北西3m	30×30×19	10YR2/2ややしまる	15号ビットを切る。内耳土器破片1
	1号灌東端北西3m	23×24×12	10YR2/2ややしまる	かわらけ1個体。第28図
-	1号漢東端北西3m	36×38×30	10YR2/2しまりなし	11号捆立柱建物。石あり。内耳土器破片1
	1号漢東端北西4m	32×35×29	10YR2/1に10YR3/4が混じる、焼土僅かに混じる、ややしまる	16号掴立柱建物
$\vdash$	1号溝東端北西4m	30×24×38	10YR2/2ややしまる	12号掘立柱建物。平安土師器破片1
	1号溝東端北西4m	23×30×33	10YR2/2ややしまる	
-	1号溝東端北西3m	16×18×33	10YR2/2ややしまる	3号捆立柱建物
-	1号溝東端北西2.5m	50×40×36	10YR2/2ややしまる	11・13号掘立柱建物。石あり。かわらけ破片3、内耳土器破片1
$\vdash$	1号溝西端北東1m	50×50×35	10YR2/2ややしまる	石あり
	1号溝東端北西3m	24×20×23	10YR3/2, L \$ \$	
	9号配石南端南3m	30×30×29	10YR3/2, L \$ \$	
-	9号配石南端南2.5m	22×25×33	10YR3/2, L # 2	
-	9号配石南端南2.5m	25×25×41	10YR3/2に10YR3/4が混じる、焼土僅かに混じる、しまる	7号掘立柱建物
	9号配石南端南2.5m	$24 \times 26 \times 41$	10YR3/2, L \$ \$	3号掘立柱建物。石あり
	9号配石南端南2.5m	27×33×46	10YR3/2, L#S	16号掘立柱建物。29号ピットを切る
-	9号配石南端南2.5m	30×30×31		2号掘立柱建物。石あり
_	9号配石南端南3m	$25 \times 25 \times 20$	10YR2/2L # &	
_	9号配石南端南3m	16×18×12	10YR3/2, L#S	
-	9号配石南端南3m	36×39×26	10YR2/2ややしまる	13号掘立柱建物
_	1号2号溝交差点北東2.5m	20×24×13	10YR2/2ややしまる	
-	1号2号溝交差点北東2.5m	18×18×11	10YR2/2しまりなし	2号掘立柱建物
-	1号2号溝交差点北東2m	12×13×5	10YR2/2L # &	
	1号2号溝交差点北東2m	20×20×32	10YR2/2ややしまる	37号ピットを切る
$\vdash$	1号2号灌交差点北東1m	35×28×32	10YR2/2しまる。焼土がやや混じる	12号捆立柱建物
-	1号2号溝交差点北東2m	35×38×30	10YR2/2L # 3	石あり
-	1号2号溝交差点北東2m	18×21×11	10YR2/2固くしまる	
$\vdash$	1号2号溝交差点北東2m	38×33×34	10YR2/2L # 3	16号掘立柱建物。石あり
$\vdash$	9号配石南端南西2m	35×30×25	10YR2/2L # 3	7号掘立柱建物。44号ピットを切る
H	9号配石南端南西2m	45×38×26	10YR2/2L # Z	7・16号掴立柱建物。石あり
			10XD9/91 ± Z	
-		CV.XIIVXIIV		

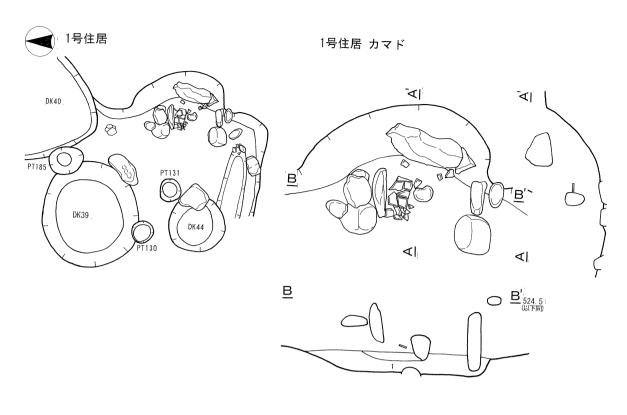
1942時末交差点型の 1942時末交差点型の 1942時末交差点型の 1947年2431 107R221ま なとしまる 1947年24323 107R221まる 1947年24323 107R221まる 1947年24323 107R221まる 1947年24323 107R221まる 1947年2433 107R221まる 1947年2433 107R221まる 1947年2434 107R221まる 1947年2433 107R221 はまる 1947年2433 107R221 はまる 1947年2434 107R2221 はまる 1947年2434 107R2222 はなしまる 1947年2434 107R2222 はなしまる 1947年24	15号掘立柱建物。石あり
10YR2/2 上まる   49×24×23   10YR2/2 Lまる   49×42×23   10YR2/2 Lまる   45×45×16   10YR2/2 Lまる   45×45×16   10YR2/2 Lまる   45×45×16   10YR2/2 Lまる   42×50×12   10YR2/2 Lまる   42×50×12   10YR2/2 Lまる   42×50×12   10YR2/2 Lまる   42×50×12   10YR2/2 Lまる   28×30×9   10YR2/2 Bq ( Lまる   28×30×9   10YR2/2 Bq ( Lまる   21×23×7   10YR2/2 Bq ( Lまる   21×23×7   10YR2/2 Bq ( Lまる   21×23×4   10YR2/2 Pq C Lまる   22×25×30   10YR2/2 Pq C Lまる   32×32×20   10YR2/2 Pq C Lまる   32×32×20   10YR2/2 Pq C Lまる   32×32×30   10YR2/2 Pq C Lまる   32×33×40   10YR2/2 Pq C Lまる   33×41×10   10YR3/2 Pq C Lまる   22×25×33   10YR2/2 Pq C Lまる   22×25×34   10YR2/2 Pq C Lまる   23×33×43   10YR2/2 Pq C Lまる   23×33×43   10YR2/2 Pq C Lまる   21×22×41   10YR2/2 Pq C Lまる   21×22×41   10YR3/2 Pq C Lまる	1.0.7 70.2 7.1 2.7 7.1 2.7 7.1 2.7 7.1 2.1 2.1 2.1 2.1 2.1 2.1 2.1 2.1 2.1 2
49×42×23 10YR2/2しまる 55×25×21 10YR2/2しまる 45×46×16 10YR2/2しまる 36×36×13 10YR2/2しまる 42×42×23 10YR2/2しまる 42×42×23 10YR2/2固くしまる 42×55×12 10YR2/2固くしまる 30×30×38 10YR2/2固くしまる 28×30×9 10YR2/2固くしまる 28×30×9 10YR2/2固くしまる 28×30×9 10YR2/2固くしまる 28×30×9 10YR2/2固くしまる 21×23×7 10YR2/2固くしまる 21×23×7 10YR2/2固くしまる 21×23×1 10YR2/2固くしまる 21×23×1 10YR2/2固くしまる 21×23×2 10YR2/2固くしまる 21×23×3 10YR2/2固くしまる 32×32×30 10YR2/2母やしまる 32×33×44 10YR3/2、ややしまる 32×33×44 10YR3/2、ややしまる 33×41×10 10YR3/2、ややしまる 33×41×10 10YR3/2、ややしまる 33×43×47 10YR3/2、ややしまる 33×35×30 10YR2/2ややしまる 23×25×33 10YR2/2ややしまる 23×25×33 10YR2/2ややしまる 22×25×33 10YR2/2ややしまる 22×25×33 10YR2/2ややしまる 22×25×33 10YR2/2ややしまる 22×25×33 10YR2/2ややしまる 22×25×33 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2・ややしまる 21×22×41 10YR3/2、ややしまる	石あり (中: 万本 h
25×25×21 10YR2/2しまる 45×46×16 10YR2/2しまる 36×30×13 10YR2/2しまる 42×40×23 10YR2/2しまる 42×40×23 10YR2/2間くしまる 42×50×12 10YR2/2間くしまる 28×30×9 10YR2/2間くしまる 28×30×9 10YR2/2間くしまる 28×30×9 10YR2/2間くしまる 28×30×9 10YR2/2間くしまる 28×30×9 10YR2/2間くしまる 28×30×1 10YR2/2間くしまる 28×30×21 10YR2/2間くしまる 28×30×21 10YR2/2間くしまる 28×30×21 10YR2/2間くしまる 28×30×21 10YR2/2間くしまる 28×30×21 10YR2/2間くしまる 28×30×21 10YR2/2間くしまる 32×32×44 10YR2/2間くしまる 25×25×30 10YR2/2時代物が限じる 32×33×44 10YR3/2、ややしまる 32×33×44 10YR3/2、ややしまる 32×33×40 10YR3/2、ややしまる 33×41×10 10YR3/2、ややしまる 33×41×10 10YR3/2、ややしまる 24×24×41 10YR3/2、ややしまる 23×23×60 10YR2/2ややしまる 23×23×60 10YR2/2ややしまる 23×23×60 10YR2/2ややしまる 23×23×43 10YR2/2ややしまる 22×25×33 10YR2/2ややしまる 22×25×33 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR3/2、ややしまる 21×22×41 10YR3/2、ややしまる 21×22×41 10YR3/2、ややしまる	以に有めり 17年報7 林確物
45×46×16   10YR2/2しまる   45×46×16   10YR2/2しまる   42×42×23   10YR2/2しまる   42×42×23   10YR2/21まを   42×50×12   10YR2/21まで同様くしまる   30×30×28   10YR2/20間くしまる   28×30×9   10YR2/20間くしまる   28×30×9   10YR2/20間くしまる   21×23×7   10YR2/20間くしまる   21×23×7   10YR2/20間くしまる   21×23×1   10YR2/20間くしまる   21×23×4   10YR2/20micuta   21×23×4   10YR2/20micuta   21×23×4   10YR2/20micuta   21×23×4   10YR2/20micuta   21×23×4   10YR2/20micuta   21×23×4   10YR2/20micuta   22×25×33   22×2	
36×36×13   10YR2/2しまる	12号掘立柱建物。石あり
10 PR2/2 による	
30×35×57   10YR2/2屆くしまる	11・12号掘立柱建物。底に石あり。62号土坑に切られる
### 10YR2/24年に前くしまる	12号掘立柱建物。底に石あり
10 NR2/2   10 NR2/2 中心 上まる	11号掘立柱建物
28×30×9 10YR2/2ややしまる 26×26×31 10YR2/2ややしまる 21×23×7 10YR3/2、周くしまる 27×33×24 10YR2/2固くしまる 28×28×6 10YR2/2固くしまる 28×28×6 10YR2/2固くしまる 21×21×11 10YR2/2固くしまる 22×25×30 10YR3/2、ロまる 32×34×44 10YR3/2、中やしまる 22×30×21 10YR3/2、中やしまる 32×30×41 10YR3/2、中やしまる 32×30×41 10YR3/2、ややしまる 32×32×20 10YR2/2ややしまる 36×40×29 10YR2/2ややしまる 38×41×10 10YR3/2、ややしまる 19×20×40 10YR3/2、ややしまる 38×43×47 10YR3/2、ややしまる 27×29×30 10YR3/2、ややしまる 38×33×41×10 10YR3/2、ややしまる 27×29×30 10YR2/2ややしまる 28×33×40 10YR2/2ややしまる 28×33×40 10YR2/2ややしまる 28×33×43 10YR2/2ややしまる 22×25×33 10YR2/2ややしまる 22×25×33 10YR2/2ややしまる 22×25×31 10YR2/2ややしまる 22×25×31 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2・ややしまる 21×22×41 10YR3/2、ややしまる 21×22×41 10YR3/2、ややしまる	
26×26×31 107R2/26やもしまる 21×23×7 107R3/2、周くしまる 27×32×24 107R2/2間くしまる 28×28×6 107R2/2間くしまる 21×21×11 107R2/2間くしまる 21×21×11 107R2/2間くしまる 21×21×44 107R2/2間くしまる 41×46×20 107R3/2、ややしまる 28×30×21 107R3/2、ややしまる 32×34×44 107R3/2、ややしまる 32×32×20 107R2/2枠やしまる 36×40×29 107R2/2ややしまる 36×40×29 107R2/2ややしまる 38×41×10 107R2/2・ややしまる 38×43×47 107R3/2、ややしまる 38×43×47 107R2/2・ややしまる 28×33×43 107R2/2ややしまる 23×25×30 107R2/2ややしまる 23×25×30 107R2/2ややしまる 23×25×33 107R2/2ややしまる 23×25×33 107R2/2ややしまる 22×25×33 107R2/2ややしまる 22×25×33 107R2/2ややしまる 21×22×41 107R2/2ややしまる 21×22×41 107R2/2ややしまる 21×22×41 107R2/2・ややしまる 21×22×41 107R2/2・ややしまる	深さ3cmまで嵌作物が多い
21×23×7 10YR3/2, 固くしまる 28×28×6 10YR2/2間くしまる 28×28×6 10YR2/2間くしまる 21×21×11 10YR2/2間くしまる 21×21×11 10YR2/2間くしまる 24×24×44 10YR3/2, ややしまる 41×46×20 10YR3/2, ややしまる 28×30×21 10YR3/2, ややしまる 32×33×44 10YR3/2, ややしまる 32×32×20 10YR3/2, ややしまる 32×32×20 10YR3/2, ややしまる 34×24×24 10YR3/2, ややしまる 34×24×24 10YR3/2, ややしまる 38×40×11 10YR3/2, ややしまる 38×40×11 10YR3/2, ややしまる 38×40×11 10YR3/2, ややしまる 38×43×47 10YR2/2ややしまる 28×33×43 10YR2/2ややしまる 28×33×43 10YR2/2ややしまる 20×20×33 20×20×43 10YR2/2ややしまる 20×20×43 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2とややしまる 21×22×41 10YR2/2・ややしまる	
27×32×24 10YR2/2園くしまる 28×28×6 10YR2/2園くしまる 21×21×11 10YR2/2園くしまる 24×24×44 10YR3/2, ややしまる 41×46×20 10YR3/2, はよる 28×30×21 10YR3/2, はよる 32×33×21 10YR3/2, ややしまる 27×30×53 10YR3/2, ややしまる 32×33×20 10YR3/2, ややしまる 32×33×20 10YR3/2, ややしまる 33×41×10 10YR3/2, ややしまる 34×44×11 10YR3/2, ややしまる 34×44×11 10YR3/2, ややしまる 38×40×11 10YR3/2, ややしまる 19×20×40 10YR2/2ややしまる 28×35×30 10YR2/2ややしまる 28×35×30 10YR2/2ややしまる 28×33×43 10YR2/2ややしまる 20×20×43 10YR2/2ややしまる 20×20×43 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2とやりなし 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2とからしまる 21×22×41 10YR2/2とからしまる	
28×28×6 10YR2/2屆くしまる 21×21×11 10YR2/2 炭化物が飛じ 24×24×44 10YR3/2、ややしまる 25×25×30 10YR3/2、周くしまる 28×30×21 10YR3/2、日まる 32×34×44 10YR3/2、中やしまる 27×30×53 10YR3/2、ややしまる 27×30×53 10YR2/2ややしまる 38×40×24 10YR3/2、ややしまる 19×20×40 10YR3/2、ややしまる 19×20×40 10YR3/2、ややしまる 19×20×40 10YR3/2、ややしまる 19×20×40 10YR3/2、ややしまる 24×24×24 10 10YR2/2ややしまる 28×35×30 10YR2/2ややしまる 28×35×30 10YR2/2ややしまる 28×35×30 10YR2/2ややしまる 28×25×33 10YR2/2ややしまる 28×27×49 10YR2/2ややしまる 20×29×43 10YR2/2ややしまる 20×29×43 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2とやしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2とやりなし	64号ビットを切る
21×21×11 10YR2/2 炭化物が混じ 24×24×44 10YR2/2間くしまる 25×25×30 10YR3/2、ややしまる 28×30×21 10YR3/2、はまる 28×30×21 10YR3/2、ややしまる 27×30×53 10YR2/2炭化物が混じる 32×32×20 10YR2/2炭化物が混じる 32×32×20 10YR2/2ややしまる 24×24×24 10YR3/2、ややしまる 24×24×24 10YR3/2、ややしまる 19×20×40 10YR3/2、ややしまる 19×20×40 10YR3/2、ややしまる 19×20×40 10YR3/2、ややしまる 28×43×47 10YR3/2、ややしまる 28×43×47 10YR2/2ややしまる 28×35×30 10YR2/2ややしまる 28×25×33 10YR2/2ややしまる 20×29×43 10YR2/2ややしまる 20×20×43 10YR2/2ややしまる 20×20×43 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2とやしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2とやとしまる 21×22×41 10YR2/2とやりなし	10号据立杆建物
24×24×44 10YR2/2間くしまる 25×25×30 10YR3/2、ややしまる 41×46×20 10YR3/2、中やしまる 28×30×21 10YR3/2、日まる 32×34×44 10YR3/2、ややしまる 27×30×53 10YR2/2時代物が混じる 32×32×20 10YR2/2時代物が混じる 32×32×20 10YR2/2ややしまる 24×24×24 10YR3/2、ややしまる 24×24×24 10YR3/2、ややしまる 19×20×40 10YR3/2、ややしまる 19×20×40 10YR3/2、ややしまる 28×43×47 10YR3/2、ややしまる 28×35×30 10YR2/2ややしまる 28×35×30 10YR2/2ややしまる 28×25×33 10YR2/2ややしまる 20×29×43 10YR2/2ややしまる 20×29×43 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2とやしまる 22×25×33 43 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2とやりなし	しまりなし
25×25×30 10YR3/2, ややしまる 41×46×20 10YR3/2, 固くしまる 28×30×21 10YR3/2, しまる 32×34×44 10YR3/2, ややしまる 27×30×53 10YR2/2枠がが記しる 32×32×20 10YR2/2ややしまる 24×24×24 10YR3/2, ややしまる 24×24×24 10YR3/2, ややしまる 24×24×24 10YR3/2, ややしまる 27×29×34 10YR3/2, ややしまる 19×20×40 10YR3/2, ややしまる 35×35×30 10YR3/2, ややしまる 28×43×47 10YR3/2, ややしまる 28×43×47 10YR2/2ややしまる 28×33×50 10YR2/2ややしまる 20×25×33 10YR2/2ややしまる 20×20×43 10YR2/2ややしまる 20×20×43 10YR2/2ややしまる 20×20×43 10YR2/2ややしまる 20×20×43 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2とやしまる	日本り
41×46×20 10YR3/2、 園くしまる 28×30×21 10YR3/2、 とまる 32×34×44 10YR3/2、 ややしまる 27×30×53 10YR2/2枠やしまる 38×40×29 10YR2/2ややしまる 24×24×24 10YR3/2、ややしまる 24×24×24 10YR3/2、ややしまる 27×29×34 10YR3/2、ややしまる 33×41×10 10YR3/2、ややしまる 19×20×40 10YR3/2、ややしまる 49×49×11 10YR3/2、ややしまる 28×43×47 10YR2/2ややしまる 28×43×47 10YR2/2ややしまる 28×25×33 10YR2/2ややしまる 20×20×43 10YR2/2ややしまる 20×20×43 10YR2/2ややしまる 20×20×43 10YR2/2ややしまる 20×20×43 10YR2/2ややしまる 20×20×43 10YR2/2ややしまる 20×20×43 10YR2/2ややしまる 21×21×21×49 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2とやしまる 21×22×41 10YR2/2・ややしまる	石あり
28×30×21 10YR3/2、しまる 32×34×44 10YR3/2、ややしまる 27×30×53 10YR2/2時代物が混じる 32×32×20 10YR2/2時代物が混じる 24×34×24 10YR3/2、ややしまる 24×34×10 10YR3/2、ややしまる 33×41×10 10YR3/2、ややしまる 33×41×10 10YR3/2、ややしまる 19×20×40 10YR3/2、ややしまる 28×35×30 10YR3/2、ややしまる 28×35×30 10YR2/2ややしまる 28×33×43 10YR2/2ややしまる 22×25×33 10YR2/2ややしまる 22×25×33 10YR2/2ややしまる 22×25×33 10YR2/2ややしまる 20×20×43 10YR2/2ややしまる 20×20×43 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2とやしまる 21×22×41 10YR2/2とやしまる 21×22×41 10YR2/2とからしまる 21×22×41 10YR2/2とかりなし	
32×34×44 107R3/2, ややしまる 27×30×53 107R2/2kkhhhhili による 32×32×20 107R2/2ややしまる 36×40×29 107R2/2ややしまる 27×29×34 107R3/2, ややしまる 19×20×40 107R3/2, ややしまる 49×49×11 107R3/2, ややしまる 33×41×10 107R3/2, ややしまる 49×49×11 107R3/2, ややしまる 28×35×30 107R2/2ややしまる 28×35×30 107R2/2ややしまる 20×25×33 107R2/2ややしまる 20×25×33 107R2/2ややしまる 20×27×43 107R2/2ややしまる 20×27×43 107R2/2ややしまる 20×27×43 107R2/2ややしまる 21×22×41 107R2/2とやしまる 21×22×41 107R2/2ややしまる 21×22×41 107R2/2ややしまる 21×22×41 107R2/2とやんしまる 21×22×41 107R2/2とやんしまる 21×22×41 107R2/2とやんしまる 21×22×41 107R2/2とややしまる	10-14-17号搦立柱建物
77×30×53 107R2/2炭化物が混じる 32×32×20 107R2/2ややしまる 36×40×29 107R2/2ややしまる 24×24×24 107R3/2、ややしまる 33×41×10 107R3/2、ややしまる 33×41×10 107R3/2、ややしまる 33×43×47 107R3/2、ややしまる 32×23×30 107R3/2、ややしまる 22×23×30 107R3/2、ややしまる 22×23×40 107R2/2ややしまる 20×23×43 107R2/2ややしまる 20×23×43 107R2/2ややしまる 20×23×43 107R2/2ややしまる 20×23×43 107R2/2ややしまる 20×23×43 107R2/2ややしまる 20×23×43 107R2/2ややしまる 21×22×41 107R2/2ややしまる 21×22×41 107R2/2ややしまる 21×22×41 107R2/2とやりなし 30×34×15 107R3/2、ややしまる 30×34×15 107R3/2、ややしまる	15号掘立柱建物。石あり
32×32×20 10YR2/2ややしまる 36×40×29 10YR2/2ややしまる 24×24×24 10YR3/2、ややしまる 27×29×34 10YR3/2、ややしまる 33×41×10 10YR3/2、ややしまる 19×20×40 10YR3/2、ややしまる 28×35×30 10YR3/2、ややしまる 28×35×30 10YR3/2・ややしまる 28×33×47 10YR2/2ややしまる 20×23×60 10YR2/2ややしまる 20×25×33 20×25×33 10YR2/2・中りたしまる 20×25×33 10YR2/2・やしまる 20×25×33 10YR2/2・ややしまる 20×27×49 10YR2/2・ややしまる 21×22×41 10YR2/2・ややしまる 21×22×41 10YR2/2・ややしまる 21×22×41 10YR2/2・ややしまる 21×22×41 10YR3/2、ややしまる	しまりなし 10号掘立柱建物。石あり
36×40×29 10YR2/2ややしまる 24×24×24 10YR3/2、ややしまる。 27×29×34 10YR3/2、ややしまる 19×20×40 10YR3/2、ややしまる 49×49×11 10YR3/2、ややしまる 35×35×30 10YR3/2、ややしまる 28×34×47 10YR3/2、ややしまる 28×35×30 10YR2/2ややしまる 28×35×30 10YR2/2ややしまる 20×25×33 10YR2/2ややしまる 20×25×33 10YR2/2ややしまる 20×25×43 10YR2/2ややしまる 20×25×43 10YR2/2ややしまる 20×25×43 10YR2/2ややしまる 21×27×49 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2ややしまる 21×22×41 10YR2/2・ややしまる 21×22×41 10YR3/2、ややしまる	
24×24×24 10YR3/2, ややしまる。	5号掘立柱建物。石あり。かわらけ破片2
27 × 29 × 34 33 × 41 × 10 19 × 20 × 40 49 × 49 × 11 35 × 35 × 30 28 × 43 × 47 23 × 23 × 50 22 × 23 × 50 22 × 23 × 33 20 × 29 × 43 20 × 29 × 43 20 × 29 × 43 21 × 22 × 41 21 × 22 × 41 30 × 34 × 15	炭化物が5%混じる 9・15号堀立柱建物
	6·14号捆立柱建物。平安土師器破片1
	8号捆立柱建物
	石あり
	10・15号瀬立柱建物。石あり
	石あり
	17号堀立柱建物
	10号掘立柱建物。石あり
	10号掘立柱建物。内耳土器破片1
	内耳士器破片2
	かわるけ鎌牛1
	らわなけます!
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
28×30×32 10YR3/2, L± &	
30×33×29 10YR2/2しまりなし	8号堀立柱建物。 不あり
	1.1号を持ち、1.20~1.10号を表現で、1.20~1.20~1.20~1.20~1.20~1.20~1.20~1.20~

19条所が提出に	1	71. m	3 4 1441 1441 2	35 - H	出水片田奈
1978日 現在 日本	F号(PT)	12. 直 1 十二十二,	在(長期×短期)×深ら、Cm	第二世第一世代 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	新生存之中口 1.1 2.1 2.1 2.1 2.1 2.1 2.1 2.1 2.1 2.1
1号等函数に解析	093	1专簿也端北四2m	20×20×15	101KZ/2ややしまる。灰化物が第しる	14节ქ出社建物
1分析表現に解析	094				欠番
19番目報告担	260	1号溝西端に隣接	$34 \times 34 \times 45$	10YR2/2しまりなし	10号掘立柱建物。石あり。かわらけ破片1
19等極端地に	960	1号溝西端南1m	48×42×28	<u>۲</u>	10・17号掘立柱建物。20cm径の柱痕あり
19番目を発売を発出	260	1号溝西端南1m	30×36×13	10YR2/2L	かわらけ破片1
1998年6月報告記	860	1号溝西端から東1m	20×22×17	10YR2/2L # &	17号掘立柱建物。石あり
58年近前機構発加	660	1号溝西端から東1m	22×22×24	10YR2/2ややしまる	5・14号掘立柱建物。石あり
19時代現代   19年代報信	100	8号配石南端南3m	35×38×36	10YR2/2ややしまる	7号掘立柱建物。かわらけ破片1、内耳土器破片1
20年日末前の         30×20×15         107RA/6個はしまる           20年日末山         50×20×15         107RA/6個としまる           20年日末山         50×20×12         107RA/6個としまる           20年日末山         50×20×12         757RA/4個としまる           20年日末山         20×20×12         757RA/40へとしまる           30年日末山         20×20×12         757RA/40へとしまる           30年日末山         20×20×12         757RA/40へとしまる           19年日末地への         20×20×12         757RA/40へとしまる           19年日末地への         20×20×21         107R220-20-12 を           19年日末端れての         20×20×21         107R220-20-12 を           19年日末端れての         20×20×22         107R220-20-12 を           19年日末端れての         20×20×22         107R220-20-12 を           19年日末端れての         20×20×22         107R220-20-12 を           8号紀石市端南南に 19年日末端南原山         20×20×22         107R220-20-12 を           8号紀石市端南町         20×20×22         107R220-20-12 を           8号紀石市端南市山         20×20×22         107R220-20-12 を           8号紀石市端南北町         20×20×22         107R220-20-12 を           8号紀石市端南市町         30×20×22         107R220-20-12 を           8号紀石市端南北市町         30×20×22         107R220-20-12 を           8号紀石市端南北市         30×20×22         107R2	101	1号溝西端北1m	$53 \times 50 \times 40$	10YR2/2ややしまる	石あり
29年氏末山 29年氏末山 39年氏末山 19年度7春山 39年氏末山 39年氏末山 39年氏末山 39年度7春山 39年度7春山 39年度7春山 39年度7春山 39年度7春山 39年度7春山 39年度7春山 39年度7春山 39年度7春山 39年度7春山 39年度7春山 39年度7春山 30×23×12 39年度7春山 30×23×12 39年度7春山 30×23×12 39年度7春山 30×23×12 39年度7春山 30×23×12 39年度7春山 30×23×12 39年度7春間 30×23×12 39年度7春間 30×23×12 39年度7春間 30×23×12 30×23×13 30×23×24 30×23×13 30×23×24 30×24 30×24 30×24 30×24 30×24 30×24 30	102	2号配石東0.5m	35×27×15	10YR4/6固くしまる	
2号配式第1m         50×40×8         757R4/4個人しまる           19時間発展         10×40×6         757R4/4個人しまる           19時間発展         20×28×20         757R4/44年/12.8           3号配式機和         20×28×20         757R4/44やしまる           3号配式機和         20×28×20         757R4/44やしまる           1号機能指揮型         20×28×20         757R4/44でしまる           1号機能指揮型         20×28×20         757R4/44でしまる           1号機能指揮型         20×28×20         10VTR224やもしまる           1号機能指揮型         30×28×22         10VTR224やもしまる           8号配式指機解し 8号配式指機解し 8号配式指機解し         30×28×22         10VTR224やしまる           8号配式指機解し 8号配式指機解し         30×28×22         10VTR224やしまる           8号配式指機解し         30×28×22         10VTR224やしまる           8号配式指機解し         30×28×23         10VTR224やしまる           8号配式指機解し         30×28×23         10VTR224やしまる           8号配式指機解し         30×28×24         10VTR224やしまる           8号配式機構変加         30×28×23         10VTR224やしまる           8号配式機構変加         30×28×24         10VTR224やしまる           8号配式機構変加         30×28×34         10VTR224やしまる           8号配式機構変加         30×28×34         10VTR224やしまる           8号配式機構変加         20×28×36         10VTR224やしまる <t< td=""><td>103</td><td>2号配石東1m</td><td>30×27×7</td><td>10YR4/6固くしまる</td><td>かわらけ破片1、内耳土器破片1</td></t<>	103	2号配石東1m	30×27×7	10YR4/6固くしまる	かわらけ破片1、内耳土器破片1
2号版店展出         38×40×6         757R4/4個々しまる           3号優店展出         23×23×12         107R2/24やもしまる           3号優店所編出         23×23×12         757R4/4ややしまる           3号優店所編出         23×23×12         757R4/4ややしまる           3号優店所編出         23×23×13         757R4/4ややしまる           1号機構製品         23×23×14         757R4/4ややしまる           1号機構製品         15×16×23         107R2/2 はる           1号機構製品         15×16×23         107R2/2 はる           1号機構製品         25×25×13         107R2/2 はる           1号機構製品         25×25×13         107R2/2 をやしまる           1号を配行機構に 8号配行機構に 8号配行機構度 8号配行機構度 8号配行機構度 8号配行機構度 8号配行機構度 8日         35×35×47         107R2/2 ややしまる           8号配行機構度 8号配行機構度 8日         30×35×33         107R2/2 ややしまる           8号配行機構度 8日         30×35×33         107R2/2 ややしまる           8号配行機構度 8日         30×35×34         107R2/2 ややしまる           8号配行機構度 8号配行機構度 8日         30×35×34         107R2/2 ややしまる           8号配行機構度 8日         30×35×34         107R2/2 ややしまる           8号配石機構度 8日         30×35×34         107R2/2 ややしまる           8号配石機構度 8号配石機構度 8日         22×32×34         107R2/2 ややしまる           8号配石機構度 8日         22×32×34         107R2/2 ややしまる           8号配石機構度 8日	104	2号配石東1m	50×40×8	7.5YR4/4固くしまる	103号ピットを切る
19株西線北南20m   20×23×12   10VR2/2ややしまる   20を配子表し   20×23×20   75784/4ややしまる   20を配子表し   20×23×20   75784/4ややしまる   20を配子表し   20×23×20   75784/4ややしまる   20×23×20   20×	105	2号配石東1m	48×40×6	7.5YR4/4固くしまる	石あり
39世元年4m   20×33×20   757R4/44ややしまる   757R4/44ややしまる   757R4/44ややしまる   757R4/44がR4ところのやしまる   757R4/44がR4ところのやしまる   757R4/44がR4ところのというというというというというというというというというというというというというと	106	1号溝西端北西2m	23×23×12		
分析石庫域面         23×18×20         7.57RA/44ややしまる           5号配石庫域面         23×28×17         7.57RA/44やでしまる           1号構築機能で加         15×16×23         10YR2/2とやしまる           1号構築機能で加         15×16×23         10YR2/2しまる           1号構築機能で加         15×16×23         10YR2/2しまる           1号機業機能が加         15×16×25         10YR2/2とをしまる           1号を配力機構成で加         38×38×22         10YR2/2ややしまる           8号配石機構成機能である。         58×38×23         10YR2/2ややしまる           8号配石機構成に解検         58×38×34         10YR2/2ややしまる           8号配石機構成に解検         58×38×34         10YR2/2ややしまる           8号配石機構成開加         23×33×33         10YR2/2ややしまる           8号配石機構成面面         30×30×22         10YR2/2ややしまる           8号配石機構成配面         30×33×34         10YR2/2ややしまる           8号配石機構成配面         30×30×32         10YR2/2ややしまる           8号配石機構成加         41×33×32         10YR2/2ややしまる           8号配石機構成加         31×31×41         10YR2/2ややしまる           8号配石機構成の         31×33×33         10YR2/2ややしまる           8号配石機構成の         31×33×33         10YR2/2ややしまる           8号配石機構成の         31×33×34         10YR2/2ややしまる           8号配石機構成の         31×33×34         10YR2/2ややしまる	107	3号配石東4m	29×34×20	7.5YR4/4ややしまる	
分配石庫本加         38×25×17         7.57RA/447257R3/4が残じる。ややしまる           1号海東衛北西加         13×15×24         107R2/24をしまる           1号海東衛北加         18×16×25         107R2/24ともる           1号海東衛北加         18×16×25         107R2/24とも           1号海東衛北加         18×16×25         107R2/24とも           1号海東衛北加         38×38×22         107R2/22とをしまる           8号鹿石南澤東江南海南に藤森         55×45×47         107R2/22をやしまる           8号鹿石南澤東江南海南に藤森         55×45×47         107R2/22をやしまる           8号鹿石南澤東江南海南西川         17×20×17         107R2/22をやしまる           8号鹿石南灣東江南湖南山         30×30×21         107R2/22をやしまる           8号鹿石南灣東江南湖 (12×20×22)         107R2/22をやしまる           8号鹿石南灣東江南湖南江 (12×20×24)         107R2/22をやしまる           8号鹿石南灣東江 (12×20×24)         107R2/22をやしまる           8号鹿石南灣南東江 (12×20×24)         107R2/22をやしまる           8号鹿石南灣東江 (12×20×24)         107R2/22をやしまる           8号鹿石南灣南東江 (12×20×24)         107R2/22をやしまる           8号鹿石南灣南東江 (12×20×24)         107R2/22をやしまる           8号鹿石南灣南東江 (12×20×24)         107R2/22をやしまる           8号鹿石南灣南西 (12×20×24)         107R2/22をやしまる           8号龍石南灣南東江 (12×20×24)         107R2/22をやしまる           8号龍石南灣南東江 (12×20×24)         107R2/22をやしまる           8号龍石東南南南 (12	108	3号配石東4m	23×18×20	7.5YR4/4PPL#S	
1 分積西端北宮の         55×25×24         10TR2/24ややしまる           1 分積西端北宮の         15×15×25         10TR2/21まる           1 分積車端北3m         15×15×25         10TR2/24とはる           1 り号板車が設加         19×15×25×21         10TR2/24×21まる           1 19を配石南端面に開設         55×55×47         10TR2/24×21まる           8 分配石南端面に開設         55×53×33         10TR2/24×21まる           8 分配石南端直面         30×33×33         10TR2/24×21まる           8 分配石南端東西山         30×30×17         10TR2/24×21まる           8 分配石市端瀬田西山         30×30×17         10TR2/24×21まる           8 分配石市端瀬正四山         30×30×30         10TR2/24×21まる           8 分配石市端瀬東西山         40×30×31         10TR2/24×21まる           9 分配石市端瀬東山         40×30×32         10TR2/24×22         10TR2/24×22           1 13 14号配石南端市東山         41×30×32         10TR2/24×24×24         2           1 20 24         20         10TR2/24×22         2           1 3 14号配石南端北         20×34×40         10TR2/24×24	109	3号配石東4m	25×25×17	7.5YR4/4に7.5YR3/4が混じる。ややしまる	
19分類東端北3m         15×16×23         10YR2/2 L まる           19人業東端北3m         19×16×25         10YR2/2 L まる           10号標東端北3m         25×25×21         10YR2/2 L OYR4/6 が親じる。 ややしまる           10号標本端北3m         38×35×22         10YR2/2 P ややしまる           8号配石中美西に隣接         35×35×47         10YR2/2 P ややしまる           8号配石市端西に隣接         35×35×33         10YR2/2 P ややしまる           8号配石市端西に隣接         30×33×33         10YR2/2 P ややしまる           8号配石市端南西にm         23×35×33         10YR2/2 P ややしまる           8号配石市端南西m         25×35×47         10YR2/2 P ややしまる           8号配石市端南西m         25×35×33         10YR2/2 P ややしまる           8号配石市端南西m         30×30×32         10YR2/2 P ややしまる           8号配石市端南東江         40×32×13         10YR2/2 P ややしまる           8号配石市端南東江         30×30×32         10YR2/2 P ややしまる           8号配石市端南東江         31×35×32         10YR2/2 P やしまる           8号配石市端南東江         31×35×32         10YR2/2 P やしまる           13・14号配石南         30×30×32         10YR2/2 P やしまる           13・14号配石南端市東西         21×19×34         10YR2/2 P やしまる           13・14号配石南端市東西         21×21×37         10YR2/2 P やしまる           13・14島本田田         21×21×37         10YR2/2 P やしまる           29・20・20	110	1号溝西端北西2m	25×25×24	10YR2/2ややしまる	17号堀立柱建物。平安土師器破片1
19年末編末3m   19×16×25   10YR2/2(12を30)   19年末編末3m   19×16×25   10YR2/2(14)   194年年春年   194日年春年   10YR2/2(14)   194日年春年   194日年春年   10YR2/2(14)   194日年春年   194日年春年   10YR2/2(14)   194日年春年   194日年春年年春年   194日年春年年春年年春年年春年年春年年春年年春年年春年年春年年春年年春年年春年年春年	111	1号溝東端北3m	15×16×23	10YR2/2U # &	
10号程元南2m	112	1号溝東端北3m	19×16×25	10YR2/2L # 3	内耳土器破片1
1929権交差点策25m	113	10号配石南2m	25×25×21	10YR2/3に10YR4/6が混じる。ややしまる	
8号配石中央西に隣接         35×35×47         10TR2/2ややしまる           8号配石南端西に隣接         55×45×48         10TR2/2ややしまる           8号配石南端西に隣接         55×45×48         10TR2/2ややしまる           8号配石南端西に隣接         30×33×33         10TR2/2ややしまる           8号配石南端西面         17×20×13         10TR2/2ややしまる           8号配石南端西面         30×30×32         10TR2/2ややしまる           8号配石南端南西山         30×30×32         10TR2/2ややしまる           8号配石南端南西山         30×30×32         10TR2/2ややしまる           8号配石市端北西山         40×32×10         10TR2/2ややしまる           8号配石市端北西山         31×31×41         10TR2/2ややしまる           9号配石北端南東之山         31×31×41         10TR2/2ややしまる           9号配石北端南東之山         21×21×27         10TR2/2ややしまる           9号配石市端北東之山         22×24×26         10TR2/2ややしまる           13·14号配石南流         20×21×27         10TR2/2ややしまる           13·14号配石南流         20×21×36         10TR2/2ややしまる           13·14号配石南流         20×21×30         10TR2/2ややしまる           2号塔中央西乙高加         20×21×30         10TR2/2ややしまる           2号森中央西乙高加         20×21×30         10TR2/2ややしまる           2号森中央西乙高加         20×21×30         10TR2/2ややしまる           2号森中央西乙南南加         20×21×40         10TR2/2ややしまる	114	1号2号溝交差点東2.5m	38×38×22	10YR2/2ややしまる	11号掘立柱建物
8号配石南端南に隣接         55×45×48         10YR2/2ややしまる           8号配石南端南に隣接         30×33×33         10YR2/2とよる           8号配石南端南西山         17×20×17         10YR2/2ややしまる           8号配石南端南西山         17×20×17         10YR2/2ややしまる           8号配石南端南西山         30×30×21         10YR2/2ややしまる           8号配石南端市域田 8号配石南端市域山 9号配石南端市東山         30×30×32         10YR2/2ややしまる           8号配石南端市域山 9号配石南端市東山         30×30×32         10YR2/2ややしまる           9号配石南端市東山         40×22×10         10YR2/2ややしまる           9号配石南端市東山         24×13×32         10YR2/2ややしまる           9号配石南端市東山         41×33×32         10YR2/2ややしまる           9号配石南端市東立加         22×24×26         10YR2/2ややしまる           10号配石南端市東立加         20×24×26         10YR2/2ややしまる           13·14号配石南沿         20×13×27         10YR2/2ややしまる           13·14号配石南沿         20×13×27         10YR2/2ややしまる           13·14号配石南沿         20×13×3         10YR2/2ややしまる           2号様中女照立加         20×24×40         10YR2/2ややしまる           2号様中女四名加         25×24×40         10YR2/2ややしまる           2号様中女四名加         25×24×40         10YR2/2ややしまる           2号様中女四名加         20×20×40         10YR2/2・4やしまる	115	8号配石中央西に隣接	35×35×47	10YR2/2ややしまる	4号堀立柱建物
8号配石南端東に隣接         30×33×33         10YR2/2とまる           8号配石南端南回加         23×23×13         10YR2/2ややしまる           8号配石南端南回加         17×20×17         10YR2/2ややしまる           8号配石南端南回加         20×30×21         10YR2/2ややしまる           8号配石南端和正型加         30×30×32         10YR2/2ややしまる           8号配石市端南東回加         40×32×10         10YR2/2ややしまる           8号配石北端南東2m         31×35×34         10YR2/2ややしまる           9号配石北端南東2m         31×35×34         10YR2/2ややしまる           8号配石市端南東2m         31×31×41         10YR2/2ややしまる           8号配石市端南東2m         31×35×34         10YR2/2ややしまる           8号配石市端南東2m         24×18×23         10YR2/2ややしまる           9号配石市端南東2m         21×33×32         10YR2/2ややしまる           10号配石市端南東2m         21×21×27         10YR2/2ややしまる           13·14号配石南3m         26×26×10         10YR2/2ややしまる           13·14号配石南3m         15×25×51         10YR2/2ややしまる           13·14号配石南3m         15×25×51         10YR2/2ややしまる           29·南本中東2m2sm         20×18×11         10YR2/2ややしまる           29·南本中東2m2sm         20×25×40         10YR2/2ややしまる           29·南本中東2m2sm         20×20×40         10YR2/2ややしまる           29·森中央西2m2sm         20×20×40         10Y	116	8号配石南端西に隣接	55×45×48	10YR2/2ややしまる	
8号配石商業時の5m         23×23×13         10YR2/2ややしまる           8号配石商業時の5m         17×20×17         10YR2/2ややしまる           8号配石商業時面1m         17×20×17         10YR2/2ややしまる           8号配石商業地西2m         30×30×32         10YR2/2ややしまる           8号配石商業地西3m         30×30×32         10YR2/2ややしまる           8号配石市業地で2m         31×35×34         10YR2/2ややしまる           9号配石市業市東2m         31×31×41         10YR2/2ややしまる           8号配石市業市東2m         31×31×41         10YR2/2ややしまる           8号配石市業市東2m         31×31×41         10YR2/2ややしまる           8号配石市業市東2m         31×31×41         10YR2/2ややしまる           8号配石市業市東2m         21×18×23         10YR2/2ややしまる           10号配石市業市東2m         21×18×23         10YR2/2ややしまる           10号配石市業市東2m         21×18×23         10YR2/2ややしまる           13·14号配石南2m         21×21×27         10YR2/2ややしまる           13·14号配石南2m         26×26×10         10YR2/2ややしまる           13·14号配石南2m         24×24×40         10YR2/2ややしまる           2号漆中央西2m         24×24×40         10YR2/2ややしまる           2号漆中央西2m         24×24×41         10YR2/2ややしまる	117	8号配石南端東に隣接	30×33×33	10YR2/2L # &	くばみのある石器1、銅製品破片1、第29図
8号配石南端内西1m         17×20×17         10YR2/2ややしまる           8号配石南端北西2m         30×20×21         10YR2/2ややしまる           8号配石南端北西2m         30×30×32         10YR2/2ややしまる           8号配石南端北西2m         30×30×32         10YR2/2ややしまる           8号配石南端北西2m         30×30×32         10YR2/2ややしまる           8号配石南端北西2m         31×35×34         10YR2/2ややしまる           9号配石市端南東2m         31×35×34         10YR2/2ややしまる           9号配石市端南東2m         24×18×23         10YR2/2ややしまる           9号配石市端市東2m         22×24×26         10YR2/2ややしまる           10号配石南端市東2m         22×24×26         10YR2/2ややしまる           13·14号配石南3m         21×19×34         10YR2/2ややしまる           13·14号配石南3m         21×19×34         10YR2/2ややしまる           13·14号配石南3m         20×18×11         10YR2/2ややしまる           29·清中央西25m         20×18×11         10YR2/2ややしまる           29·清中央西25m         24×24×40         10YR2/2ややしまる           29·清中央西25m         24×24×40         10YR2/2ややしまる           29·清中央西25m         24×24×40         10YR2/2ややしまる	118	8号配石南端南0.5m	$23 \times 23 \times 13$	10YR2/2ややしまる	
8号配石南端西1m         20×20×21         10YR2/2ややしまる           8号配石南端市区m         36×36×40         10YR2/2ややしまる           8号配石南端市区m         30×30×32         10YR2/2ややしまる           8号配石南端市東2m         31×35×34         10YR2/2ややしまる           9号配石北端南東2m         31×31×41         10YR2/2ややしまる           9号配石北端南東2m         31×31×41         10YR2/2ややしまる           9号配石市端南東2m         41×33×32         10YR2/2ややしまる           9号配石市端東東2m         41×33×32         10YR2/2ややしまる           10号配石南端市東2m         21×21×27         10YR2/2ややしまる           10号配石南端市東2m         21×21×27         10YR2/2ややしまる           13·14号配石南端市東2m         21×21×27         10YR2/2ややしまる           13·14号配石南端市東2m         21×21×27         10YR2/2ややしまる           13·14号配石南端市 2m         25×24×36         10YR2/2ややしまる           13·14号配石南端市 2m         25×25×40         10YR2/2ややしまる           2号様中央西2.5m         24×40         10YR2/2ややしまる           2号様中央西2.5m         24×24×40         10YR2/2ややしまる           2号様中央西3.m         24×24×40         10YR2/2ややしまる           2号様中央西3.m         24×24×40         10YR2/2ややしまる	119	8号配石南端南西1m	$17 \times 20 \times 17$	10YR2/2ややしまる	
8号配石南端北西2nn       36×36×40       10YR2/2ややしまる         8号配石南端北西2nn       30×30×32       10YR2/2ややしまる         8号配石南端市東2nn       31×35×34       10YR2/2ややしまる         9号配石市端南東2nn       31×35×34       10YR2/2ややしまる         9号配石市端南東2nn       31×31×41       10YR2/2ややしまる         8号配石市端市東2nn       31×31×41       10YR2/2ややしまる         8号配石市端市東2nn       41×33×32       10YR2/2ややしまる         9号配石市端市東2nn       21×21×25       10YR2/2ややしまる         10号配石南端市東2nn       21×21×27       10YR2/2ややしまる         10号配石南端市東2nn       21×21×27       10YR2/2ややしまる         13·14号配石南2nn       20×18×11       10YR2/2ややしまる         13·14号配石南3nn       20×18×11       10YR2/2ややしまる         2号衛中央西25nn       25×55×40       10YR2/2ややしまる         2号衛中央西25nn       24×24×40       10YR2/2ややしまる         2号衛中央西25nn       24×24×40       10YR2/2ややしまる         2号衛中央西35nn       24×24×41       10YR2/2ややしまる	120	8号配石南端西1m	$20 \times 20 \times 21$	10YR2/2ややしまる	
8号配石南端北西2nn       30×30×32       10YR2/20ややしまる         8号配石南端南東2nn       40×32×10       10YR2/20まる         9号配石北端南東2nn       31×35×34       10YR2/20やしまる         8号配石北端南東2nn       31×31×41       10YR2/20やしまる         8号配石北端南東2nn       31×31×41       10YR2/20やしまる         8号配石北端南東2nn       41×33×32       10YR2/20やしまる         8号配石北端南東2nn       22×24×26       10YR2/20やしまる         10号配石南端南東2nn       21×21×27       10YR2/20やしまる         10号配石南端南東2nn       21×21×27       10YR2/20やしまる         13·14号配石南3nn       20×19×34       10YR2/20やしまる         13·14号配石南3nn       20×19×34       10YR2/20やしまる         25ヶ溝中央西25m       24×24×40       10YR2/20やしまる         25×30       10YR2/20やしまる         25・30       10YR2/20やりまる         25・30       10YR2/20やりまる         25・30       10YR2/20やしまる         25・30       10YR2/20やしまる         13·14号電石南3nn       34×24×40       10YR2/20やしまる	121	8号配石南端北西2m	36×36×40	10YR2/2ややしまる	
8号配石南端南東1m       40×32×10       10YR2/2しまる         9号配石北端南東2m       31×35×34       10YR2/2ややしまる         8号配石北端南東2m       31×31×41       10YR2/2ややしまる         8号配石北端南東2m       31×31×41       10YR2/2ややしまる         8号配石北端市東2m       41×33×32       10YR2/2ややしまる         8号配石南端市東2m       22×24×36       10YR2/2ややしまる         10号配石南端市東2m       21×21×27       10YR2/2ややしまる         10号配石南端市東2m       21×19×34       10YR2/2ややしまる         13·14号配石南3m       20×19×34       10YR3/2、ややしまる         25 清凍中央西25m       34×24×40       10YR2/2ややしまる         25 清凍中央西25m       25×55       10YR2/2ややしまる         25・清凍中央西25m       24×24×41       10YR2/2ややしまる         13·14号配石南3m       34×24×41       10YR2/2ややしまる	122	8号配石南端北西2m	$30 \times 30 \times 32$	10YR2/2ややしまる	
9号配石北端南東2m     31×35×34     10YR2/2ややしまる       9号配石北端南東2m     31×31×41     10YR2/2ややしまる       8号配石北端南東2m     31×31×41     10YR2/2ややしまる       9号配石北端市東2m     41×33×32     10YR2/2ややしまる       9号配石北端市東2m     22×24×26     10YR2/2ややしまる       10号配石南端南東2m     21×21×27     10YR2/2やとしまる       10号配石南端市東2m     21×19×34     10YR2/2やとしまる       13·14号配石南3m     20×19×34     10YR3/2・ややしまる       13·14号配石南3m     34×24×40     10YR3/2・ややしまる       2号構中央西25m     34×24×40     10YR2/2ややしまる       2号構中央西25m     25×25×40     10YR2/2ややしまる       2号構中央西25m     34×24×41     10YR2/2ややしまる       13·14号配石南3m     34×24×41     10YR2/2ややしまる	123	8号配石南端南東1m	$40 \times 32 \times 10$	10YR2/2L # &	7号掘立柱建物
9号配石北端南東2m     31×31×41     10YR2/2ややしまる       8号配石南端和東2m     24×18×23     10YR2/2ややしまる       9号配石南端南東2m     22×24×36     10YR2/2ややしまる       10号配石南端南東2m     22×24×36     10YR2/2ややしまる       10号配石南端南東2m     21×21×27     10YR2/2株土が僅かに混じる。ややしまる       10号配石南端和東2m     21×21×27     10YR2/2をやしまる       13·14号配石南3m     20×18×11     10YR3/2、ややしまる       13·14号配石南3m     24×24×40     10YR2/2ややしまる       2号構中央西25m     25×55     10YR2/2ややしまる       2号構中央西25m     25×25×40     10YR2/2ややしまる       13·14号配石南3m     24×24×41     10YR2/2ややしまる	124	9号配石北端南東2m	$31 \times 35 \times 34$	10YR2/2ややしまる	
8号配石南端西1m     24×18×23     10YR2/2ややしまる       9号配石南端北東2m     41×33×32     10YR2/2ややしまる       8号配石市端北東2m     22×24×36     10YR2/2ややしまる       10号配石市端北東2m     21×21×27     10YR2/2株土が僅かに混じる。ややしまる       10号配石市端北東2m     21×21×27     10YR2/2株土が僅かに混じる。ややしまる       13·14号配石南2m     20×18×11     10YR3/2、ややしまる       13·14号配石南3m     20×18×11     10YR3/2、ややしまる       2号構中央西25m     25×55     10YR2/2ややしまる       2号構中央西25m     25×54.44     10YR2/2ややしまる       2号構中央西25m     24×24×41     10YR2/2ややしまる       13·14号単石南3m     39×24×41     10YR2/2ややしまる	125	9号配石北端南東2m	$31 \times 31 \times 41$	10YR2/2ややしまる	
9号配石南端北東2m     41×33×32     10VR2/2ややしまる       8号配石南端南東2m     22×24×26     10VR2/2ややしまる       19号配石北端北東2m     21×21×27     10VR2/2株土が僅かに混じる。ややしまる       19号配石北端北東2m     21×21×27     10VR2/2株土が僅かに混じる。ややしまる       13·14号配石南2m     20×26×10     10VR2/2ややしまる       13·14号配石南2m     20×26×10     10VR3/2、ややしまる       2号溝中央西25m     24×24×40     10VR2/2ややしまる       2号溝中央西25m     24×24×40     10VR2/2ややしまる       2号溝中央西25m     24×24×41     10VR2/2ややしまる       13·14号車石南3m     39×30×55     10VR2/2ややしまる	126	8号配石南端西1m	$24 \times 18 \times 23$	10YR2/2ややしまる	3号掘立柱建物
8号配石南端南東2m     22×24×26     10YR2/2ややしまる       9号配石北端北東2m     21×21×27     10YR2/2焼土が僅かに混じる。ややしまる       10号配石市南2m     21×19×34     10YR2/2ややしまる       13·14号配石南2m     20×18×11     10YR3/2、ややしまる       13·14号配石南2m     20×18×11     10YR2/2ややしまる       13·14号配石南3m     15×25×51     10YR2/2ややしまる       2号準中央西25m     24×24×40     10YR2/2ややしまる       2号港中央西35m     24×24×41     10YR2/2ややしまる       13·14号配石南3m     24×24×41     10YR2/2ややしまる       13·14号配石南3m     30×30×55     10YR2/2ややしまる	127	9号配石南端北東2m	$41 \times 33 \times 32$	10YR2/2ややしまる	4.7号掘立柱建物
9号配石北端北東2m     21×21×27     10YR2/2焼土が僅かに混じる。ややしまる       10号配石南南3m     21×19×34     10YR2/2ややしまる       13·14号配石南2m     26×26×10     10YR3/2、ややしまる       13·14号配石南2m     20×18×11     10YR3/2、ややしまる       13·14号配石南3m     15×25×51     10YR2/2ややしまる       2号準中央西25m     24×24×40     10YR2/2ややしまる       2号港中央西25m     24×24×40     10YR2/2ややしまる       2号港中央西3m     24×24×41     10YR2/2ややしまる       13·14号配石南3m     33×30×55     10YR2/2ややしまる	128	8号配石南端南東2m	$22 \times 24 \times 26$	10YR2/2ややしまる	
9号配石北端北東2m     21×21×27     10VR2/2焼土が僅かに混じる。ややしまる       10号配石南西3m     21×19×34     10YR2/2ややしまる       13·14号配石南2m     26×26×10     10YR3/2、ややしまる       13·14号配石南2m     20×18×11     10YR3/2、ややしまる       13·14号配石南3m     15×25×51     10YR2/2ややしまる       2号溝中央西25m     24×24×40     10YR2/2ややしまる       2号溝中央西25m     25×25×40     10YR2/2ややしまる       2号溝中央西3m     24×24×41     10YR2/2ややしまる       13·14号配石南3m     39×30×55     10YR2/2ややしまる	129				欠番。16号土坑に改称
10号配石南西3m     21×19×34     10YR2/2ややしまる       13·14号配石南2m     26×26×10     10YR3/2、ややしまる       13·14号配石南2m     20×18×11     10YR3/2、ややしまる       13·14号配石南3m     15×25×51     10YR2/2ややしまる       2号漆中央西25m     24×24×40     10YR2/2ややしまる       2号漆中央西25m     25×25×40     10YR2/2ややしまる       2号漆中央西3m     24×24×41     10YR2/2ややしまる       13·14号配石南3m     30×30×55     10YR2/2ややしまる	130	9号配石北端北東2m	$21 \times 21 \times 27$	10YR2/2焼土が僅かに混じる。ややしまる	
13·14号配石南2nn     26×26×10     10YR3/2、ややしまる       13·14号配石南2nn     20×18×11     10YR3/2、ややしまる       13·14号配石南3nn     15×25×51     10YR2/2ややしまる       2号漆中央西25m     24×24×40     10YR2/2ややしまる       2号漆中央西25m     25×25×40     10YR2/2ややしまる       2号漆中央西3nn     24×24×41     10YR2/2ややしまる       13·14号配石南3nn     30×30×55     10YR2/2ややしまる	131	10号配石南西3m	$21 \times 19 \times 34$	10YR2/2ややしまる	1号掘立柱建物
13·14号配石南2nn     20×18×11     10YR3/2、ややしまる       13·14号配石南3nn     15×25×51     10YR2/2ややしまる       2号排中央西25m     24×24×40     10YR2/2ややしまる       2号排中央西25m     25×25×40     10YR2/2ややしまる       2号排中央西3nn     24×24×41     10YR2/2ややしまる       13·14月最万南3n     30×30×55     10YR2/2ややしまる	132	13·14号配石南2m	$26 \times 26 \times 10$	10YR3/2、ややしまる	
13・14号配石南3m     15×25×51     10YR2/2ややしまる       2号薄中央西25m     24×24×40     10YR2/2ややしまる       2号薄中央西25m     25×25×40     10YR2/2ややしまる       2号薄中央西35m     24×24×41     10YR2/2ややしまる       13・14号配万南3m     30×30×55     10YR2/2ややしまる	133	13·14号配石南2m	$20 \times 18 \times 11$	10YR3/2、ややしまる	
2号溝中央西25m     24×24×40     10YR2/2ややしまる       2号溝中央西25m     25×25×40     10YR2/2ややしまる       2号溝中央西3m     24×24×41     10YR3/2、ややしまる       13:14月配万南3m     30×30×55     10YR2/2ややしまる	134	13·14号配石南3m	$15 \times 25 \times 51$	10YR2/2ややしまる	
2号溝中央西25m     25×25×40     10YR2/2ややしまる       2号溝中央西3m     24×24×41     10YR3/2, ややしまる       13·14号配万崩3m     30×30×55     10YR2/2ややしまる	135	2号溝中央西2.5m	$24 \times 24 \times 40$	10YR2/2ややしまる	
2号溝中央西3m         24×24×41         10YR3/2, ややしまる           13·14号配石南3m         30×30×55         10YR2/2ややしまる	136	2号溝中央西2.5m	$25 \times 25 \times 40$	10YR2/2ややしまる	14号掘立柱建物
13-14号配石南3m	137	2号溝中央西3m	$24 \times 24 \times 41$	10YR3/2, ややしまる	
SO CO	138	13·14号配石南3m	$30 \times 30 \times 55$	10YR2/2ややしまる	平安土師器破片1

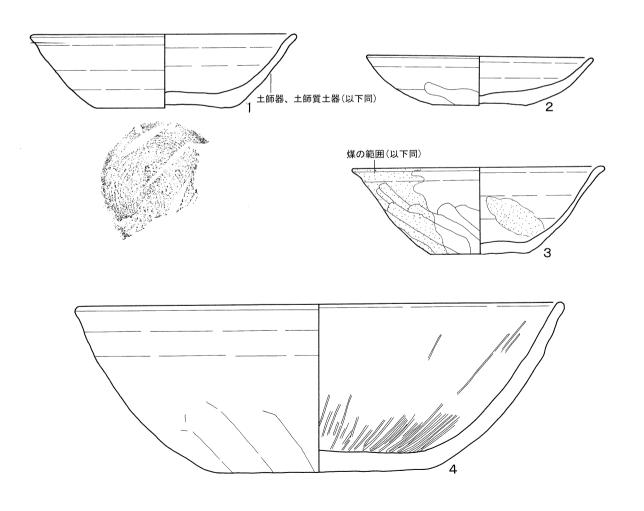
(	P. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.			CIT List per 1
番号(PT)	位置	徐(vamax知事)×深が、cm	権士質	調査外見等
139	13·14专配右南3m	$36 \times 32 \times 50$	10YR2/2炭が僅かに混じる。ややしまる	
140	13·14号配石南3m	$30 \times 25 \times 40$	10YR2/2ややしまる	かわらけ破片1
141	13·14号配石南3m	$38 \times 35 \times 40$	10YR2/2ややしまる	8号掘立柱建物。かわらけ破片1、第29図
142	13·14号配石南1m	46×42×63	10YR2/2炭が僅かに混じる。ややしまる	
143	13·14号配石南3m	35×35×59	10YR2/2ややしまる	6号編立柱建物。石あり。かわらけ破片1
144	13·14号配石南2.5m	$30 \times 28 \times 54$	10YR2/2ややしまる	
145	13·14号配石南2m	$32 \times 26 \times 35$	10YR2/2ややしまる	8号据立柱建物
146	13·14号配石南2m	36×30×16	10YR2/2ややしまる	5号掘立柱建物。かわらけ破片1、第29図
147	13·14号配石南西2.5m	28×23×43	10YR2/2ややしまる	かわらけ破片1
148	13·14号配石南西2.5m	33×27×38	10YR2/2ややしまる	8号据立柱建物
149	13·14号配石南西3m	25×29×51	10YR2/2ややしまる	
150	13·14号配石南西3m	35×35×40	10YR2/2ややしまる	
151	13·14号配石南西3m	25×25×36	10YR2/2ややしまる	5号捆立柱建物
152	13·14号配石南西3m	46×32×12	10YR2/2ややしまる	14号掘立柱建物
153	13·14号配石南西2.5m	27×24×17	10YR2/2ややしまる	17号掘立柱建物
154	13·14号配石南西2.5m	$40 \times 50 \times 26$	10YR2/2ややしまる	石あり
155	13·14号配石南西2m	57×45×55	10YR2/2ややしまる	かわらけ破片5、開元通寳1、第29図
156	13·14号配石南西2m	30×30×20		
157	13·14号配石南西1m	30×30×45	10YR2/2ややしまる	かわらけ破片1
158	2号溝中央東に隣接	35×34×30	10YR3/2, ややしまる	かわらけ破片2
159	2号溝中央西に隣接	34×29×27	10YR2/2ややしまる	6.7号堀立柱建物
160	2号溝中央西に隣接	$50 \times 45 \times 25$	10YR2/2炭が僅かに混じる。ややしまる	かわらけ破片2
161	2号溝中央東0.5m	$35 \times 32 \times 45$	10YR3/2, L±8	2号捆立柱建物
162	2号溝中央西に隣接	$30 \times 30 \times 33$	10YR2/2ややしまる	2号掘立柱建物
163	9号配石南端南東1m	$24 \times 24 \times 24$	10YR2/2ややしまる	
164	9号配石南端西2m	$26 \times 26 \times 37$	10YR3/2、ややしまる	
165	9号配石南端西2m	$24 \times 24 \times 33$	10YR3/2、炭が僅かに混じる。ややしまる	かわらけ破片1、永楽通資1、第29図
166	2号溝中央西に隣接	$54 \times 54 \times 40$	10YR3/2、ややしまる	石あり
167	13·14号配石南2.5m	50×48×60	10YR2/2ややしまる	石あり。かわらけ破片3
168	13·14号配石南2.5m	$32 \times 29 \times 30$	10YR2/2ややしまる	5-14号掘立柱建物。石あり
169	8号配石南3m	$40 \times 40 \times 40$	10YR3/2、ややしまる	かわらけ破片2
170	9号配石北端北西4m	$50 \times 50 \times 35$	10YR2/2ややしまる	かわらけ破片1、内耳土器破片1、青磁破片1、緑釉破片1、第29図
171	9号配石北端北西4m	35×35×30	10YR2/2ややしまる	
172	9号配石北端北3m	$40 \times 38 \times 10$	10YR2/2しまる	1号据立柱建物。内耳土器破片1
173	9号配石南端北1m	$40 \times 33 \times 30$	10YR3/2、炭焼土が僅かに混じる。ややしまる	9号配石に切られる。石あり
174	9号配石中央南1m	$47 \times 37 \times 27$	10YR3/2、炭焼土が僅かに混じる。ややしまる	4号掘立柱建物。9号配石に切られる。かわらけ破片1
175	2号溝中央西3m	$38 \times 26 \times 48$	10YR2/2炭が僅かに混じる。ややしまる	石あり
176	8号配石南端西2m	$30 \times 30 \times 40$	10YR2/2ややしまる	
177	9号配石中央東に隣接	48×48×43	10YR2/2ややしまる	かわらけ破片1、瓦質土器破片1
178	9号配石中央南東2m	$50 \times 50 \times 23$	10YR2/2炭が僅かに混じる。ややしまる	4号捆立柱建物。内耳土器破片2
179	8号配石北端東1m	$40 \times 40 \times 30$	10YR2/2ややしまる	かわらけ破片2、内耳土器破片1
180	13·14号配石南4m	28×28×53	10YR3/2、ややしまる	8号土坑から改称
181	2号溝中央西1m	$24 \times 22 \times 20$	10YR3/2, ややしまる	石あり
182	9号配石北端南東3m	$38 \times 40 \times 15$	10YR2/2炭,焼土が僅かに混じる。ややしまる	4号据立柱建物
183	9号配石南端東2m	$41 \times 40 \times 26$	10YR2/2に10YR5/6が混じる。炭が僅かに混じる。ややしまる	かわらけ破片3
184	8号配石南端南西2m	44×45×36	10YR3/2、ややしまる細粒土	かわらけ破片1

番号(PT)	位置	径(長軸×短軸)×深さ、cm	南十 南	調査所見等
185	10号配石南西2m	28×30×20	10YR3/2、炭焼土が僅かに混じる。ややしまる	1号掘立柱建物
186				欠番
187	13·14号配石南2m	40×33×56	10YR3/2 ややしまる	17号掘立柱建物。かわらけ破片1
188	13·14号配石南2m	$50 \times 40 \times 60$	10YR4/2ややしまる	6号捆立柱建物
189	9号配石北端東2m	27×25×34	10YR4/2ややしまる	1号掘立柱建物。かわらけ破片2、第30図
190	9号配石北端南東2m	35×35×25	10YR3/2ややしまる	かわらけ破片1、内耳土器破片1、第30図
161	8号配石北端西2m	26×27×11	10YR3/2に10YR5/6が混じる。炭焼土が僅かに混じる。ややしまる	
192	2号溝中央西に隣接	47×45×21	10YR3/2に10YR5/6が混じる。ややしまる	7-15号掘立柱建物。平安土師器1個体、第30図
193	9号配石南端北東1m	33×33×43	10YR2/2に10YR5/6が混じる。ややしまる	3号掘立柱建物。かわらけ破片2
194	9号配石南端東1m	30×40×30	10YR3/1 炭が僅かに混じる。ややしまる	195号ピットを切る。かわらけ破片1
195	9号配石南端東1m	35×35×30	10YR3/184L#S	
196	9号配石南端南西1m	35×35×45	10YR3/2に10YR4/4が混じるしまる	かわらけ破片1
197	13·14号配石北東1m	50×55×25	10YR2/2に10YR5/6が混じる。炭焼土が僅かに混じる。ややしまる	198号ピットに切られる。かわらけ1個体、第30図
198	13·14号配石北東1m	50×50×20	10YR3/2、炭焼土が僅かに混じる。ややしまる	平安灰釉陶器破片1、内耳土器破片1、 □元□寶1、銅製品破片1
199	13·14号配石北東1m	32×33×30	10YR2/2に10YR3/1が混じる。炭が僅かに混じる。ややしまる	
200	13·14号配石北東2m	25 × 25 × 30	10YR3/2に10YR5/6が混じる。炭が僅かに混じる。ややしまる	小石2つ
201	13·14号配石北東2m	50×50×35	10YR3/2に10YR5/6が視じる。炭が僅かに混じる。ややしまる	平安須惠器破片1、かわらけ破片1、内耳土器破片1、中世陶磁破片1、火打石 1、第30図
202	13・14号配石東端に隣接	28×28×20	10YR3/2に10YR5/6が混じる。炭が僅かに混じる。ややしまる	
203	8号配石北端北に隣接	36×37×6	10YR3/2に10YR5/6が混じる。ややしまる	
204	2号溝攪乱北に隣接	$20 \times 18 \times 20$	10YR3/2に10YR4/4が混じる。炭焼土が僅かに混じる。しまる	かわらけ破片2
202	9号配石北端北1m	56×33×26	10YR3/2に10YR4/4が混じる。炭が僅かに混じる。ややしまる	1号掘立柱建物
206	8号配石北端西0.5m	$50 \times 38 \times 40$	10YR3/2炭,焼土が僅かに混じる。ややしまる	石あり。かわらけ破片1
207	8号配石北端西1m	$34 \times 30 \times 14$	10YR3/2L # &	1号掘立柱建物。石あり。近世陶磁破片1、第30図
208	9号配石南端南東1m	$30 \times 30 \times 33$	10YR3/2ややしまる	3号掘立柱建物
509	2号溝中央東0.5m	$25 \times 25 \times 26$	10YR3/2炭が僅かに混じる。ややしまる	平安土師器破片1、かわらけ破片1
210	2号溝中央東0.5m	$21 \times 20 \times 22$	10YR3/2炭が僅かに混じる。ややしまる	
211	2号溝中央西2m	$34 \times 34 \times 25$	10YR3/2炭が僅かに混じる。ややしまる	6号掘立柱建物。54号土坑を切る
212	2号溝中央西1m	$45 \times 38 \times 40$	10YR3/2炭が僅かに混じる。しまる	213号ビットを切る
213	2号溝中央西1m	$32 \times 36 \times 35$	10YR3/2炭が僅かに混じる。しまる	214号ピットを切る。かわらけ破片4
214	2号溝中央西1m	$33 \times 34 \times 30$	10YR3/2炭が僅かに混じる。ややしまる	
215	13·14号配石南東2m	$50 \times 36 \times 20$	10YR3/2炭が僅かに混じる。ややしまる	56号土坑を切る。平安土師器破片1、かわらけ破片5、内耳土器破片2、第30図
216	9号配石南端南に隣接	$24 \times 29 \times 35$	10YR3/2に10YR5/6が混じる。焼土が僅かに混じる。ややしまる	
217	1号溝東端北東4m	33×33×15	10YR3/2、ややしまる	
218	13·14号配石南東2m	$34 \times 33 \times 25$	10YR3/2、ややしまる	6号掘立柱建物
219	9号配石北端北西4m	$28 \times 26 \times 25$	10YR3/2、ややしまる	
220	9号配石北端北東2m	$53 \times 53 \times 30$	10YR3/2、焼土が僅かに混じる。ややしまる	
221	1号2号溝交差点西に隣接	$26 \times 26 \times 23$	10YR2/2L # &	
222	13·14号配石南東2m	$24 \times 24 \times 45$	10YR3/2	56号土坑を切る
223	13·14号配石南西3m	$32 \times 30 \times 15$	10YR3/2	
224	2号集石西1m	$50 \times 52 \times 23$	10YR3/2	11号据立柱建物
225	13·14号配石南東2m	$45 \times 40 \times 40$	10YR3/2	
226	9号配石南端南西2m	$40 \times 42 \times 22$	10YR3/2	2号揭立柱建物
227	1号溝東端南1m	$50 \times 50 \times 20$	10YR3/2	
228	1号溝東端南東0.5m	28×28×5	10YR3/2	
229	9号配石中央北0.5m	$45 \times 45 \times 24$	10YR3/2	4号据立柱建物。中世陶磁破片1

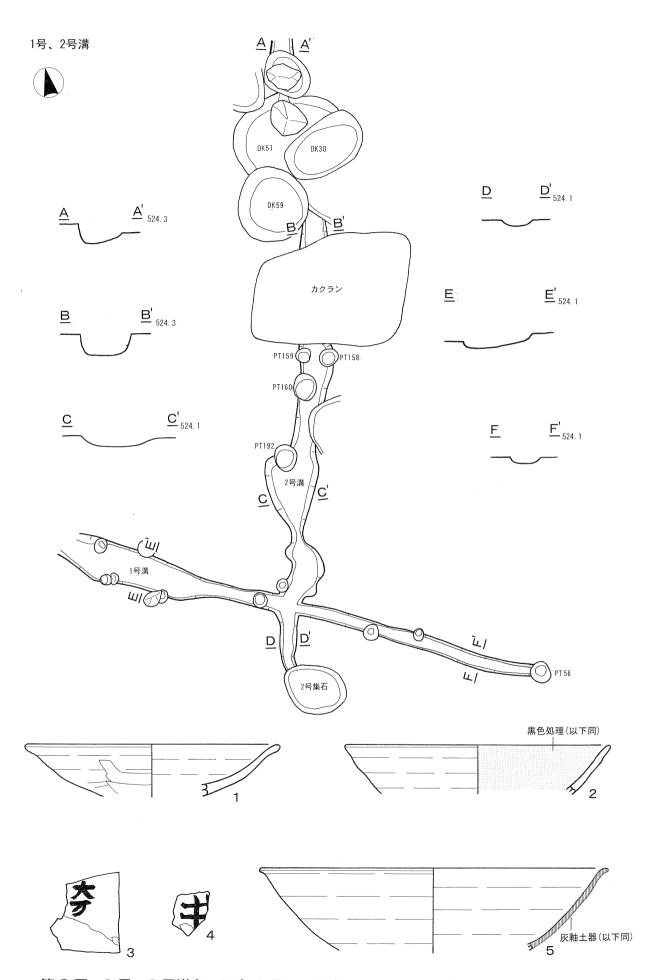
(T T) C H	位置	径(長軸×短軸)×深さ、cm	埋土質	調査所見等
230	8号配石中央西に隣接	32×30×38	10YR3/2	4号掘立柱建物。かわらけ破片1
231	8号配石南端南1m	36×35×33	10YR3/2	平安灰釉陶器破片1、第30図
232	8号配石南端南西2.5m	30×30×28	10YR3/2	
233	9号配石南端南1m	44×40×32	10YR3/2	
234	9号配石南端南東3m	43×?×45	10YR3/2	13号掘立柱建物



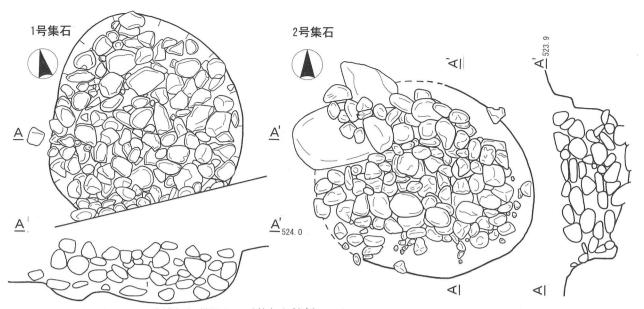
1層 10YR2/3 (黒褐)に10YR4/4 (褐)が20%、炭化物が10%、 焼土が10%混じる。シルト粒土。 ややしまる。



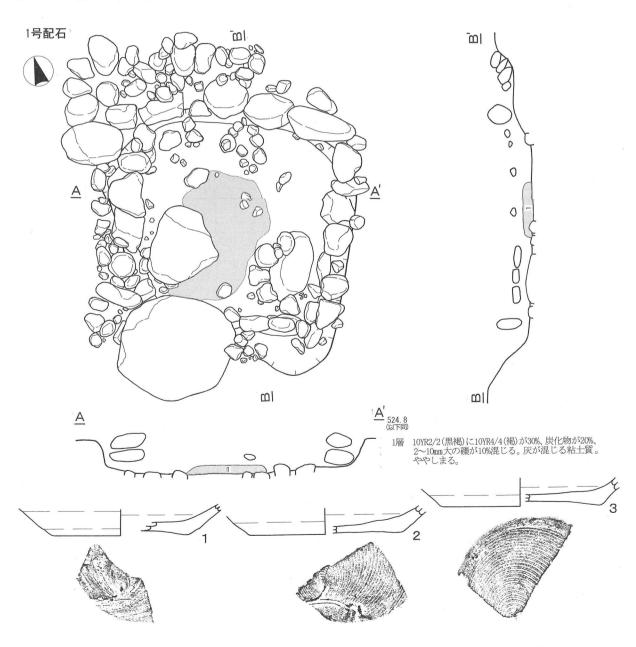
第7図 1号住居(1/40) 1号住居カマド(1/20) 出土遺物(1/2)



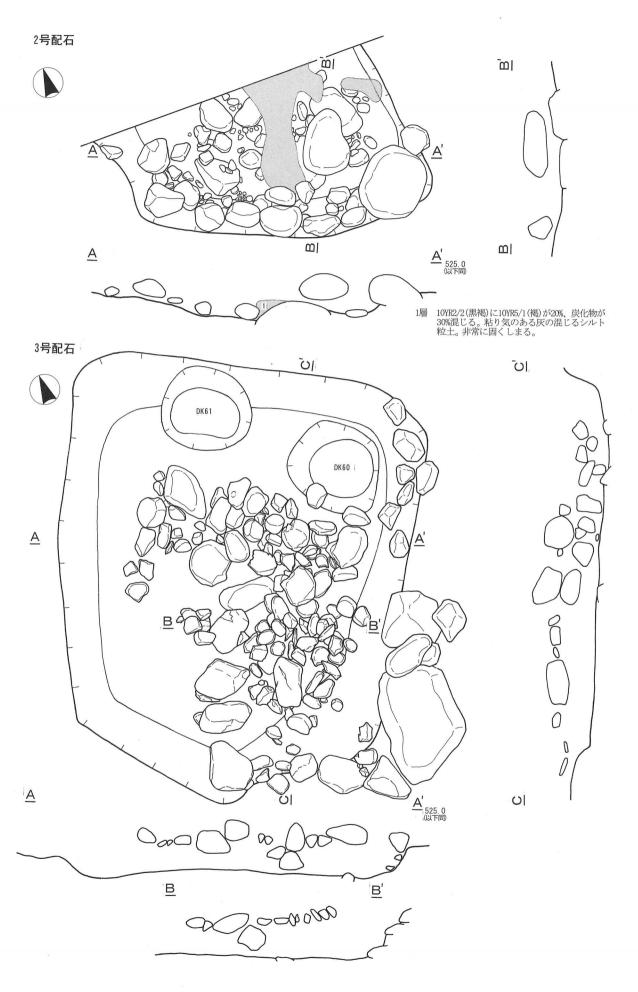
第8図 1号、2号溝(1/80)1号、2号溝エベレーション(1/40)出土遺物(1/2)



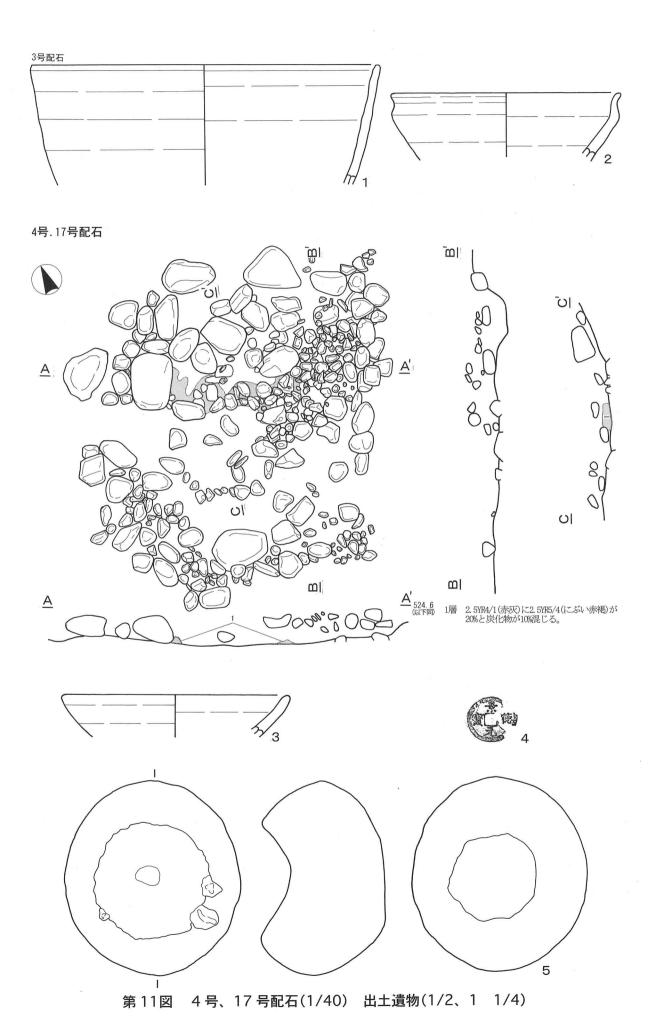
1層 10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が5%混じる。シルト粒土。しまりなし。 地山 10YR4/6(褐)に10YR3/4(暗褐)が3%混じる。シルト粒土。固くしまる。



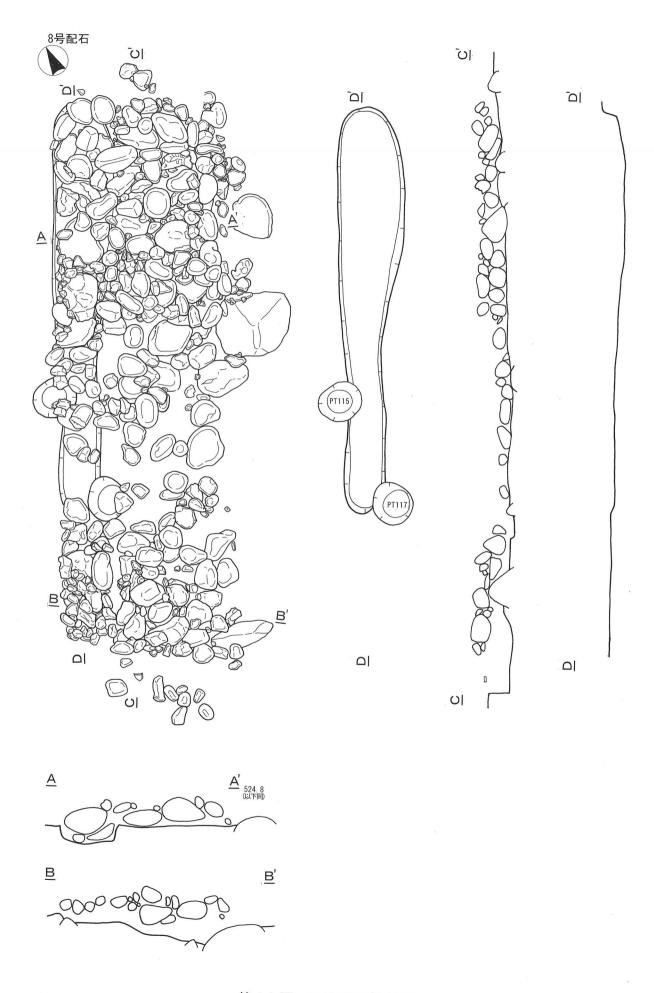
第9図 1号、2号集石(1/20) 1号配石(1/40) 出土遺物(1/2)



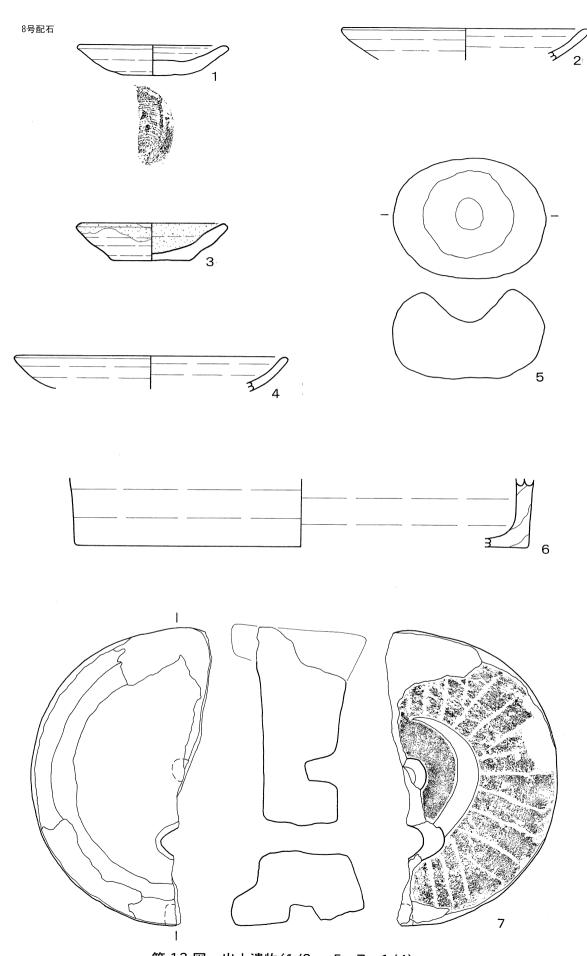
第10図 2号、3号配石(1/40)



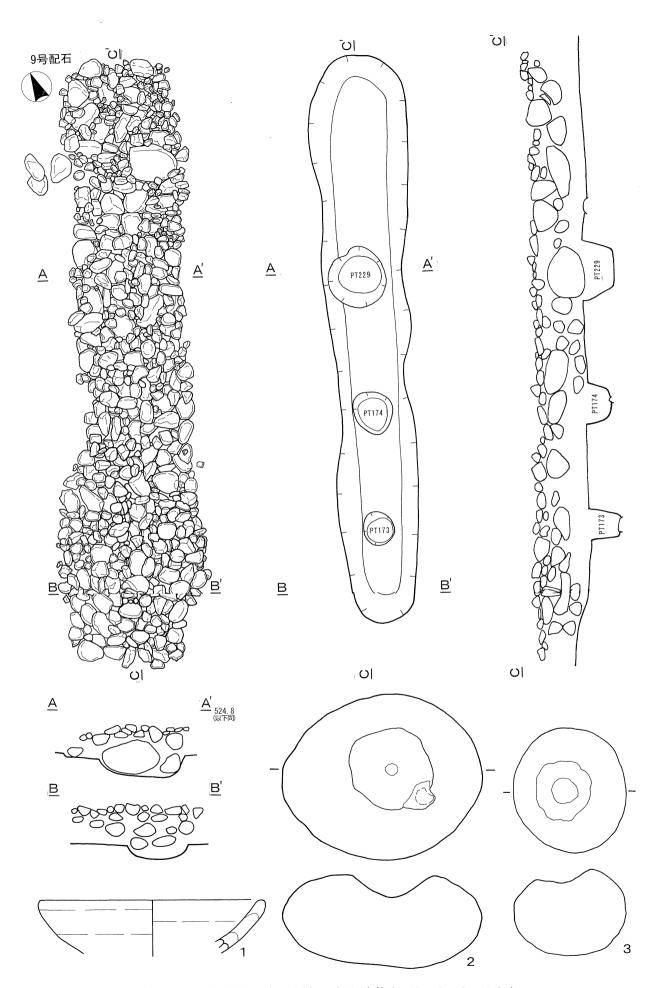
- 27 -



第12図 8号配石(1/40)



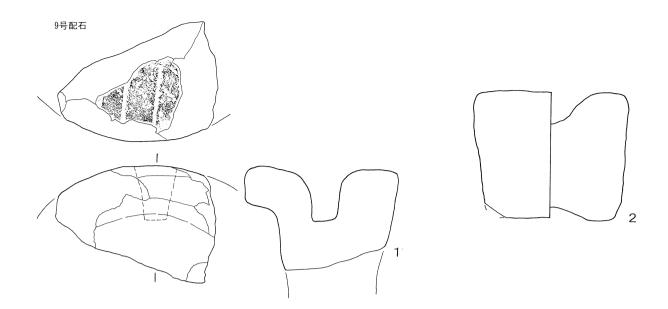
第 13 図 出土遺物(1/2、 5・7 1/4)

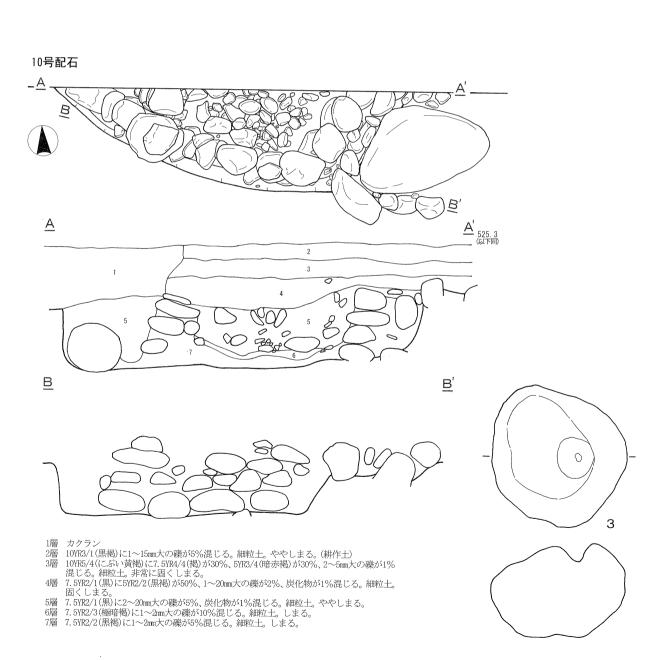


第 14 図 9 号配石(1/40) 出土遺物(1/2、2・3 1/4)



- 31 -

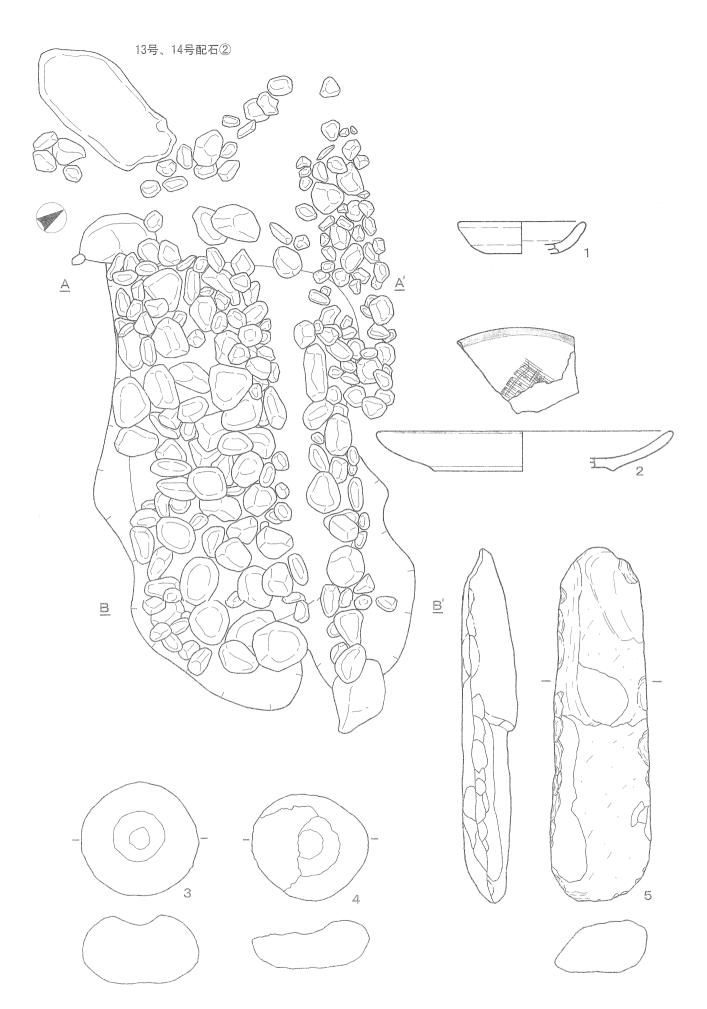




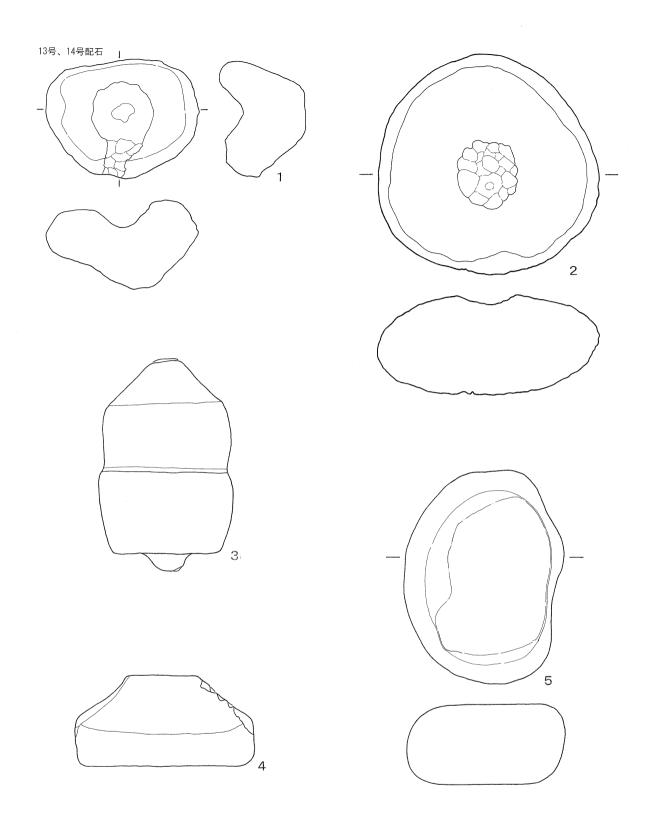
第 16 図 10 号配石(1/40) 出土遺物(1/4)



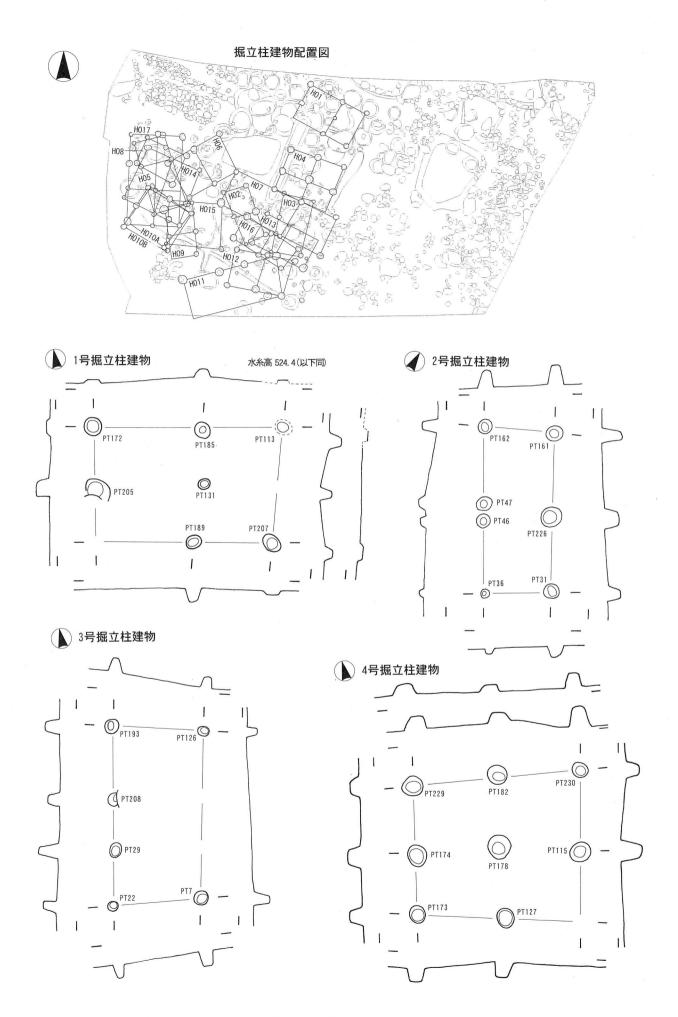
第17図 13号、14号配石①(1/40)



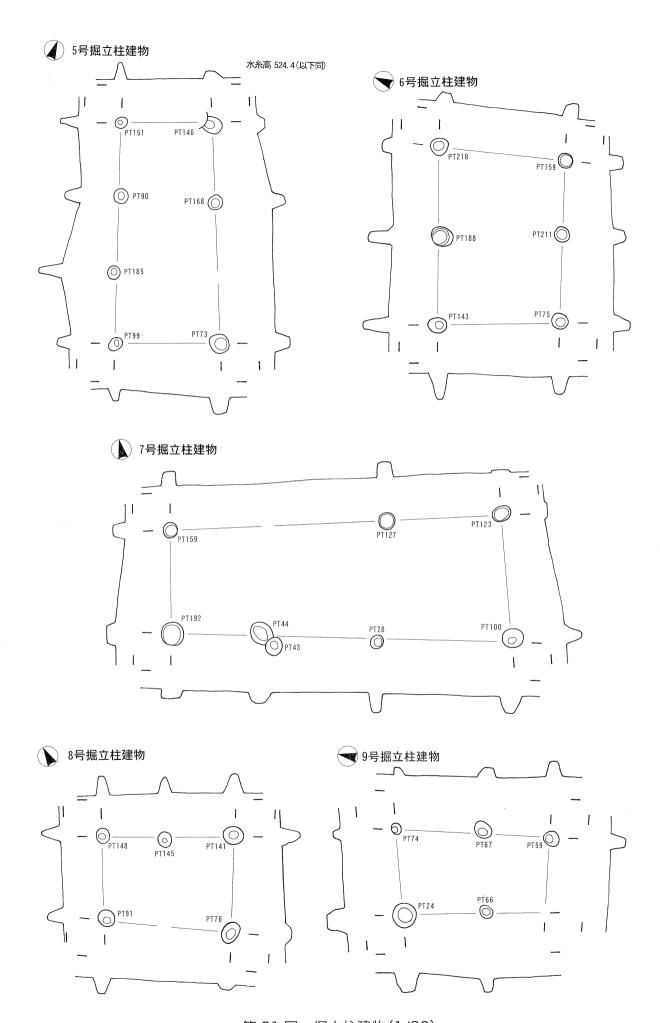
第 18 図 13 号、14 号配石②(1/40) 出土遺物(1/2、3・4 1/4)



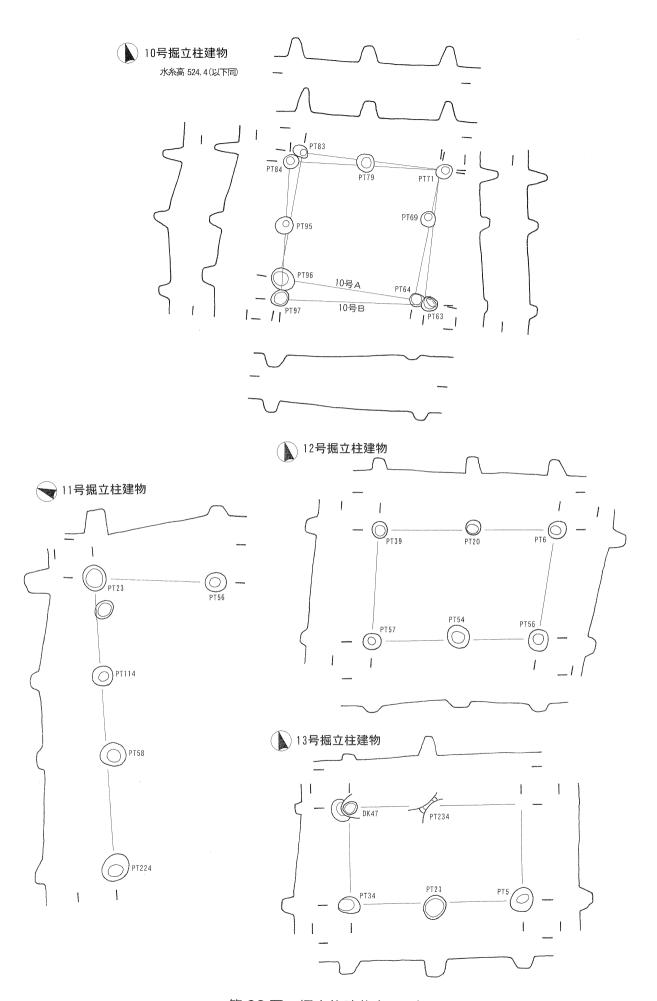
第19図 出土遺物(1/4、5 1/2)



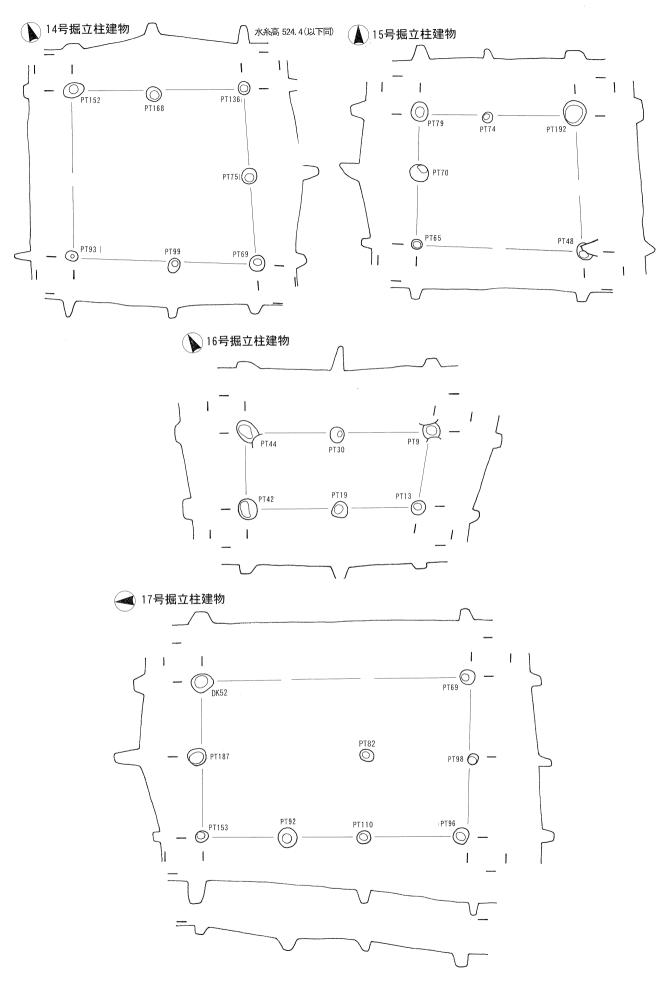
第 20 図 掘立柱建物配置図(1/240) 掘立柱建物(1/80)



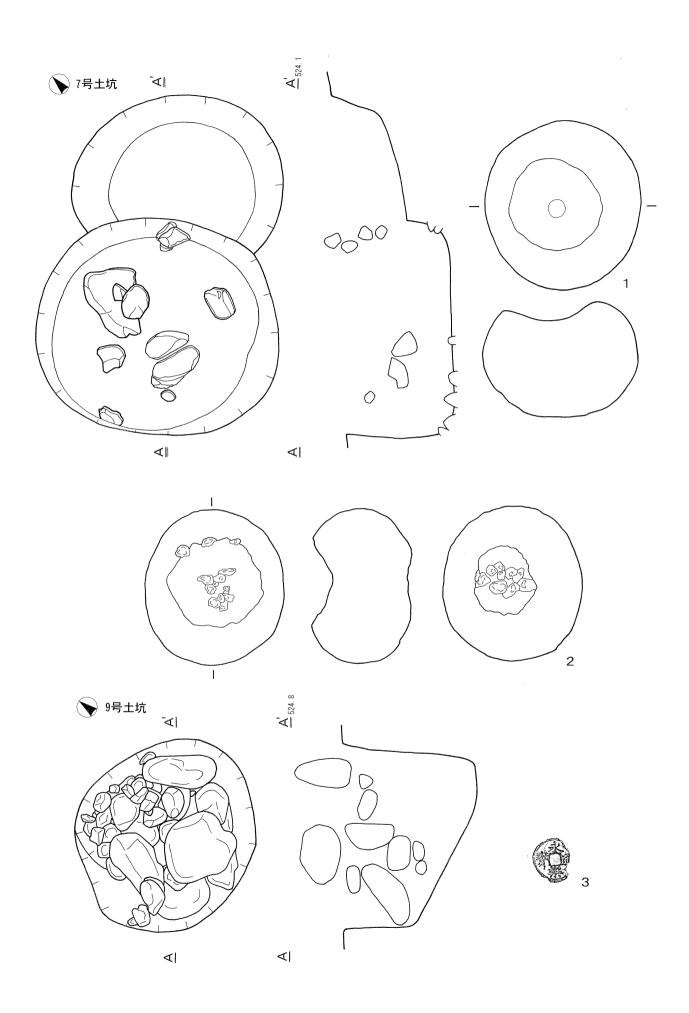
第 21 図 掘立柱建物(1/80)



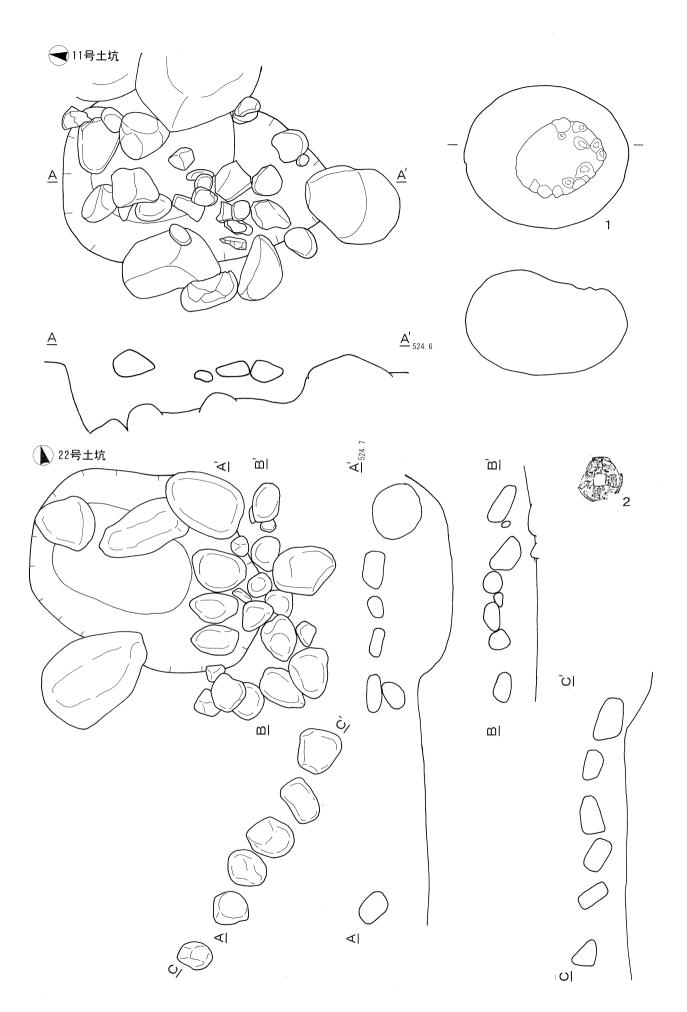
第 22 図 掘立柱建物(1/80)



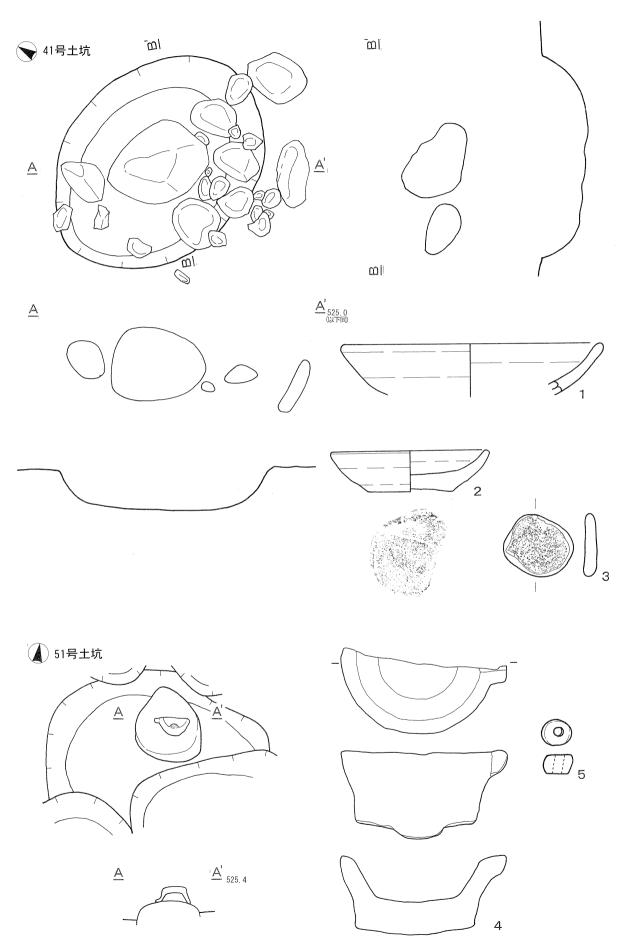
第 23 図 掘立柱建物(1/80)



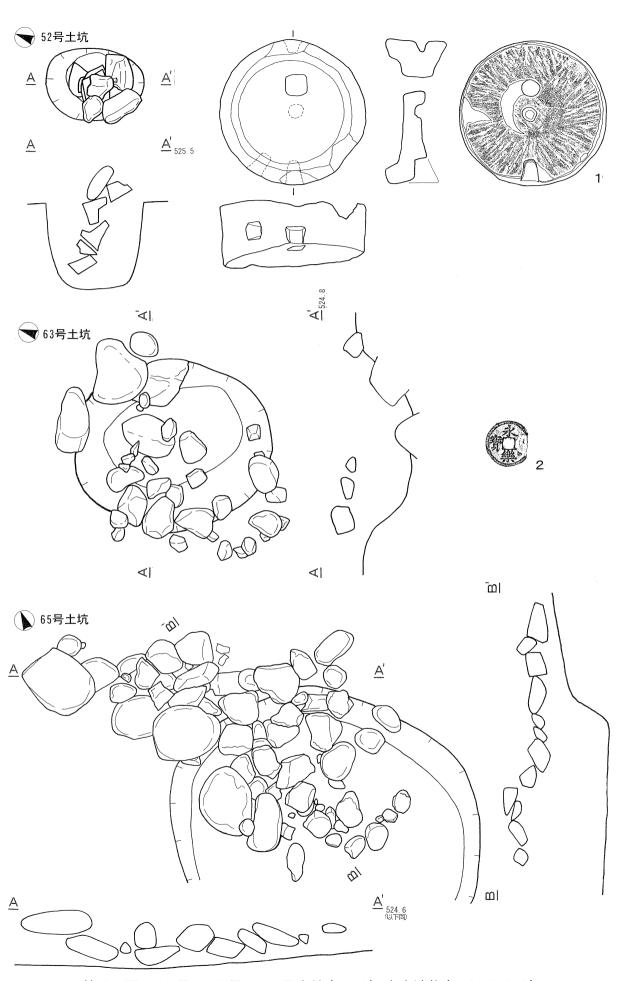
第 24 図 7 号、9 号土坑(1/20) 出土遺物(1/2)



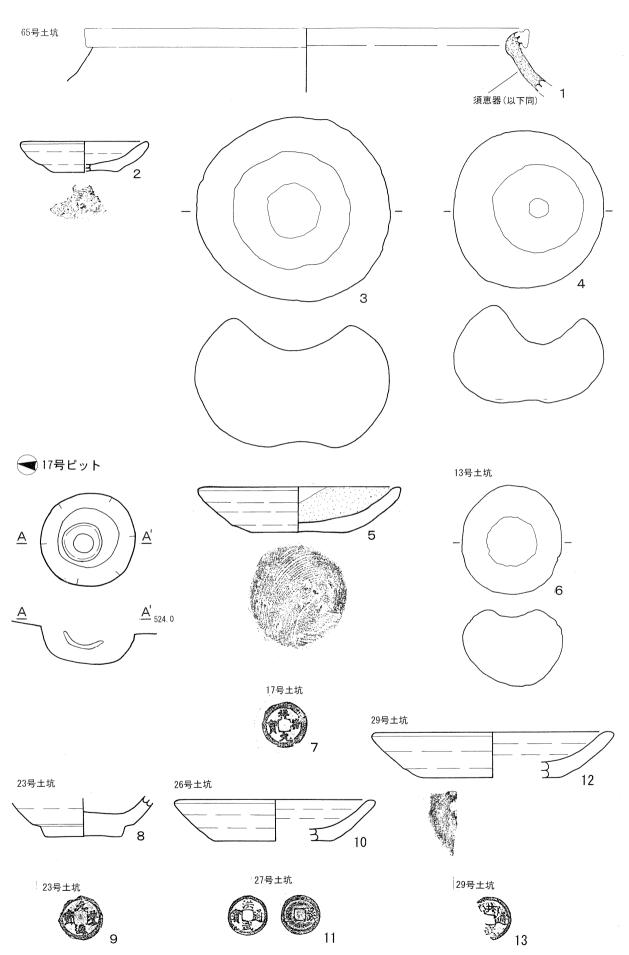
第 25 図 11 号、22 号土坑(1/20) 出土遺物(1/2)



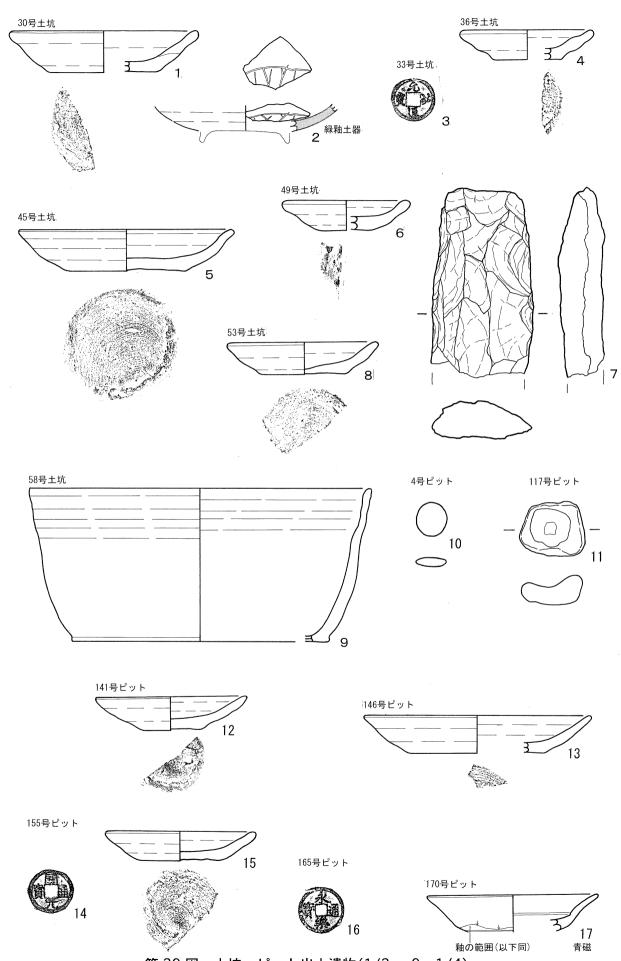
第 26 図 41 号土坑(1/20)、51 号土坑(1/40) 出土遺物(1/2、 4 1/8 5 1/1)



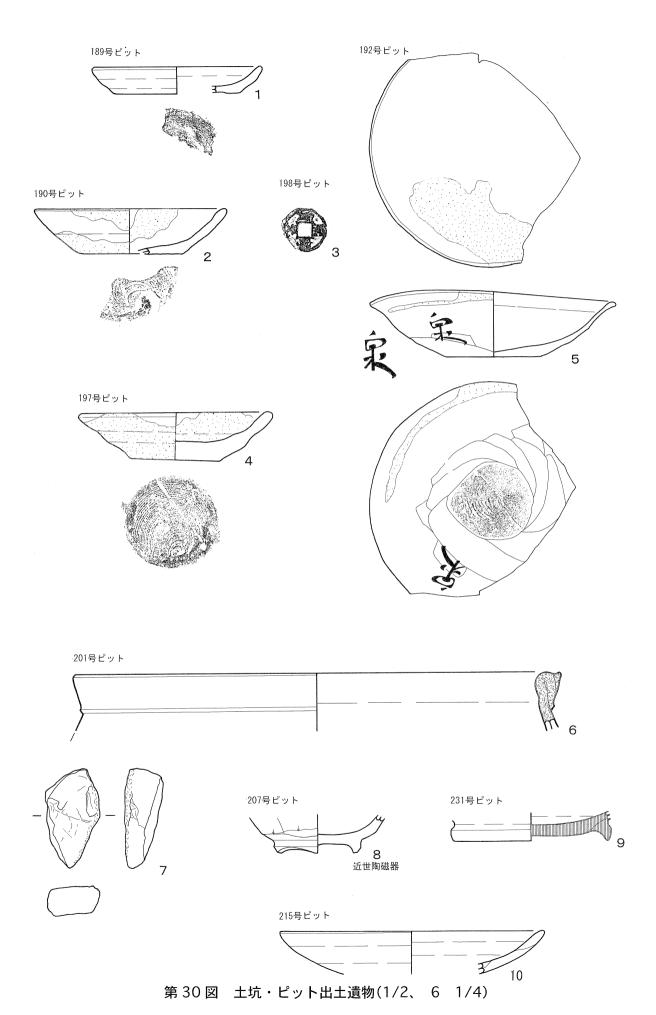
第 27 図 52 号、63 号、65 号土坑(1/20) 出土遺物(1/2、1 1/8)



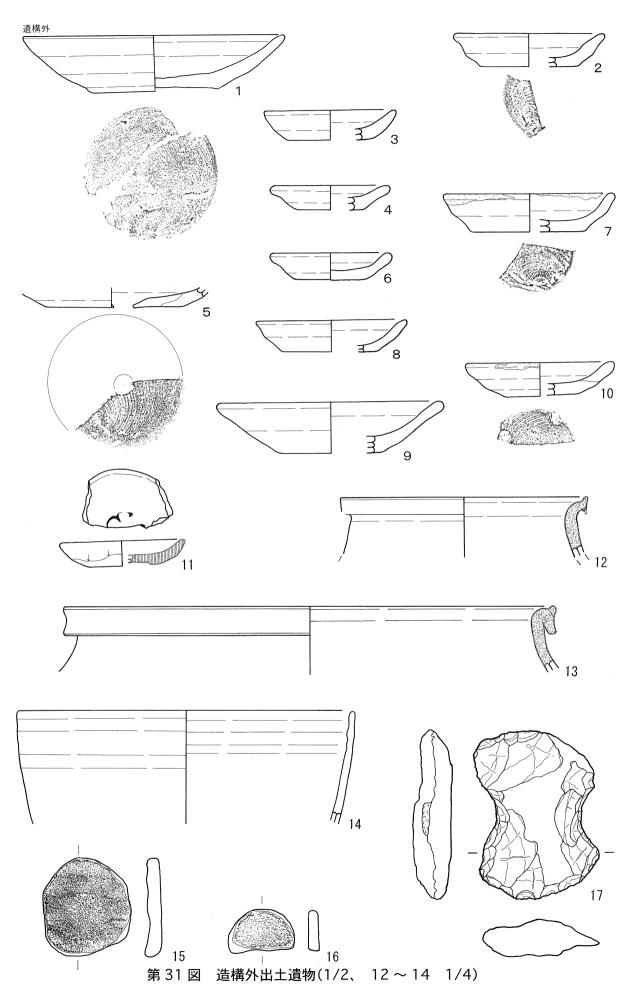
第 28 図 17 号ピット(1/10)、土坑・ピット 出土遺物(1/2、 1・4・6 1/4)

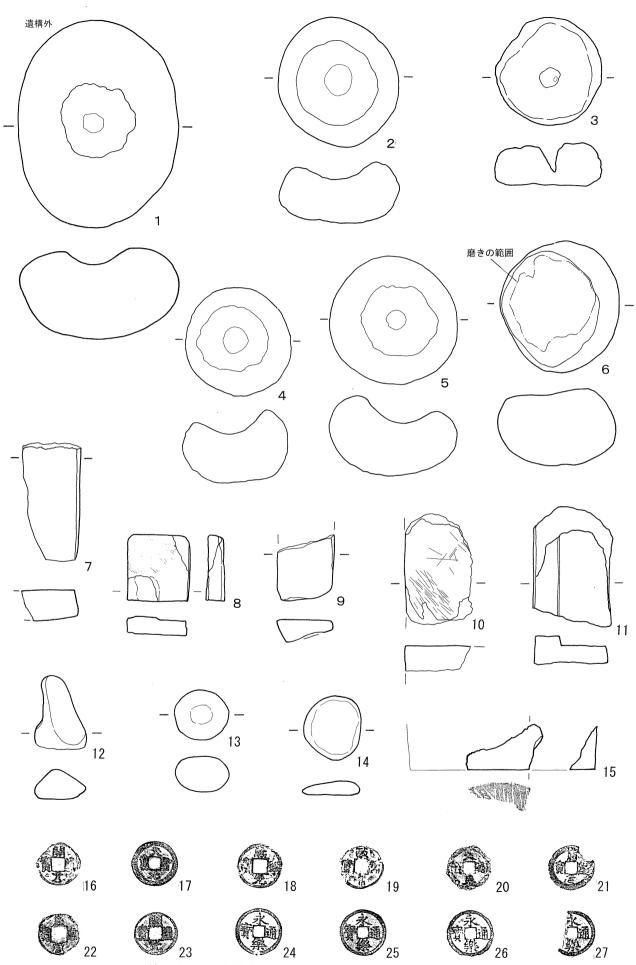


第29図 土坑・ピット出土遺物(1/2、9 1/4)



- 46 -





第32図 造構外出土遺物(1/2、4・5・15 1/4)

## 写 真 図 版

- 50 -



御崎前遺跡遠景(東上空より須玉総合支所方向を望む)



御崎前遺跡全景(写真右側の礫原は須玉川起源の自然堤防)



御崎前遺跡全景(西より須玉川方向を望む)



御崎前遺跡近景(中世の配石面の状況)



御崎前遺跡の基本層序(写真 中央やや下の礫層が中世の配石面)



1号住居カマド



1 号溝



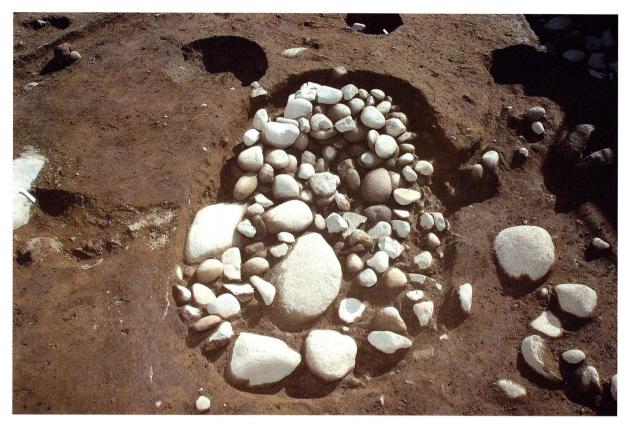
2 号溝(左右方向に走る溝は1号溝)



1号集石検出状況



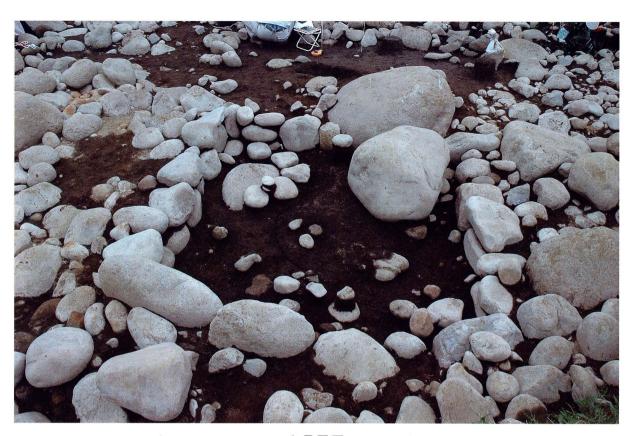
1 号集石半截状況



2 号集石検出状況(写真上方の小礫群)



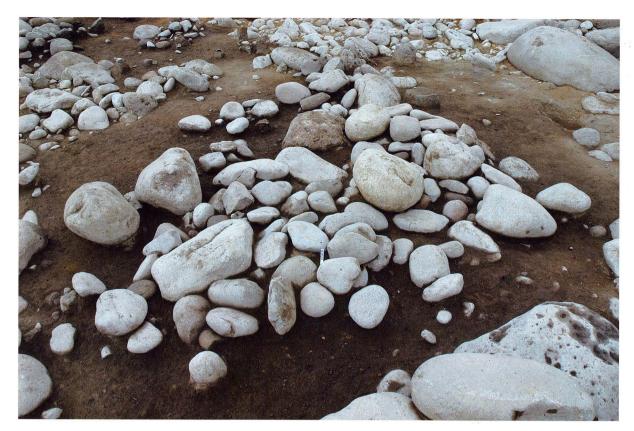
2号集石完掘状況



1号配石



2号配石



3号配石検出状況



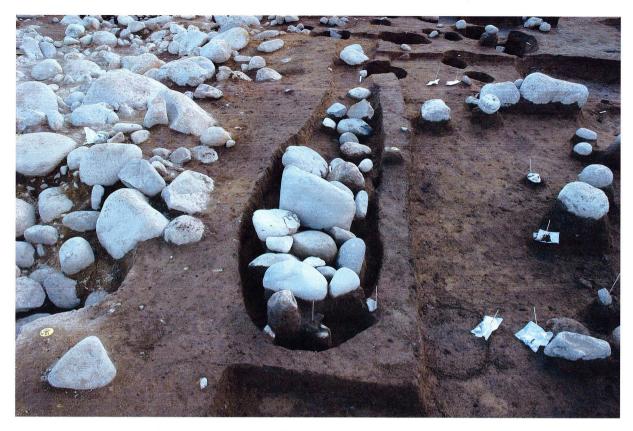
3号配石完掘状況(配石面下層には落ち込みがあった)



4号(17号)配石



8号配石検出状況



8号配石下層の石列と溝



9号配石検出状況(手前側の配石 奥は8号配石)



9 号配石下層の石列



9号配石下層の溝(石列下で溝が検出された)



10 号配石



13・14 号配石



13 号・14 号配石下層の配石面



1 号・4 号掘立柱建物



7号土坑



9号土坑



11 号土坑



41 号土坑



51 号土坑



52 号土坑



65 号土坑上面の配石



65 号土坑完掘状況



17 号ピット



197 号ピット



平安時代の土器



墨書土器と石製品



中世の土器



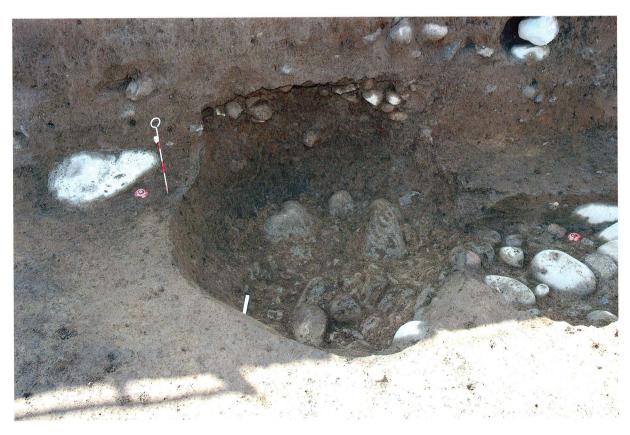
中世の石器



中世の石器



2 号溝遺物出土状況



1号集石完掘状況



1号配石検出状況



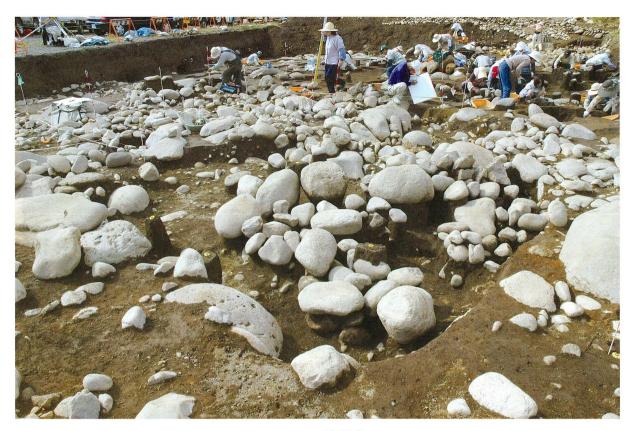
1号配石底面の灰と炭化材の検出状況



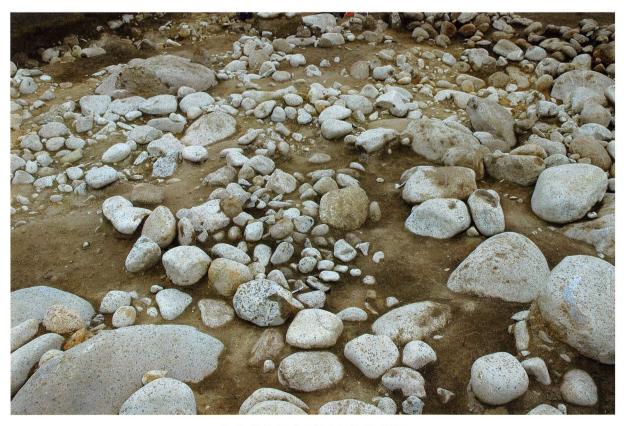
2号配石検出状況



2号配石底面の灰と炭化材の検出状況



3号配石の発掘状況



4号(17号)配石の検出状況



4号(17号)配石の上層礫を取り除いたところ



8号・9号配石の検出状況



10 号配石の検出状況



10 号配石の発掘状況



13 号・14 号配石の下層配石



13 号·14 号配石全景



調査地点の北隣接地にある石塔類



調査着手前の調査地点 (西から須玉川方向を望む)



重機による表土剥作業



作業風景

## 報告書抄録

ふりがな	みさきまえいせき
書名	御崎前遺跡 I
副題	市道若神子大蔵線工事に伴う発掘調査報告書
シリーズ名	北杜市埋蔵文化財調査報告 第14集
著者	佐野 隆
発 行 機 関	山梨県峡北地域振興局建設部 北杜市教育委員会
編集機関	北杜市教育委員会
所在地/電話	〒408-0188 山梨県北杜市須玉町大豆生田961-1 0551(42)1373
印 刷 所	峡北印刷
発 行 日	平成18年(2006) 3月31日

\$	り	が	な	やまなしけんほくとしすたまちょうあざみさきまえちない
所	在		地	山梨県北杜市須玉町字御崎前地内
位			置	北緯35°47′23″ 東経138°27′45″
調	查	原	因	市道若神子大蔵線工事に伴う緊急発掘
調	查	期	間	平成17年9月9日~平成17年10月21日
調	查	機	関	北杜市教育委員会生涯学習課文化財担当
調	查	面	積	423 m²
時			期	平安時代・中世
主	な	遺	構	平安時代の竪穴住居1軒 溝状遺構2条 中世の配石遺構14基 土坑61基 掘立柱建物17棟 ピット231基 焼土跡1ヶ所 集石土坑2基
主	な	遺	物	平安時代から中世の土器及び石器
特	記	事	項	佐久往還の若神子宿に関連した遺跡か。

北杜市埋蔵文化財調査報告 第14集 御崎前遺跡 I 市道若神子大蔵線工事に伴う発掘調査報告書

> 2006年3月25日 印刷 2006年3月31日 発行

発 行 山梨県峡北地域振興局建設部 北杜市教育委員会 山梨県北杜市須玉町大豆生田 961-1 TEL (0551) 42-1373

印 刷 峡北印刷株式会社 山梨県北杜市長坂町長坂上条 2313 TEL (0551)32-3245

